

第4章 調査結果の概要

本章では、本調査の単純集計結果について記載する。本調査の特徴として、現在、正社員として働いていること、かつ、大学・大学院卒（専攻）及び、現職（職種）、初職（職種）によりスクリーニングをかけ、本調査の定義による理系・文系の識別をしていることがある。本調査では、現職に至る経緯、転職を経た場合の学習内容、文系専攻かつ文系職種の者の理系職種転換を希望した経験、現在の勤め先での自己啓発などの活動などを聞いている。

以下では、1. 大学・大学院（専攻）と初職との関係、2. 初職と現職との関係、3. 転職経験でみた職種変遷、4. 文系専攻・文系職種（現職）の者における過去に理系職種転換を希望した経験、5. 現職での職業能力・スキルを高めるための活動——についてまとめる。

4-1. 回答者の属性

4-1-1. 大学・大学院（専攻）と初職との関係

調査⁵では、大学・大学院での専攻分野について尋ねている。専攻分野は、図表 4-1-1 のとおりである。本調査の定義による文系専攻の割合は 56.9%、理系専攻の合計は 43.1%である。

図表 4-1-1 大学・大学院での専攻分野（SA、単位＝％）

SQ3 大学・大学院での専攻分野			
	人数	割合	
文系	20,311	100.0	
文学・史学・哲学・語学など	1,767	8.7	文系専攻の合計 56.9
心理学	296	1.5	
教育学	425	2.1	
法律・政治	1,975	9.7	
経済・経営・商学	5,721	28.2	
社会学・メディア学	694	3.4	
国際関係	248	1.2	
家政	118	0.6	
芸術・表現	161	0.8	
健康・スポーツ	137	0.7	
理系			理系専攻の合計 43.1
理学	1,327	6.5	
工学	4,794	23.6	
情報工学	1,655	8.1	
建築学	315	1.6	
農・獣・畜産・水産	468	2.3	
医・歯・薬	181	0.9	
看護・保健・衛生	29	0.1	

4-1-2. 初職と現職

調査では、初職と現職についても尋ねており⁶、その結果を図表 4-1-2 でまとめた（現職（現在の

⁵ 本調査は、SC 調査（スクリーニング調査）で、SC3（大学・大学院の専攻分野）、SC5（現職：専門・技術・研究職）、問 1（現職が初職か）に基づき、以下の 5 つの回収目標を設定している（カッコ内は回収数）。①理系学科卒・理系職種（n=6,400）、②理系学科卒・文系職種（n=2,369）、③文系学科卒・理系職種（初職も理系）（n=2,404）、④文系学科卒・理系職種（途中で理系）（n=752）、⑤文系学科卒・文系職種（n=8,386）。第 3 章で示しているとおり、これらの回収目標を設定していることから、その比率は、母集団とは乖離していることに留意されたい。また、以下の集計では、理系・文系の区分は、本調査の定義によっていることに留意されたい。したがって、以降の単純集計では、極力、全体計の集計はせず、理系・文系専攻、初職（職種）、現職（職種）などの属性に基づき集計を行うこととする。

⁶ SC 調査の設問設計としては、SC1（就業形態）で正社員に限定し、SC2（最終学歴）で、大卒以上（大学、大学修士、大学博士）に調査対象が限定される。それに加え、SC3（大学・大学院の専攻分野）が確認される（専攻分野「その他」は調査終了）。SC5（現職：専門・技術・研究職）で専門・技術・研究職が確認される（「医療・福祉」「その他の専門・技術・研究職」は調査終了）。SQ5_1（現職：専門・技術・研究職以外）で文系職種が確認される（「医療・福祉関連の職」「農林漁業関連の職」「その他」は調査終了）。同様に、SC7（初職：専門・技術・研究職）、及び SQ7_1（初職：専門・技術・研究職以外）で理系職種が確認される（「医療・福祉関連の職」「農林漁業関連の職」「その他」は調査終了）。

勤め先)の回答者属性については、本章巻末の資料、付表 4-1 参照)。初職を 3 区分でみると、全体計(n=20,311)に占める割合では、IT 系の専門・技術・研究(26.6%)、IT 系以外の専門・技術・研究職(20.4%)、文系職種(53.0%)となっている。同様に、現職の 3 区分でみると、全体計(n=20,311)に占める割合では、IT 系の専門・技術・研究(27.4%)、IT 系以外の専門・技術・研究職(19.7%)、文系職種(53.0%)となっている。

図表 4-1-2 初職と現職の職種(SA、単位=%)

		SQ7 初職		SQ5 現職	
		20,311	100.0	20,311	100.0
【理系職種】IT系の専門・技術・研究職	プロジェクトマネジャー	407	2.0	860	4.2
	ITコンサルタント	195	1.0	345	1.7
	システムエンジニア	2,070	10.2	2,060	10.1
	プログラマー	1,093	5.4	324	1.6
	Web系エンジニア	104	0.5	125	0.6
	アプリケーションエンジニア	211	1.0	202	1.0
	組込・制御系エンジニア	216	1.1	184	0.9
	テストエンジニア・QAエンジニア	100	0.5	122	0.6
	インフラエンジニア	409	2.0	477	2.3
	セールスエンジニア	125	0.6	137	0.7
	ヘルプデスク	123	0.6	192	0.9
	社内SE	287	1.4	394	1.9
	データサイエンティスト	34	0.2	71	0.3
	その他のIT・情報科学系エンジニア	32	0.2	71	0.3
【理系職種】IT系以外の専門・技術・研究職	理学研究者	102	0.5	88	0.4
	工学研究者	124	0.6	93	0.5
	農学・林学・水産学研究者	26	0.1	27	0.1
	食品開発技術者	71	0.3	50	0.2
	電気・電子・電気通信開発技術者	634	3.1	463	2.3
	機械開発技術者	333	1.6	277	1.4
	自動車開発技術者	277	1.4	247	1.2
	輸送用機器開発技術者(自動車以外)	61	0.3	56	0.3
	金属製錬・材料開発技術者	64	0.3	38	0.2
	化学品開発技術者	248	1.2	184	0.9
	その他の開発技術者	213	1.0	167	0.8
	食品製造技術者	75	0.4	87	0.4
	電気・電子・電気通信製造技術者	260	1.3	294	1.4
	機械製造技術者	188	0.9	205	1.0
	自動車製造技術者	100	0.5	126	0.6
	輸送用機器製造技術者(自動車以外)	35	0.2	48	0.2
	金属製錬・材料製造技術者	29	0.1	43	0.2
	化学品製造技術者	98	0.5	130	0.6
	その他の製造技術者	230	1.1	285	1.4
	建築技術者	397	2.0	439	2.2
	土木技術者	323	1.6	341	1.7
	測量技術者	21	0.1	23	0.1
	農業技術者	5	0.0	7	0.0
	畜産技術者	2	0.0	1	0.0
【文系職種】	林業技術者	1	0.0	2	0.0
	水産技術者	4	0.0	2	0.0
	アクチュアリー	29	0.1	22	0.1
	金融・保険商品開発者	191	0.9	247	1.2
	証券アナリスト	31	0.2	26	0.1
	ファンドマネジャー	33	0.2	48	0.2
	その他の金融・保険系専門職	987	4.9	1,194	5.9
	人文科学系(文学・外国語・心理等)	75	0.4	94	0.5
	社会科学系(法律・経営・経済)	131	0.6	181	0.9
	教育系	417	2.1	406	2.0
	芸術系	64	0.3	44	0.2
	著述・記者・編集者	92	0.5	105	0.5
専門・技術・研究職以外の職種に就いている		8,934	44.0	8,657	42.6

		SQ7_1 初職		SQ5_1 現職	
		8,934	100.0	8,657	100.0
【文系職種】	管理職	637	7.1	1,832	21.2
	教員職	52	0.6	36	0.4
	事務職	3,226	36.1	3,474	40.1
	営業職(外回り等)	3,074	34.4	1,881	21.7
	販売職	831	9.3	486	5.6
	サービス職	594	6.6	347	4.0
	保安職	47	0.5	35	0.4
	生産工程職	318	3.6	385	4.4
	輸送・機械運転職	45	0.5	71	0.8
	建設・採掘関連の職	70	0.8	57	0.7
	運搬・清掃・包装の職	40	0.4	53	0.6

【設問文(初職)】

SQ7 あなたは初職において、専門・技術・研究職として働いていましたか。働いていた場合は、以下の中から近いものをお選びください。

※本調査での「初職」とは、最終学歴の大学・大学院を卒業後、初めて就いた正社員の仕事(職種)のことです。

※専門・技術・研究職以外の方は、「専門・技術・研究職以外の職種に就いている」を選んでください。

Q7_1 あなたの初職の職種は、この中のどれに近いですか。

※本調査での「初職」とは、最終学歴の大学・大学院を卒業後、初めて就いた正社員の仕事(職種)のことです。「専門・技術・研究職以外の職種に就いている」を選んだ方にお聞きします。

【設問文(現職)】

SQ5 あなたは現在、専門・技術・研究職として働いていますか。働いている場合は、以下の中から近いものをお選びください。

※専門・技術・研究職以外の方は、「専門・技術・研究職以外の職種に就いている」を選んでください。

SQ5_1 あなたの現在の職種は、この中のどれに近いですか。「専門・技術・研究職以外の職種に就いている」を選んだ方にお聞きします。

※図表では、SCにより回答対象から除外された選択肢は記載していない。

【職種3区分での要約(全体計n=20,311で集計)】

初職	合計
IT系の専門・技術・研究	26.6
IT系以外の専門・技術・研究職	20.4
文系職種	53.0

現職	合計
IT系の専門・技術・研究	27.4
IT系以外の専門・技術・研究職	19.7
文系職種	53.0

外)も同一の設問構造・選択肢を設けており、各設問の調査終了条件も同じである(詳しくは、調査票参照)。欧米の先行研究では、STEM で医療従事者等が除かれていることが多く、本調査でも医療従事者は SC で調査対象外になっていることに留意されたい。また、専門・技術・研究職のなかで、「証券アナリスト」「ファンドマネジャー」「その他の金融・保険系専門職」「人文科学系(文学・外国語・心理等)」「社会科学系(法律・経営・経済)」「教育系」「芸術系」「著述・記者・編集者」は、文系職種に区分されていることにも留意されたい(詳しくは図表 4-1-2 参照)。

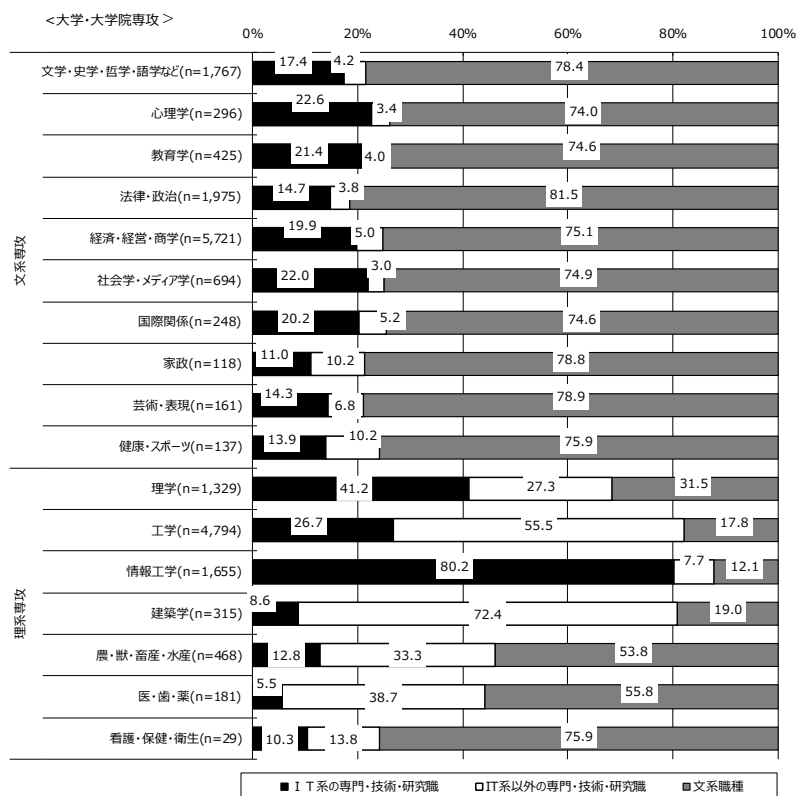
4-1-3. 大学・大学院(専攻)と初職との関係

(1) 専攻別にみた初職

初職を大学・大学院の専攻別にみたものが図表 4-1-3 である(大学・大学院の専攻別にみた初職(詳細)については本章巻末の資料、付表 4-2-1～付表 4-2-2 参照)。その主な特徴点を記すと、まず、理系の専攻分野では、「情報工学」で、初職が「IT 系の専門・技術・研究職」である者が 80.2%と最も割合が高い。「理学」では、「IT 系の専門・技術・研究」が 41.2%と最も高く、次いで、「文系職種」(31.5%)、「IT 系以外の専門・技術・研究職」(27.3%)となっている。「建築学」は、「IT 系以外の専門・技術・研究職」が 72.4%と最も高い。「工学」は、「IT 系以外の専門・技術・研究」が 55.5%と最も高く、次いで、「IT 系の専門・技術・研究職」(26.7%)、「文系職種」(17.8%)となっている。

一方、文系の専攻分野では、いずれの専攻においても 7～8 割が「文系職種」に就いており、次いで、1～2 割が「IT 系の専門・技術・研究」に就いている。

図表 4-1-3 初職(IT 系・IT 系以外・文系職種の 3 区分)(SA、単位=%)【大学・大学院の専攻】



(2) 専攻・卒業年代別にみた初職

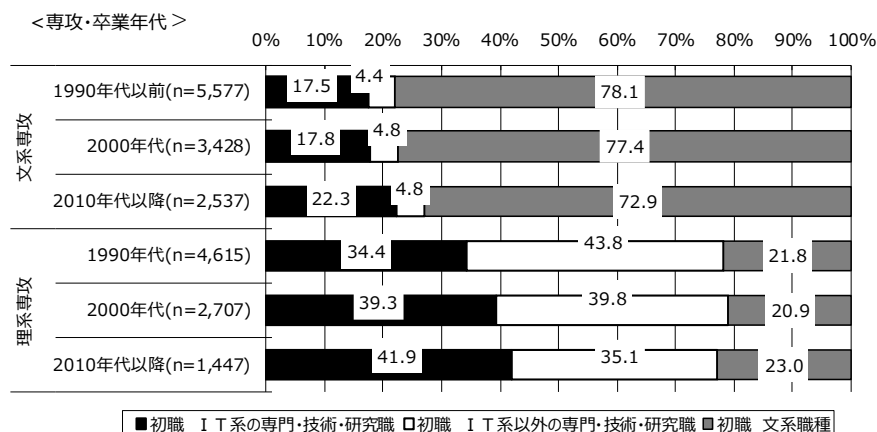
大学・大学院専攻(文系専攻・理系専攻)に分けて、卒業年代別⁷⁾に初職をみたものが図表 4-1-4

⁷⁾ 調査では、大学・大学院を卒業した年、初職に就いた年、現在の会社に就職した年、現在の職種に就いた年、誕生年について尋ねている。本節では大学・大学院を卒業した年(卒業年代)で集計している。

である。それによれば、まず、理系専攻において、卒業年代が最近になるほど、「IT系の専門・技術・研究職」の割合が高くなる傾向にある。「文系職種」の割合は、いずれの年代も2割程度である。

一方、文系専攻でも、卒業年代が最近になるほど、「IT系の専門・技術・研究職」の割合がやや高くなる傾向にある一方で、「文系職種」の割合がやや低下している。

図表 4-1-4 初職(IT系・IT系以外・文系職種)(SA、単位=%)【専攻・卒業年代】



専攻・卒業年代別にみた初職を、さらに男女別にみたものが図表 4-1-5 である。まず、理系専攻において、男性では、卒業年代が最近になるほど、「IT系の専門・技術・研究職」の割合が高くなる一方で、「IT系以外の専門・技術・研究職」「文系職種」いずれもやや低下している。女性では、いずれの年代も「IT系の専門・技術・研究職」の割合は3割台である。

次に、文系専攻の場合、男女ともに、卒業年代が最近になるほど、「IT系の専門・技術・研究職」の割合がやや高くなる傾向にある。

図表 4-1-5 初職(IT系・IT系以外・文系職種)(SA、単位=%)【性・専攻・卒業年代】

		男性				女性			
		n	IT系の専門・技術・研究職	IT系以外の専門・技術・研究職	文系職種	n	IT系の専門・技術・研究職	IT系以外の専門・技術・研究職	文系職種
<専攻・卒業年代>									
文系専攻	1990年代以前	4,838	17.8	4.6	77.7	739	15.8	3.2	80.9
	2000年代	2,364	20.2	5.8	73.9	1,064	12.4	2.6	85.0
	2010年代以降	1,035	25.5	7.6	66.9	1,502	20.0	2.9	77.1
理系専攻	1990年代以前	4,445	34.2	44.5	21.3	170	37.6	26.5	35.9
	2000年代	2,436	40.3	40.7	19.0	271	30.3	32.1	37.6
	2010年代以降	1,084	43.9	38.9	17.2	363	35.8	23.7	40.5

初職で「IT系の専門・技術・研究職」に就いた者に限定し、IT系の職種の詳細について、専攻・卒業年代別にみたものが図表 4-1-6 である。それによれば、理系専攻、文系専攻ともに、卒業年代いずれにおいても、「システムエンジニア」の割合が4割弱と最も高く、次いで、「プログラマー」が1～2割を占めている。

理系専攻では、卒業年代が最近になるほど、「システムエンジニア」の割合がやや高くなる傾向にある一方で、「プログラマー」の割合が低下している。一方、文系専攻も、いずれの卒業年代においても、「システムエンジニア」が 3 割台であることに違いはないが、卒業年代が最近になるほど、「プログラマー」の割合が低下傾向にある。2010 年代以降をみると、文系専攻、理系専攻いずれも、「システムエンジニア」は 4 割弱を占めていることに違いはないが、「IT コンサルタント」や「Web 系エンジニア」などが最近になるほど割合が高まっている。

図表 4-1-6 初職(IT 系の専門・技術・研究職)(SA、単位＝%)【専攻・卒業年代】

		n	I T 系の専門・技術・研究職													
			プログラマー	システムエンジニア	プログラマー	Web系エンジニア	アプリケーションエンジニア	組込・制御系エンジニア	テストエンジニア・QAエンジニア	インフラエンジニア	セールスエンジニア	ヘルプデスク	社内SE	データサイエンティスト	その他のIT・情報系エンジニア	
<専攻・卒業年代>																
文系専攻	1990年代以前	976	8.8	3.3	39.7	26.0	0.7	3.7	0.9	1.0	3.2	3.4	2.2	6.3	0.3	0.6
	2000年代	610	7.7	4.3	36.6	18.4	2.8	3.3	1.0	2.6	6.9	3.1	5.6	6.1	1.0	0.8
	2010年代以降	565	7.6	7.1	38.8	11.3	5.7	2.7	1.1	3.4	11.0	1.2	4.6	4.8	0.4	0.5
理系専攻	1990年代以前	1,586	7.7	1.6	36.9	22.1	0.3	4.3	6.6	1.6	8.6	2.8	1.1	5.2	0.4	0.8
	2000年代	1,063	7.1	3.8	38.9	20.8	1.9	4.1	6.1	1.3	8.3	1.0	1.6	4.3	0.7	0.2
	2010年代以降	606	5.6	5.1	39.9	15.0	4.0	4.6	4.3	2.6	8.3	1.8	1.2	5.4	1.7	0.5

※初職で「IT 系の専門・技術・研究職に就いた者」を対象に集計。

(3) 大学までの学習経験と初職

調査では、「あなたは大学生(大学院生)の頃までにプログラミングを勉強したことはありますか。ある方は、プログラミングについて、いつ頃勉強し始めたかお答えください」と尋ねている。これを専攻・性別にみたものが図表 4-1-7 である。

まず、理系専攻では、「大学生(大学院生)の頃まで、プログラミングを勉強したことはなかった」とする割合が、女性で 58.2%、男性で 43.8%と最も割合が高く、次いで、「大学生の頃」も男性で 39.2%、女性で 32.5%と高い。一方、文系専攻では、「大学生(大学院生)の頃まで、プログラミングを勉強したことはなかった」とする割合が、女性で 83.0%、男性で 79.8%と 8 割前後を占めている。

「大学生・大学院生の頃までにプログラミングをしたことがある」割合(「小学生以下」「中学生の頃」「高校生の頃」「大学生の頃」「大学院生の頃」「その他」の合計)は、理系専攻で男性 56.2%、女性 41.8%であり、文系専攻では男女とも 2 割前後である。

また、調査では、大学での受講経験として、大学の学科カリキュラムの必修講義(数学、物理)、統計学の講座の履修経験——についても尋ねている。これを専攻・性別でまとめたものが図表 4-1-8 である。

まず、大学の学科カリキュラムの必修講義では、理系専攻で、数学の「必修の講義があった」割合は男性(88.1%)、女性(79.9%)、物理の「必修の講義があった」割合は男性(78.5%)、女性(64.1%)となっている。一方、文系専攻での「必修の講義があった」割合は、数学で男女ともに 2 割

前後、物理で 6%程度である。

統計学の講座の履修経験で「履修した」割合は、理系専攻で女性(52.9%)、男性(47.6%)と半数程度を占めている。一方、文系専攻では、「履修した」割合は男女いずれも 2 割台である。

図表 4-1-7 プログラミング学習開始時期(SA、単位＝%)【専攻】

	n	小学生以下	中学生の頃	高校生の頃	大学生の頃	大学院生の頃	その他	大学生・大学院生(大学・大学院)の頃までプログラミングをしたことがある	大学生・大学院生の頃までプログラミングをしたことがある
<専攻・性>									
文系専攻 男性	8,237	1.4	2.2	3.9	12.2	0.2	0.3	79.8	20.2
文系専攻 女性	3,305	0.5	1.3	3.6	11.2	0.3	0.2	83.0	17.0
理系専攻 男性	7,965	2.7	4.8	7.6	39.2	1.7	0.2	43.8	56.2
理系専攻 女性	804	0.6	1.5	6.1	32.5	0.7	0.4	58.2	41.8

※「大学生・大学院生の頃までにプログラミングをしたことがある」は、「小学生以下」「中学生の頃」「高校生の頃」「大学生の頃」「大学院生の頃」「その他」の合計。

図表 4-1-8 大学での受講経験(SA、単位＝%)【専攻】

	n	大学の学科カリキュラムの必修講義				統計学の講座の履修経験	
		数学		物理		履修した	履修しな
		が必修だった講義	は必修だった講義	が必修だった講義	は必修だった講義		
<専攻・性>							
文系専攻 男性	8,237	20.7	79.3	6.4	93.6	27.2	72.8
文系専攻 女性	3,305	19.9	80.1	6.8	93.2	23.6	76.4
理系専攻 男性	7,965	88.1	11.9	78.5	21.5	47.6	52.4
理系専攻 女性	804	79.9	20.1	64.1	35.9	52.9	47.1

大学・大学院の専攻に分けて、大学までの学習経験別に初職をみたものが図表 4-1-9 である。まず、①専攻・性・プログラミング学習別にみると、男女ともに「プログラミングをしたことがある」とする者で、初職が「IT 系の専門・技術・研究職」の割合が高い。「プログラミングをしたことがある」とする者において、初職が「IT 系の専門・技術・研究職」の割合は、理系専攻では、男女ともに 5 割弱であり、文系専攻では、男性が 38.4%、女性が 31.3%となっている。

同様に、②大学の学科カリキュラムの必修講義(数学、物理)別にみると、理系専攻では、男女ともに、数学、物理いずれも「必修講義があった」者において、「IT 系の専門・技術・研究職」「IT 系以外の専門・技術・研究職」の割合が高くなっている。一方、文系専攻では、男女ともに、数学、物理いずれも「必修講義があった」者において、「IT 系の専門・技術・研究職」の割合が高い。

③統計学の講座の履修経験別にみると、理系専攻で、統計学を「履修した」者において、男女ともに、「IT 系の専門・技術・研究職」の割合が 4 割前後と高い。文系専攻においても、統計学を「履修した」者において、男女ともに、「IT 系の専門・技術・研究職」の割合が 2 割台とやや高くなっている。

図表 4-1-9 初職(SA、単位＝％)【専攻・性・学習経験】

			文系専攻				理系専攻			
			n	I T系の専 門・技術・研 究職	I T系以外 の専門・技 術・研究職	文系職種	n	I T系の専 門・技術・研 究職	I T系以外 の専門・技 術・研究職	文系職種
①	<専攻・性・プログラミング学習の有無>									
	男性	プログラミングをしたことがある	1,663	38.4	8.1	53.5	4,477	48.9	37.1	13.9
		プログラミングをしたことがない	6,574	14.6	4.6	80.7	3,488	22.6	49.5	27.9
	女性	プログラミングをしたことがある	563	31.3	4.6	64.1	336	49.7	19.9	30.4
		プログラミングをしたことがない	2,742	13.6	2.5	83.8	468	23.3	32.3	44.4
②	<専攻・性・大学の学科カリキュラムの必修講義-数学>									
	男性	必修の講義があった	1,706	25.2	7.8	67.0	7,014	38.1	43.7	18.2
		必修の講義はなかった	6,531	17.9	4.7	77.4	951	32.1	34.2	33.8
	女性	必修の講義があった	658	20.4	4.7	74.9	642	37.2	28.8	34.0
		必修の講義はなかった	2,647	15.7	2.4	81.9	162	22.8	20.4	56.8
	<専攻・性・大学の学科カリキュラムの必修講義-物理>									
	男性	必修の講義があった	525	32.6	14.9	52.6	6,252	35.7	46.6	17.7
		必修の講義はなかった	7,712	18.5	4.7	76.8	1,713	43.8	27.7	28.5
	女性	必修の講義があった	225	27.6	8.0	64.4	515	31.8	32.6	35.5
		必修の講義はなかった	3,080	15.8	2.5	81.7	289	38.8	17.3	43.9
③	<専攻・性・大学の統計学の講座の履修経験 >									
	男性	履修した	2,237	25.7	6.3	67.9	3,788	40.7	42.0	17.3
		履修しなかった	6,000	17.1	5.0	78.0	4,177	34.4	43.0	22.6
	女性	履修した	779	24.6	3.2	72.1	425	38.8	27.1	34.1
		履修しなかった	2,526	14.2	2.8	83.1	379	29.3	27.2	43.5

(4)大学の偏差値に対する認識と初職

調査では、「あなたの通った大学の偏差値は、おおよそどのくらいでしたか」⁸と尋ねている。参考として、性・専攻・大学の偏差値に対する認識別に初職をみたものが図表 4-1-10 である。

まず、理系専攻の場合、男性では、偏差値 40 以上では、初職が「IT 系以外の専門・技術・研究職」が 4 割、「IT 系の専門・技術・研究職」が 3 割とおおむねかわらないが、文系職種の割合は、偏差値 40 以上において 2 割前後であるところ、偏差値 40 未満において、3 割と高くなっている。女性では、おおむね偏差値が高くなるほど「IT 系以外の専門・技術・研究職」の割合が高くなる一方で、おおむね偏差値が低くなるほど文系職種の割合が高くなる傾向にある。

一方、文系専攻の場合、男女ともに、おおむね偏差値が高くなるほど「IT 系の専門・技術・研究職」の割合がやや高くなっている。

図表 4-1-10 初職(SA、単位＝％)【性・専攻・大学の偏差値に対する認識】

		文系専攻				理系専攻			
		n	IT系の専門・技術・研究職	IT系以外の専門・技術・研究職	文系職種	n	IT系の専門・技術・研究職	IT系以外の専門・技術・研究職	文系職種
<性・専攻・大学の偏差値に対する認識>									
男性	偏差値70以上	841	17.2	4.5	78.2	678	36.1	43.5	20.4
	偏差値60台	2,994	20.8	4.3	74.8	2,856	36.9	43.9	19.2
	偏差値50台	3,368	19.7	5.9	74.4	3,416	38.3	42.1	19.7
	偏差値40台	863	16.9	7.0	76.1	860	36.9	40.9	22.2
	偏差値40未満	171	12.9	8.2	78.9	155	36.1	33.5	30.3
女性	偏差値70以上	268	23.9	3.7	72.4	78	41.0	35.9	23.1
	偏差値60台	1,258	17.2	2.8	80.0	313	33.9	31.6	34.5
	偏差値50台	1,426	15.4	2.9	81.6	336	32.1	23.2	44.6
	偏差値40台	279	14.7	2.2	83.2	64	39.1	15.6	45.3
	偏差値40未満	74	12.2	2.7	85.1	13	38.5	23.1	38.5

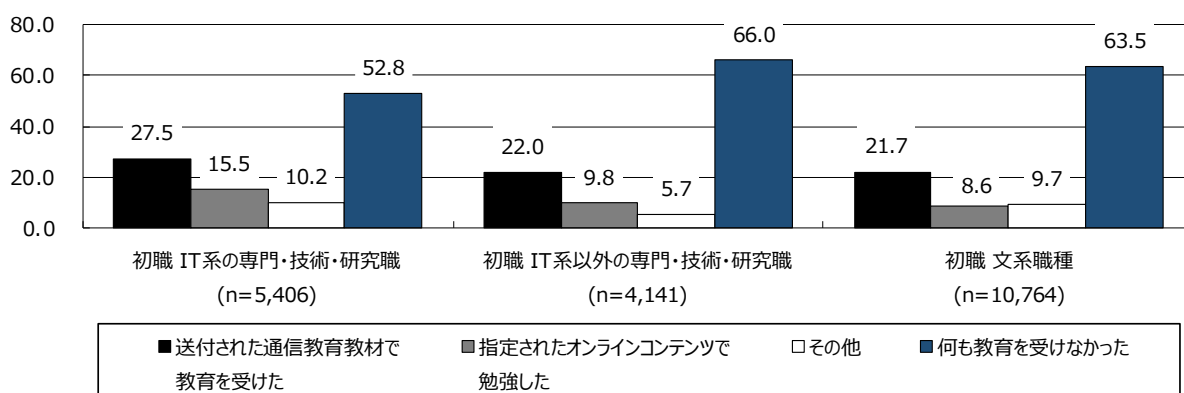
⁸ 本設問は、回答者の認識であることを留意。なお、設問文では、注記として、「偏差値は平均が 50 に設定されています。偏差値が 50 より高いほど、成績の良い大学ということになります」といれている。

4-1-4. 初職に就くまでの内定者向け教育の有無

(1) 初職の内定者向け教育の有無

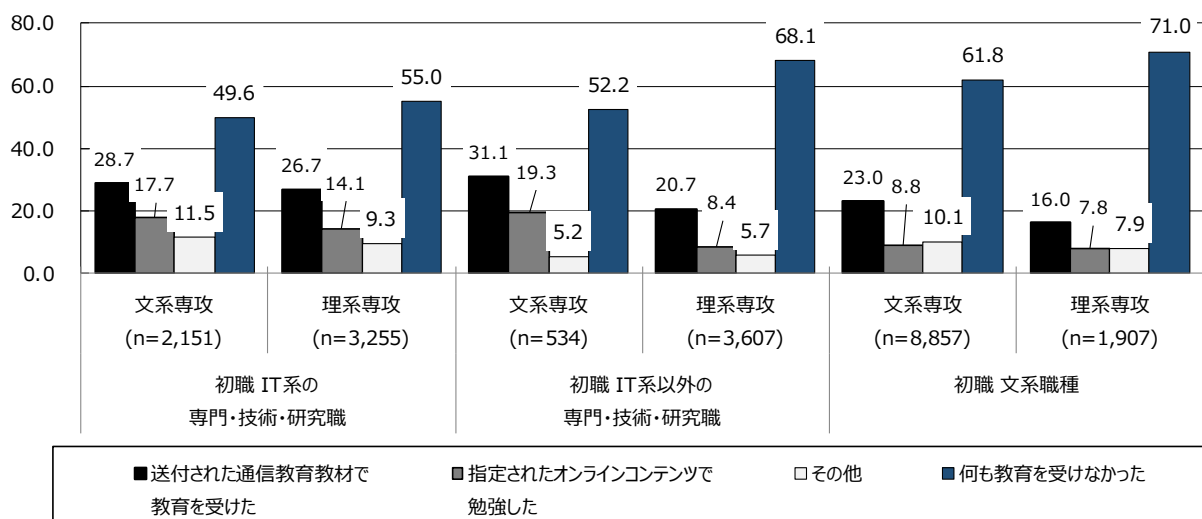
調査では、「初職の会社において、入社前の内定者向けの教育を受けましたか」と尋ねている。これを初職の職種別にみたものが図表 4-1-11 である。それによると、いずれの職種においても、入社前に「何も教育を受けなかった」の割合が 5～6 割と最も高い。一方、初職が「IT 系の専門・技術・研究職」において、他の職種に比べて、「送付された通信教育教材で教育を受けた」(27.5%)、「指定されたオンラインコンテンツで勉強した」(15.5%)の割合が高くなっている。

図表 4-1-11 初職の内定者向け教育の有無(MA、単位＝%)【初職】



これを初職・専攻別にみたものが図表 4-1-12 である。いずれの初職においても、理系専攻に比べ文系専攻のほうが、「送付された通信教育教材で教育を受けた」「指定されたオンラインコンテンツで勉強した」の割合がやや高くなっている。

図表 4-1-12 初職の内定者向け教育の有無(MA、単位＝%)【初職・専攻】



これを初職・専攻・卒業年代別にみたものが図表 4-1-13 である。「内定者向け教育を受けた」「送付された通信教育教材で教育を受けた」「指定されたオンラインコンテンツで勉強した」「その他」のいずれかを選択した者の割合についてみると、いずれの専攻、初職においても、卒業年代が最近になるほど、その割合が高くなる傾向にある。なお、「指定されたオンラインコンテンツで勉強した」割合に着目すると、卒業年代が最近になるほど(特に「2010 年以降」において)、いずれの専攻、初職においても、その割合が高くなっている。

図表 4-1-13 初職の内定者向け教育の有無(MA、単位＝％)【初職・専攻・卒業年代別】

		文系専攻						理系専攻					
		n	を教 受育付 け教さ た材 でた 教通 育信	送付 で勉 強し たテ オ ン リ ン	指 定 さ れ た オ ン リ ン	そ の 他	な か も っ 教 育 を 受 け た 向 け 教 育	n	を教 受育付 け教さ た材 でた 教通 育信	送付 で勉 強し たテ オ ン リ ン	指 定 さ れ た オ ン リ ン	そ の 他	な か も っ 教 育 を 受 け た 向 け 教 育
初職 IT系の専 門・技術・研究職	1990年代以前	976	22.8	7.0	13.3	59.8	40.2	1,586	20.1	6.1	10.0	66.1	33.9
	2000年代	610	33.6	18.7	10.0	46.6	53.4	1,063	31.8	15.6	10.3	47.6	52.4
	2010年代以降	565	33.5	35.2	9.9	35.2	64.8	606	35.1	32.3	5.9	38.6	61.4
初職 IT系以 外の専門・技術・ 研究職	1990年代以前	246	23.6	12.2	6.5	61.8	38.2	2,021	16.5	4.9	5.9	73.7	26.3
	2000年代	166	34.9	15.1	3.6	52.4	47.6	1,078	23.4	9.4	6.4	64.3	35.7
	2010年代以降	122	41.0	39.3	4.9	32.8	67.2	508	31.9	20.1	3.3	53.5	46.5
初職 文系職種	1990年代以前	4,355	21.0	4.6	10.1	66.3	33.7	1,008	14.2	4.4	7.7	74.7	25.3
	2000年代	2,652	22.3	8.5	9.4	63.1	36.9	566	16.3	8.8	7.6	70.7	29.3
	2010年代以降	1,850	28.5	19.2	10.9	49.5	50.5	333	21.3	16.2	8.7	60.4	39.6

※「内定者向け教育を受けた」は、「送付された通信教育教材で教育を受けた」「指定されたオンラインコンテンツで勉強した」「その他」のいずれかを選択した者。

初職で「IT系の専門・技術・研究職」に就いた者に限定し、「内定者向けの教育を受けた」割合を、初職(5区分)⁹・専攻別に比較したものが図表 4-1-14 である。それによれば、「内定者向け教育を受けた」割合は、「SE」「その他エンジニア」「ヘルプデスク・社内 SE」では、理系専攻に比べ文系専攻の方が割合は高い。なお、「PM・ITコンサルタント等」において、「内定者向け教育を受けた」割合は、文系専攻、理系専攻ともに6割弱と他に比べて高く、専攻にかかわらず内定前の教育実施割合が高いことがうかがえる。

⁹ ここでは、「IT系の専門・技術・研究職」の職種について5区分としている。SE(システムエンジニア)とプログラマーの他は、「PM・ITコンサルタント等」は、「プロジェクトマネージャー」「ITコンサルタント」「データサイエンティスト」の合計。「ヘルプデスク・社内 SE」は「ヘルプデスク」「社内 SE」の合計。「その他 IT エンジニア」は上記以外のエンジニアの合計である(以下同じ)。

図表 4-1-14 初職(IT系の専門・技術・研究職)の内定者向け教育の有無(MA、単位＝％)

【初職(5区分)・専攻】

		n	を送付された教材で教育を受けた	指定されたオンラインコンテンツで勉強した	その他	何もなかった教育を受けた	内定者向け教育を受けた
<初職・専攻>							
PM・ITコンサルタント等	文系専攻	285	40.4	27.7	6.0	40.4	59.6
	理系専攻	351	37.6	23.9	6.8	41.9	58.1
SE	文系専攻	829	30.2	16.0	12.3	48.0	52.0
	理系専攻	1,241	27.2	14.5	9.4	54.0	46.0
プログラマー	文系専攻	430	21.2	9.8	14.4	57.7	42.3
	理系専攻	663	21.1	8.6	12.2	59.9	40.1
その他ITエンジニア	文系専攻	401	28.2	22.7	10.0	48.6	51.4
	理系専攻	796	26.6	14.6	8.4	56.0	44.0
ヘルプデスク・社内SE	文系専攻	206	23.3	17.5	12.6	53.9	46.1
	理系専攻	204	23.0	10.8	7.4	63.2	36.8

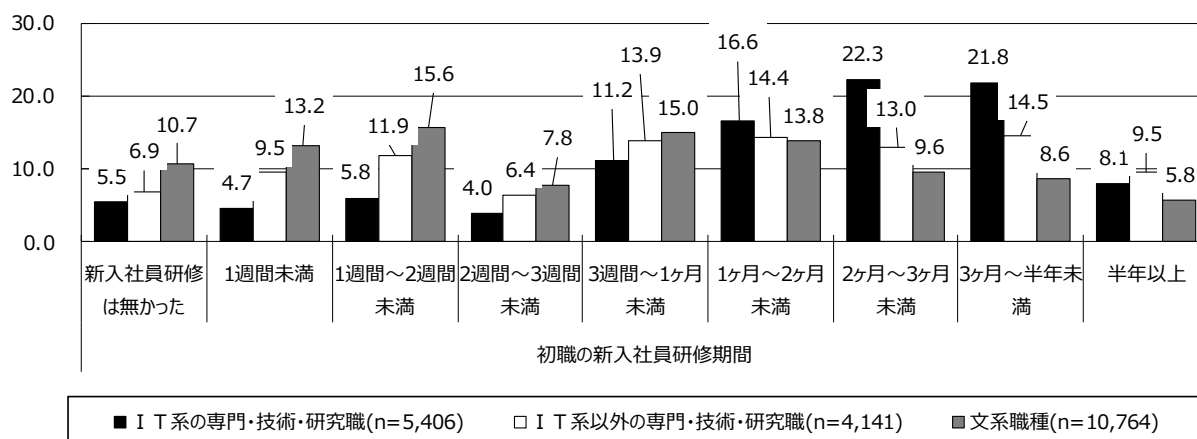
※1：初職で「IT系の専門・技術・研究職」に就いた者を対象に集計。

※2：「内定者向け教育を受けた」は、「送付された通信教育教材で教育を受けた」「指定されたオンラインコンテンツで勉強した」「その他」のいずれかを選択した者。

(2)初職の研修期間

調査では、「あなたは初職の会社において、大体どのくらいの期間の新入社員研修を受けましたか」(初職の新入社員研修期間)についても尋ねている。初職の職種別にみると、「新入社員研修は無かった」及び「1週間未満」から「3週間～1ヶ月未満」の各期間において、「文系職種」の割合が最も高く、次いで、「IT系以外の専門・技術・研究職」「IT系の専門・技術・研究職」の順で低い割合となっている。一方、「1ヶ月～2ヶ月未満」「2ヶ月～3ヶ月未満」「3ヶ月～半年未満」では、「IT系の専門・技術・研究職」の割合が最も高く、次いで、「IT系以外の専門・技術・研究職」「文系職種」の順で低い割合となっている。特に、「2ヶ月～3ヶ月未満」「3ヶ月～半年未満」では、「IT系の専門・技術・研究職」の割合が2割程度と他に比べて高い。「半年以上」の割合は、いずれの職種も1割に満たない(図表 4-1-15)。

図表 4-1-15 初職の新入社員研修期間(SA、単位＝％)【初職別】



さらに、これを初職・専攻別にみたものが図表 4-1-16 である。「3 ヶ月以上・計」(「3 ヶ月～半年未満」「半年以上」の合計。以下同じ)の割合では、「IT 系の専門・技術・研究職」において、文系専攻(27.8%)、理系専攻(31.3%)と、他の職種に比べ 3 割前後と高いものの、その割合は専攻で大きな差はみられない。「IT 系以外の専門・技術・研究職」と「文系職種」では「3 ヶ月以上」の割合は、文系専攻に比べ理系職種の方が高くなっている。

図表 4-1-16 初職の新入社員研修期間(SA、単位＝%)【初職・専攻】

	n	は無入社 研修	1 週 間未 満	2 週 間未 満	1 月 未満	3 月 未満	半年 以上	計 1 週 間未 満	計 3 週 月以上
<初職・専攻>									
IT 系の専門・技術・研究職	2,151	6.0	10.6	16.6	39.0	21.1	6.7	27.2	27.8
文系専攻	3,255	5.2	10.5	14.2	38.9	22.3	9.0	24.7	31.3
IT 系以外の専門・技術・研究職	534	9.9	30.3	19.5	24.2	10.7	5.4	49.8	16.1
理系専攻	3,607	6.4	20.0	20.5	27.8	15.1	10.1	40.6	25.2
文系職種	8,857	10.1	29.7	23.4	23.8	7.7	5.3	53.1	13.0
理系専攻	1,907	13.3	24.9	20.0	21.2	12.8	7.8	44.8	20.6

※1：表頭は、設問の選択肢において、「1週間未満～2週間未満」(「1週間未満」「1週間～2週間未満」の合計)、「2週間～1ヶ月未満」(「2週間～3週間未満」「3週間～1ヶ月未満」の合計)、「1ヶ月～3ヶ月未満」(「1ヶ月～2ヶ月未満」「2ヶ月～3ヶ月未満」の合計)に集約している。

※2：「1週間未満～1ヶ月未満・計」は、「1週間未満～2週間未満」「2週間～1ヶ月未満」の合計。「3ヶ月以上・計」は、「3ヶ月～半年未満」「半年以上」の合計。

なお、初職で「IT 系の専門・技術・研究職」に就いた者に限定し、「3 ヶ月以上・計」の割合を、専攻・初職(5 区分)別に比較すると、「PM・IT コンサルタント」「その他 IT エンジニア」などにおいて、文系専攻に比べ理系専攻の方が高くなっている。それ以外の職種では、「3 ヶ月以上・計」の割合は、文系専攻、理系専攻ともに、SE では 3 割程度、プログラマーでは 2 割程度と、差はみられない(図表 4-1-17)。

図表 4-1-17 初職の研修期間(SA、単位＝%)【初職(5 区分)・専攻】

	n	は無入社 研修	1 週 間未 満	2 週 間未 満	1 月 未満	3 月 未満	半年 以上	計 1 週 間未 満	計 3 週 月以上
<初職・専攻>									
PM・IT コンサルタント等	285	7.7	14.7	21.1	32.6	17.9	6.0	35.8	23.9
文系専攻	351	6.8	9.7	14.5	35.6	24.2	9.1	24.2	33.3
SE	829	4.2	6.2	13.4	42.5	25.8	8.0	19.5	33.8
理系専攻	1,241	4.4	8.7	10.7	42.8	24.0	9.4	19.4	33.4
プログラマー	430	5.1	8.8	19.1	44.0	17.2	5.8	27.9	23.0
理系専攻	663	6.8	12.5	15.8	41.5	19.2	4.2	28.4	23.4
その他 IT エンジニア	401	10.2	12.0	17.2	33.9	20.9	5.7	29.2	26.7
理系専攻	796	3.8	10.4	16.8	33.7	23.2	12.1	27.3	35.3
ヘルプデスク・社内SE	206	4.9	23.8	16.5	33.5	14.6	6.8	40.3	21.4
理系専攻	204	7.8	16.2	19.1	32.4	15.2	9.3	35.3	24.5

※1：初職で「IT 系の専門・技術・研究職」に就いた者を対象に集計。

※2：表頭は、設問の選択肢において、「1週間未満～2週間未満」(「1週間未満」「1週間～2週間未満」の合計)、「2週間～1ヶ月未満」(「2週間～3週間未満」「3週間～1ヶ月未満」の合計)、「1ヶ月～3ヶ月未満」(「1ヶ月～2ヶ月未満」「2ヶ月～3ヶ月未満」の合計)に集約している。

※3：「1週間未満～1ヶ月未満・計」は、「1週間未満～2週間未満」「2週間～1ヶ月未満」の合計。「3ヶ月以上・計」は、「3ヶ月～半年未満」「半年以上」の合計。

4-2. 初職と現職との関係

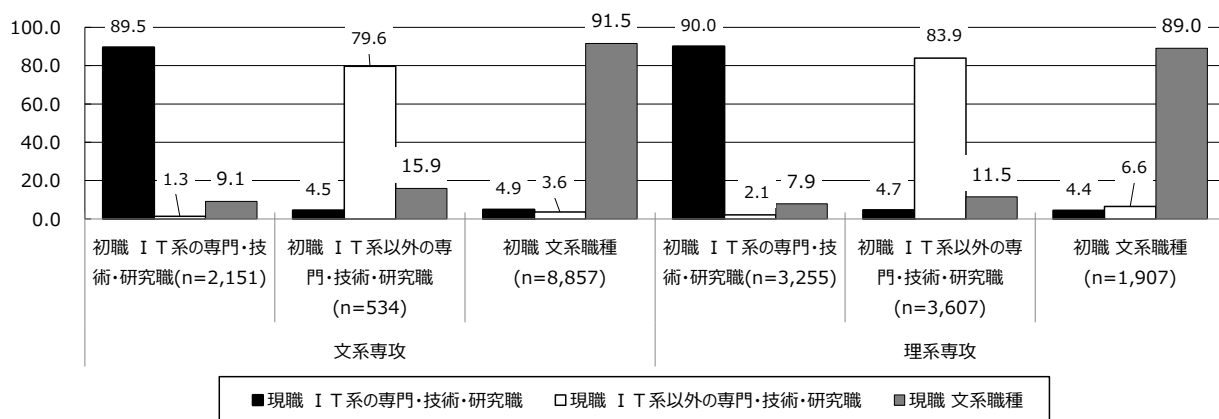
4-2-1. 専攻・初職別にみた現職

専攻・初職別に現職をみたものが図表 4-2-1 である。まず、理系専攻で初職ごとに現職をみると、初職で「IT 系の専門・技術・研究職」の 90.0%は現職も「IT 系の専門・技術・研究職」であり、7.9%が「文系職種」、2.1%が「IT 系以外の専門・技術・研究職」となっている。初職で「IT 系以外の専門・技術・研究職」の 83.9%が現職も「IT 系以外の専門・技術・研究職」であり、11.5%が「文系職種」、4.7%が「IT 系の専門・技術・研究職」となっている。初職で「文系職種」の 89.0%が現職も「文系職種」であり、6.6%が「IT 系以外の専門・技術・研究職」、4.4%が「IT 系の専門・技術・研究職」となっている。

一方、文系専攻では、初職で「IT 系の専門・技術・研究職」の 89.5%は現職も「IT 系の専門・技術・研究職」であり、9.1%が「文系職種」、1.3%が「IT 系以外の専門・技術・研究職」となっている。初職で「IT 系以外の専門・技術・研究職」の 79.6%が現職も「IT 系以外の専門・技術・研究職」であり、15.9%が「文系職種」、4.5%が「IT 系の専門・技術・研究職」となっている。初職で「文系職種」の 91.5%が現職も「文系職種」であり、4.9%が「IT 系の専門・技術・研究職」、3.6%が「IT 系以外の専門・技術・研究職」となっている。

総じていえば、理系・文系の専攻にかかわらず、また、初職の職種にかかわらず、8 割弱～9 割は、現職においても初職の職種分野（IT 系、IT 系以外、文系）の範囲内に就いている。一方、「IT 系の専門・技術・研究職」「IT 系以外の専門・技術・研究職」の一部において、「文系職種」に変わっている者がいる。

図表 4-2-1 専攻・初職別にみた現職(SA、単位＝%)【専攻・初職別】



4-2-2. 初職別にみた現職

(1) 初職別(IT 系の専門・技術・研究職)にみた現職

本調査では、初職と現職について、詳細な職種で尋ねている。そこで、初職の職種 3 区分（IT 系、IT 系以外、文系）に分けて、初職の詳細（n 数が多い等、6 種類）ごとに現職（上位 10 位まで）を図

表 4-2-2～2-4 にまとめた(なお、参考として、初職別にみた現職(詳細)のクロス集計については本章巻末の資料、付表 4-3-1～付表 4-3-9 で収録している)。

【初職】「IT 系の専門・技術・研究」の現職(職種)への移動をまとめたものが図表 4-2-2(①～⑥)である。それによれば、【初職】「システムエンジニア」において、現職で「システムエンジニア」のままであるのは 66.4%を占める。次いで、「プロジェクトマネジャー」が 9.0%、「事務職」が 4.1%、「IT コンサルタント」が 3.9%などである(図表 4-2-2①)。

【初職】「プログラマー」では、現職で「システムエンジニア」になった者が 34.9%、「プログラマー」のままで 22.1%、「プロジェクトマネジャー」が 13.2%、それ以外では、「事務職」が 4.3%、「社内 SE」が 3.8%などとなっている(図表 4-2-2②)。

【初職】「インフラエンジニア」では、現職で「インフラエンジニア」のままであるのは 70.7%、次いで、「システムエンジニア」が 5.6%、「プロジェクトマネジャー」が 5.1%、「社内 SE」が 3.2%などとなっている(図表 4-2-2③)。

【初職】「プロジェクトマネジャー」では、現職で「インフラエンジニア」のままであるのは 77.9%、次いで、「システムエンジニア」が 4.4%、「IT コンサルタント」が 3.2%、「管理職」が 3.2%などとなっている(図表 4-2-2④)。

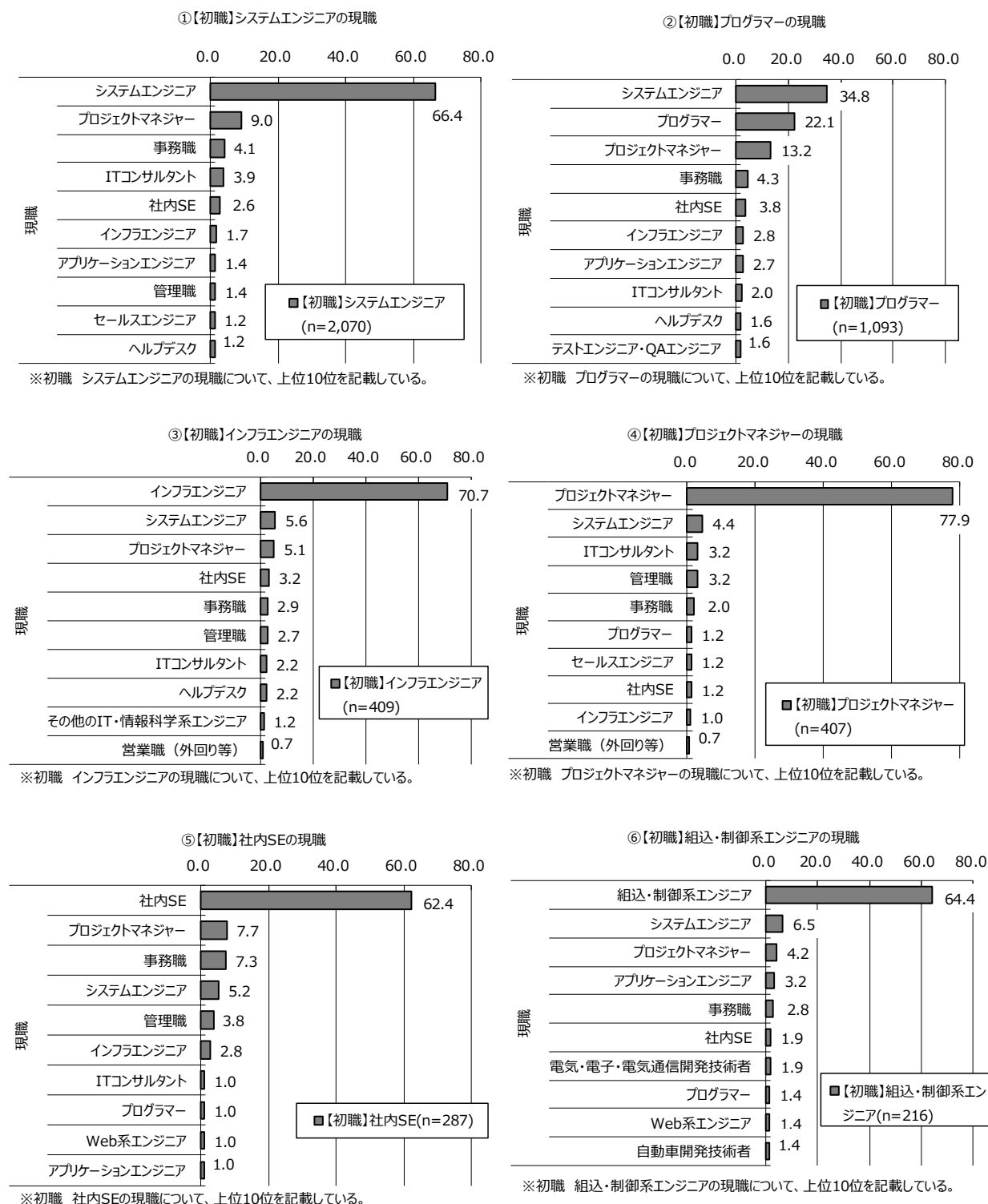
【初職】「社内 SE」では、現職で「社内 SE」のままであるのは 62.4%、次いで、「プロジェクトマネジャー」が 7.7%、「事務職」が 7.3%、「システムエンジニア」が 5.2%、「管理職」が 3.8%などとなっている(図表 4-2-2⑤)。

【初職】「組込・制御系エンジニア」では、現職で「組込・制御系エンジニア」のままであるのは 64.4%、次いで、「システムエンジニア」が 6.5%、「プロジェクトマネジャー」が 4.2%、「アプリケーションエンジニア」が 3.2%などとなっている(図表 4-2-2⑥)。

以上の 6 つの事例を俯瞰すると、総じて言えば、【初職】「プログラマー」では、現職で「プログラマー」のままで 2 割程度で、「システムエンジニア」になった者も 3 割である。その他の【初職】IT 系の職種では 6～7 割が初職の職種のままで、それ以外の移動も IT 系がメインである。ただし、「事務職」や「管理職」への移動も 2～4%ほどある¹⁰。

¹⁰ 社内 SE の事務職への移動が 7.3%と他職種より高く、またプログラマーと組込・制御エンジニアは管理職への移動が少ないという例外もある。

図表 4-2-2 初職別(IT系の専門・技術・研究職)にみた現職(上位10位)(SA、単位=%)
【初職①～⑥】



(2)初職別(IT系以外の専門・技術・研究職)にみた現職

【初職】「IT系以外の専門・技術・研究」の現職(職種)への移動をまとめたものが図表 4-2-3(①～⑥)¹¹である。それによれば、【初職】「電気・電子・電気通信開発技術者」において、現職で「電気・電子・電気通信開発技術者」のままであるのは 57.9%を占める。次いで、「電気・電子・電気通信製造技術者」が18.1%、「管理職」が3.3%、「事務職」が3.3%などとなっている(図表 4-2-3①)。

【初職】「電気・電子・電気通信製造技術者」では、現職で「電気・電子・電気通信製造技術者」のままであるのは45.8%を占める。次いで、「電気・電子・電気通信開発技術者」が18.1%、「事務職」が5.8%、「管理職」が3.5%などとなっている(図表 4-2-3②)。

【初職】「機械開発技術者」では、現職で「機械開発技術者」のままであるのは 59.2%を占める。次いで、「機械製造技術者」が16.5%、「管理職」が2.4%、「事務職」が2.4%などとなっている(図表 4-2-3③)。

【初職】「機械製造技術者」では、現職で「機械製造技術者」のままであるのは 48.4%を占める。次いで、「機械開発技術者」が14.4%、「その他の製造技術者」が5.3%、「管理職」が3.2%、「事務職」が3.2%などとなっている(図表 4-2-3④)。

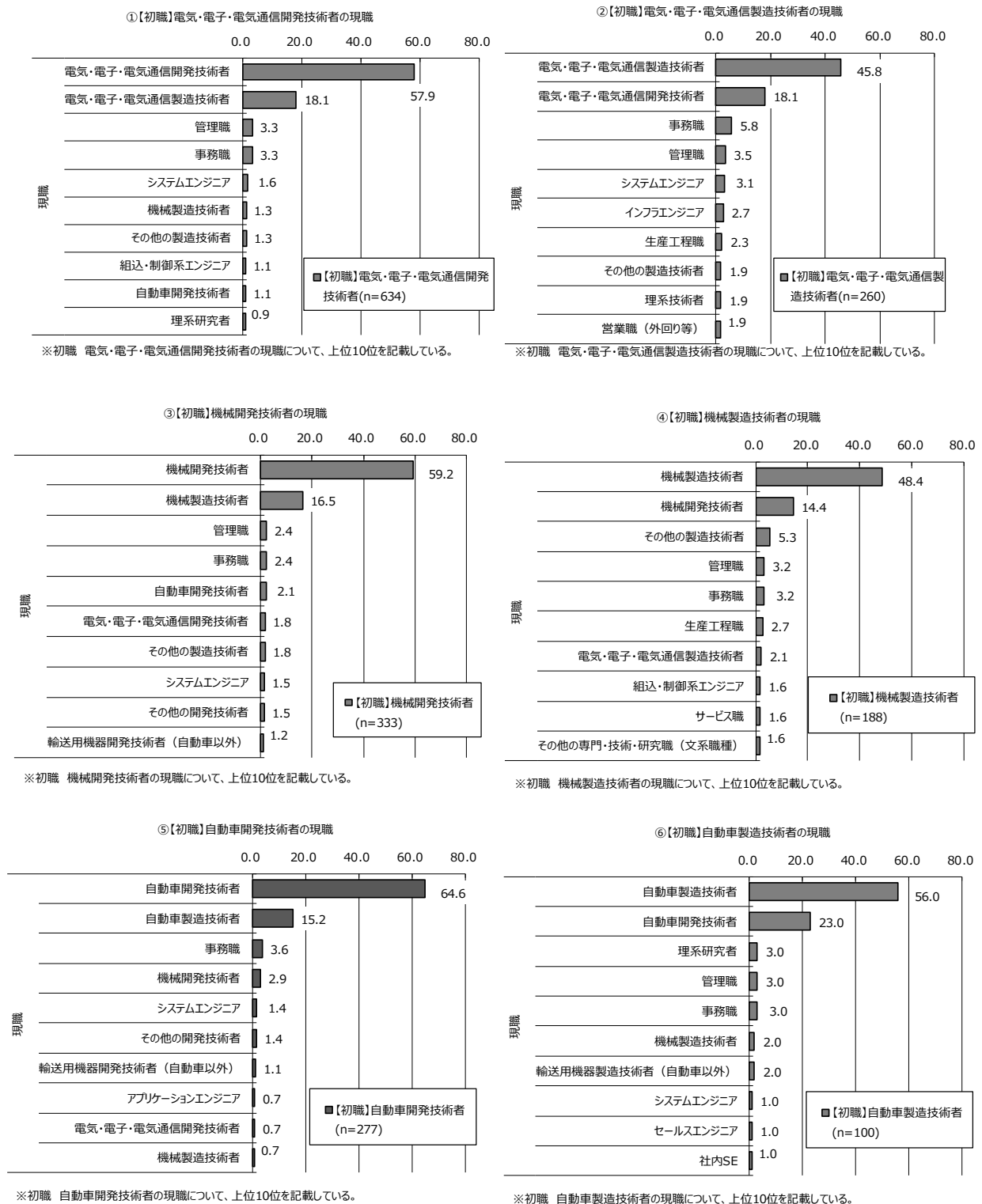
【初職】「自動車開発技術者」では、現職で「自動車開発技術者」のままであるのは 64.6%を占める。次いで、「自動車製造技術者」が15.2%、「事務職」が3.6%、「機械開発技術者」が2.9%などとなっている(図表 4-2-3⑤)。

【初職】「自動車製造技術者」では、現職で「自動車製造技術者」のままであるのは 56.0%を占める。次いで、「自動車開発技術者」が23.0%、「理系研究者」が3.0%、「管理職」が3.0%、「事務職」が3.0%などとなっている(図表 4-2-3⑥)。

以上の 6 つの事例を俯瞰すると、総じて言えば、【初職】開発技術者の場合、現職が開発技術者のままであるのが 6 割前後を占め、同一産業内で開発技術者から製造技術者へと移っている者が 2 割弱ほどいる。同一産業内で働いている者(「開発技術者」と「製造技術者」の合計)は 8 割程度を占めていることから、同一産業内で働いている者がほとんどである。一方、製造技術者も、製造技術者のままであるのは、5 割前後を占めており、同一産業内で製造技術者から開発技術者に移っている者が 2 割前後いる。同一産業で働いている者(「開発技術者」と「製造技術者」の合計)は 7 割程度を占めていることから、同一産業内で働いている者が多くを占めている。

¹¹ 図表 4-2-3 において、初職で「IT系以外の専門・技術・研究職」については、n 数が多い産業単位で、「電気・電子・電気通信開発技術者」「電気・電子・電気通信製造技術者」「機械開発技術者」「機械製造技術者」「自動車開発技術者」「自動車製造技術者」——の 6 職種をまとめている。

図表 4-2-3 初職別(IT系以外の専門・技術・研究職)にみた現職(上位10位)(SA、単位=%)
【初職①～⑥】



(3)初職別(文系職種)にみた現職

【初職】「文系職種」の現職(職種)への移動をまとめたものが図表 4-2-4(①～⑥)¹²である。それによれば、【初職】「管理職」において、現職で「管理職」のままであるのは 80.2%を占める。次いで、「金融・保険系専門職(文系職種)」が 6.1%、「事務職」が 3.3%、「営業職(外回り等)」が 2.8%などとなっている(図表 4-2-4①)。

【初職】「事務職」では、現職で「事務職」のままであるのは 70.2%を占める。次いで、「管理職」が 12.4%、「営業職(外回り等)」が 4.2%などとなっている(図表 4-2-4②)。

【初職】「営業職(外回り等)」では、現職で「営業職(外回り等)」のままであるのは 47.9%と半数弱。次いで、「管理職」が 15.8%、「事務職」が 15.2%、「金融・保険系専門職(文系職種)」が 4.3%などとなっている(図表 4-2-4③)。

【初職】「販売職」では、現職で「販売職」のままであるのは 46.2%と半数弱。次いで、「事務職」が 13.7%、「営業職(外回り等)」が 9.0%、「管理職」が 8.7%、「サービス職」が 3.0%などとなっている(図表 4-2-4④)。

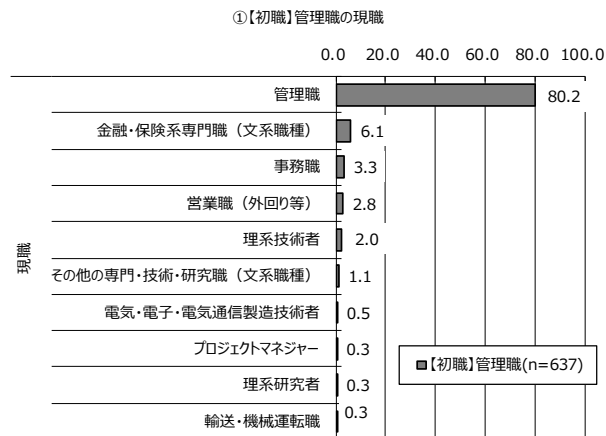
【初職】「サービス職」では、現職で「サービス職」のままであるのは 32.2%と 3 割台。次いで、「事務職」が 16.7%、「営業職(外回り等)」が 7.1%、「管理職」が 6.7%、「生産工程職」4.9%、「金融・保険系専門職(文系職種)」が 4.2%、「その他の専門職(文系職種)」が 3.7%などとなっている(図表 4-2-4⑤)。

【初職】「生産工程職」では、現職で「生産工程職」のままであるのは 59.7%と 6 割弱。次いで、「管理職」が 10.4%、「事務職」が 7.2%、「その他の製造技術者」が 5.0%、「サービス職」が 2.2%などとなっている(図表 4-2-4⑥)。

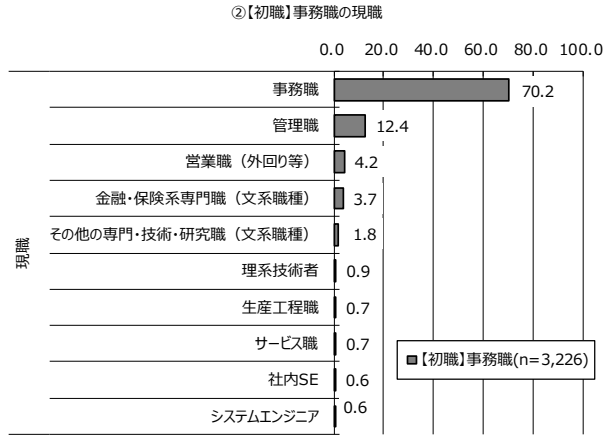
以上の 6 つの事例を俯瞰すると、総じて言えば、【初職】「管理職」で 8 割が現職も「管理職」のままであり、それ以外の職種としては「専門職」や「事務職」への移動がみられる。【初職】「事務職」は 7 割が初職のままであり、「管理職」が 1 割程度あり、その他の職種では「営業職(外回り等)」がみられる。【初職】「生産工程職」も 6 割が「生産工程職」のままであり、「管理職」「事務職」「技術者」への移動がみられる。以上の職種は比較的、初職のままの職種を継続している割合が高い。それ以外の職種としては、【初職】「営業職(外回り等)」「販売職」「サービス職」では、3 割～4 割は初職のままであるものの、その他の職種として、「事務職」への移動が 1 割程度みられる。共通してみられるのは、移動の範囲は文系職種がメインであり、IT 系職種への移動は少ない。

¹² 図表 4-2-4 において、初職で n 数が多い職種として、「事務職」「営業職(外回り等)」「販売職」「管理職」「サービス職」「生産工程職」——の 6 職種をまとめている。

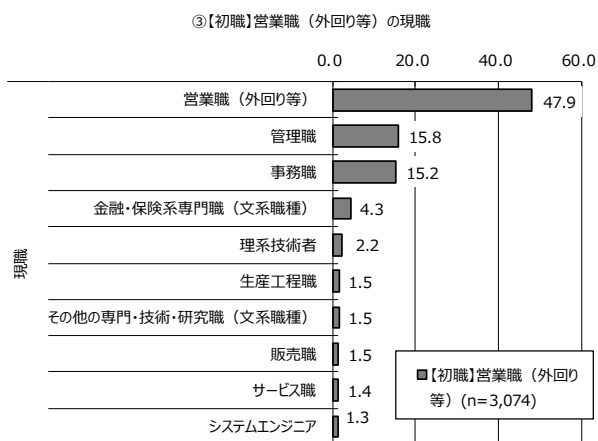
図表 4-2-4 初職別(文系職種)にみた現職(SA、単位=%)【初職①～⑥】



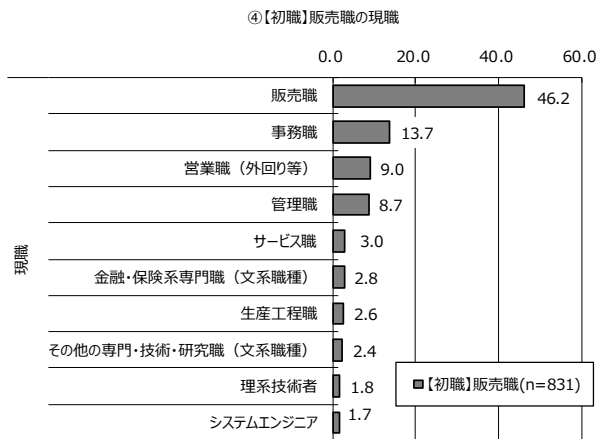
※初職 管理職の現職について、上位10位を記載している。



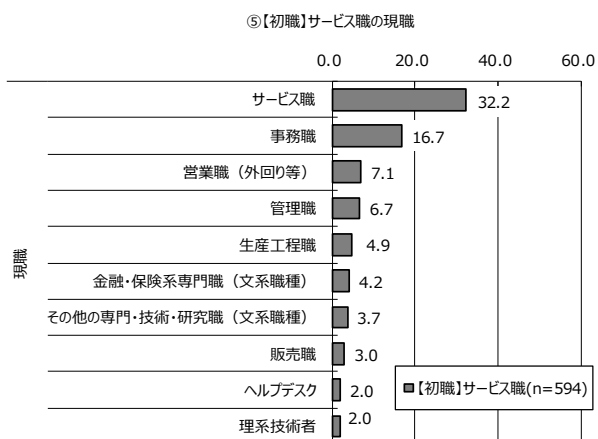
※初職 事務職の現職について、上位10位を記載している。



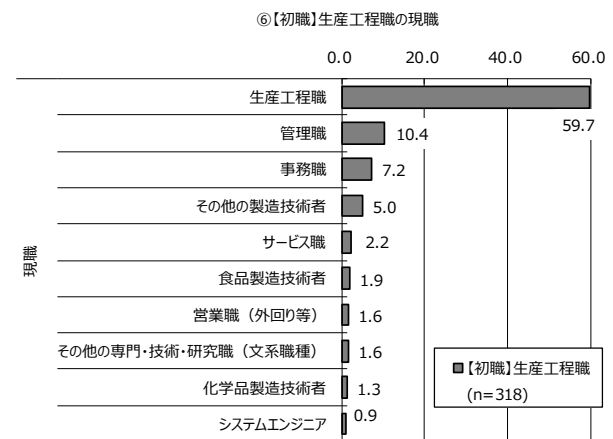
※初職 営業職(外回り等)の現職について、上位10位を記載している。



※初職 販売職の現職について、上位10位を記載している。



※初職 サービス職の現職について、上位10位を記載している。



※初職 生産工程職の現職について、上位10位を記載している。

4-3. 転職経験でみた職種変遷

4-3-1. 現在の職種に就いた経緯

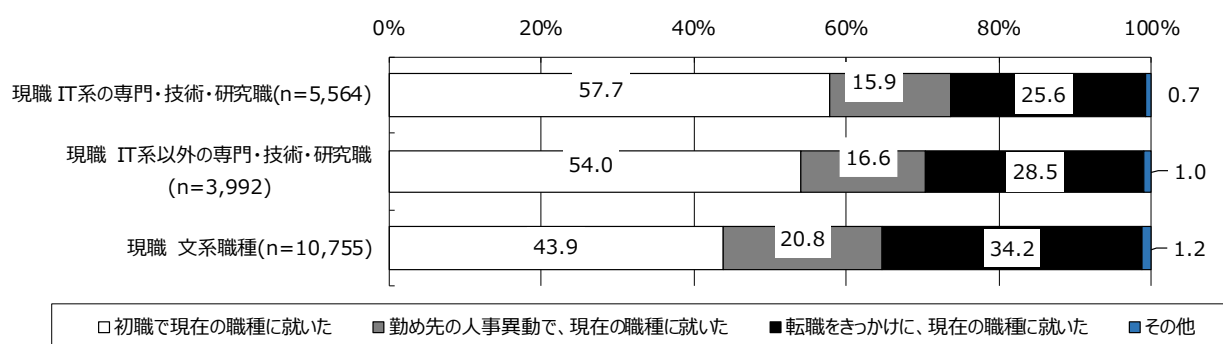
調査では、「あなたは、どのような経緯で現在の職種に就きましたか」と尋ねている。現職の職種ごとに集計したものが図表 4-3-1 である。それによれば現職で「IT 系の専門・技術・研究職」では、「初職で現在の職種に就いた」が 57.7%、「勤め先の人事異動で、現在の職種に就いた」が 15.9%、「転職をきっかけに、現在の職種に就いた」が 25.6%となっている。

「IT 系以外の専門・技術・研究職」では、「初職で現在の職種に就いた」が 54.0%、「勤め先の人事異動で、現在の職種に就いた」が 16.6%、「転職をきっかけに、現在の職種に就いた」が 28.5%となっている。

「文系職種」では、「初職で現在の職種に就いた」が 43.9%、「勤め先の人事異動で、現在の職種に就いた」が 20.8%、「転職をきっかけに、現在の職種に就いた」が 34.2%となっている。

総じて言えば、転職経緯で現在の職種に就いた割合では、現職で「文系職種」が 34.2%と他に比べて高く、「IT 系以外の専門・技術・研究職」と「IT 系以外の専門・技術・研究職」はともに 2 割台である。

図表 4-3-1 現在の職種に就いた経緯(SA、単位=%)【現職別】



そこで、これを初職・現職別にみたものが図表 4-3-2 である。転職経緯に着目すると、【初職】「IT 系の専門・技術・研究職」で、現職でも「IT 系の専門・技術・研究職」(初職・現職が同一職種)において、「転職をきっかけに、現在の職種に就いた」割合は 20.1%であり、初職とは別の職種にあたる「IT 系以外の専門・技術・研究職」では 43.3%、「文系職種」では 40.4%となっている。

【初職】「IT 系以外の専門・技術・研究職」で、現職でも「IT 系以外の専門・技術・研究職」(初職・現職が同一職種)において、「転職をきっかけに、現在の職種に就いた」割合は 24.1%であり、初職とは別の職種にあたる「IT 系の専門・技術・研究職」では 44.8%、「文系職種」では 41.5%となっている。

【初職】「文系職種」で、現職でも「文系職種」(初職・現職が同一職種)において、「転職をきっかけに、現在の職種に就いた」割合は 33.5%であり、初職とは別の職種にあたる「IT 系の専門・技術・

研究職」では 70.7%、「IT 系以外の専門・技術・研究職」では 59.8%となっている。

総じて言えば、初職と現職が同一職種の場合、転職経緯で現職に就く割合は、初職において「IT 系の専門・技術・研究職」「IT 系以外の専門・技術・研究職」でともに 2 割程度と低く、「文系職種」が 3 割台とやや高い。初職と現職が同一職種の場合、初職のままの職種を継続しているか、人事異動によって就く割合が高いことがうかがえる。一方、初職から現職に移る過程で転職経緯の割合が高いのは、初職とは別の職種に移る場合であり、特に、初職で「文系職種」の場合、転職経緯の割合は、現職で「IT 系の専門・技術・研究職」が 7 割、「IT 系以外の専門・技術・研究職」が 6 割弱と高くなっている。初職とは別の職種に就く場合、転職を経る割合が高く、特に初職が「文系職種」の場合で顕著であることがうかがえる。

図表 4-3-2 現在の職種に就いた経緯(SA、単位＝%)【初職・現職別】

		n	初職で現在の職種に就いた	勤め先の人事異動で、現在の職種に就いた	転職をきっかけに、現在の職種に就いた	その他
初職 IT系の専門・技術・研究職	現職 IT系の専門・技術・研究職	4,856	64.7	14.6	20.1	0.6
	現職 IT系以外の専門・技術・研究職	97	25.8	29.9	43.3	1.0
	現職 文系職種	453	16.3	41.9	40.4	1.3
初職 IT系以外の専門・技術・研究職	現職 IT系の専門・技術・研究職	192	15.6	35.4	44.8	4.2
	現職 IT系以外の専門・技術・研究職	3,450	59.0	16.1	24.1	0.8
	現職 文系職種	499	18.0	38.7	41.5	1.8
初職 文系職種	現職 IT系の専門・技術・研究職	516	7.8	20.5	70.7	1.0
	現職 IT系以外の専門・技術・研究職	445	20.9	16.9	59.8	2.5
	現職 文系職種	9,803	46.5	18.9	33.5	1.1

4-3-2. 転職で現在の職種に就いた者の状況

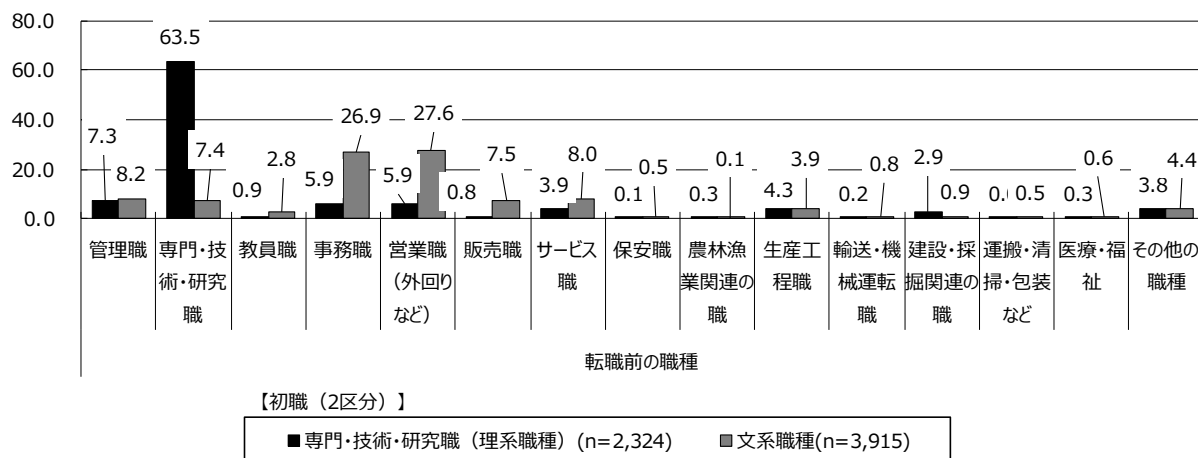
(1) 転職者の転職前の職種

調査では、転職で現在の職種に就いた者(以下、「転職者」という)を対象に、転職前後の状況、転職前の学習内容などを尋ねている。

先述のとおり、初職と現職では、同じ職種に就く者と、別の職種に就いている者がみられる。そこで、調査では、具体的に、転職前の職種について尋ねていることから、転職前の職種について、初職において、「専門・技術・研究職(理系職種)」(「IT 系の専門・技術・研究職」と「IT 系以外の専門・技術・研究職」の合計。以下同じ)と「文系職種」の 2 区分(以下、「初職(2 区分)」という)で、転職前の職種をまとめたものが図表 4-3-3 である。

それによれば、「専門・技術・研究職(理系職種)」の場合、転職前は、「専門・技術・研究職」が 63.5%と最も高く、次いで、「管理職」が 7.3%などとなっている。一方、文系職種では、「営業職(外回り等)」(27.6%)、「事務職」(26.9%)がともに 2 割台で高く、次いで、「管理職」(8.2%)、「サービス職」(8.0%)、「販売職」(7.5%)、「専門・技術・研究職」(7.4%)などとなっている。

図表 4-3-3 初職からみた転職者の転職前の職種(SA、単位＝％)【初職(2区分)別】



※現在の職種に就いた経緯として、「転職をきっかけに、現在の職種に就いた」者を対象に集計。

(2) 転職前の職種別にみた現職

転職者の現在の職種(現職)について、転職前の職種別にみたものが図表 4-3-4 である。①転職前の職種(2区分)別にみると、【転職前】「専門・技術・研究職」では、転職によって、現職で約 8 割が「専門・技術・研究職」(「IT 系の専門・技術・研究職」(47.2%)、「IT 系以外の専門・技術・研究職」(34.3%)との合計)に就いており、18.4%が「文系職種」に就いている。

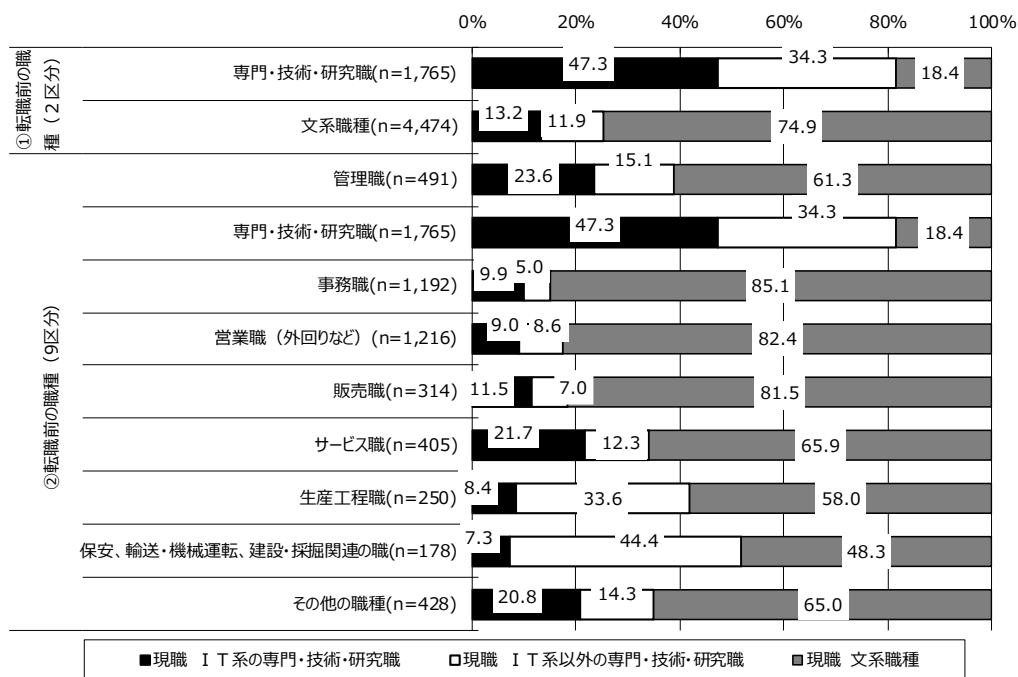
【転職前】「文系職種」では、転職によって、現職で「文系職種」に就いた者が 74.9%を占め、「専門・技術・研究職」(「IT 系の専門・技術・研究職」(13.2%)、「IT 系以外の専門・技術・研究職」(11.9%)との合計)は 25.1%となっている。

②転職前の職種(9区分)¹³で、「文系職種」に着目すると、現職においても「文系職種」の割合が高いのは、【転職前】において「事務職」(85.1%)、「営業職(外回り等)」(82.4%)、「販売職」(81.5%)、「サービス職」(65.9%)などとなっている。

「IT 系の専門・技術・研究職」に就いた割合が比較的高いのは、「その他の職種」(20.8%)、「サービス職」(21.7%)であり、「IT 系以外の専門・技術・研究職」に就いた割合が比較的高いのは、「保安・輸送・機械運転・建設・採掘関連の職」(44.4%)、「生産工程職」(33.6%)である。

¹³ 「転職前の職種(9区分)」(問 9)は、「保安・輸送・機械運転・建設・採掘関連の職」は、「保安職」「輸送・機械運転職」「建設・採掘関連の職」「運搬・清掃・包装など」の合計。「その他の職種」は、「教員職」「農林漁業関連の職」「医療・福祉」「その他の職種」の合計。それ以外は、設問の選択肢のままとしている(以下同じ)。

図表 4-3-4 転職前の職種からみた現在の職種(SA、単位＝％)【転職前の職種別】



※現在の職種に就いた経緯として、「転職をきっかけに、現在の職種に就いた」者を対象に集計。

(3) 転職前の職種・性別にみた現職

転職者の現在の職種(現職)について、転職前の職種(9区分)・性別にみたものが図表 4-3-5 である。転職前と現職で、職種転換(専門・技術・研究職→文系職種、文系職種→専門・技術・研究職)の割合(n=30以上。「その他の職種」は除く)について着目する。

まず、【転職前】「専門・技術・研究職」から【現職】「文系職種」に転換した割合は、男性に比べ女性の方が高い。

【転職前】「事務職」「販売職」「サービス職」の文系職種から【現職】「IT系の専門・技術・研究職」「IT系以外の専門・技術・研究職」に転換した割合は、いずれも女性に比べ男性の方がやや高い。

【転職前】「営業職(外回り等)」から【現職】「IT系の専門・技術・研究職」に転換した割合は男性に比べ女性の方がやや高く、【現職】「IT系以外の専門・技術・研究職」に移った割合は、女性に比べ男性の方が高い。

図表 4-3-5 転職前の職種からみた現在の職種(SA、単位＝％)【転職前の職種(9 区分)・性別】

			n	現職 IT 系の専門・技術・研究職	現職 IT 系以外の専門・技術・研究職	現職 文系職種
転職前の職種	管理職	男性	472	23.7	15.5	60.8
		女性	19	21.1	5.3	73.7
	専門・技術・研究職	男性	1,550	47.2	36.5	16.4
		女性	215	48.4	18.6	33.0
	事務職	男性	549	12.6	7.8	79.6
		女性	643	7.6	2.6	89.7
	営業職（外回りなど）	男性	1,027	8.6	9.5	81.9
		女性	189	11.6	3.2	85.2
	販売職	男性	232	12.1	8.2	79.7
		女性	82	9.8	3.7	86.6
	サービス職	男性	278	24.1	16.9	59.0
		女性	127	16.5	2.4	81.1
	生産工程職	男性	233	8.6	34.8	56.7
		女性	17	5.9	17.6	76.5
	保安・輸送・機械運転、建設・採掘関連の職	男性	175	6.9	44.0	49.1
		女性	3	33.3	66.7	0.0
	その他の職種	男性	309	23.3	18.8	57.9
		女性	119	14.3	2.5	83.2

※現在の職種に就いた経緯として、「転職をきっかけに、現在の職種に就いた」者を対象に集計。

(4) 転職で就いた現職

調査では、現職(SQ5)について詳細な選択肢で尋ねている。そこで、参考として、転職前の職種別に現職(「IT系の専門・技術・研究職」(5区分)¹⁴、「IT系以外の専門・技術・研究職」(4区分)¹⁵、「文系職種」(8区分)¹⁶を確認することで、転職を通じた職種転換の状況を俯瞰する。特に、専門・技術・研究職(理系職種)から文系職種に職種転換した場合、文系職種から専門・技術・研究職(理系職種)に職種転換した場合の現職に着目する。

① 転職前の職種(専門・技術・研究職)からみた現職

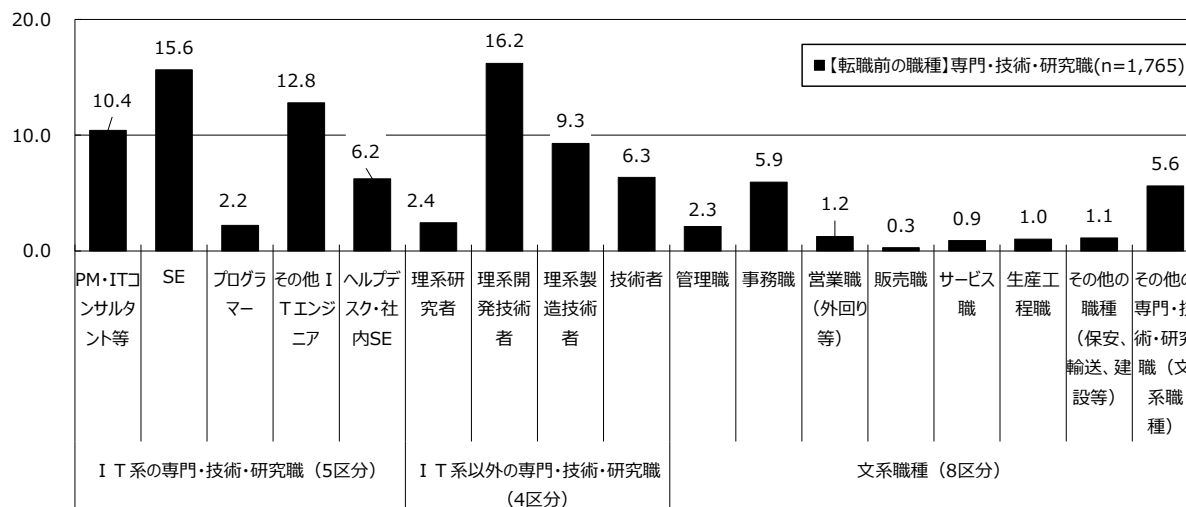
まず、転職前の職種が「専門・技術・研究職」だった者では、先述のとおり、現職では「専門・技術・研究職」に就いている者が8割とほとんどを占めており、それ以外の「文系職種」をみると、「事務職」(5.9%)、「その他の専門・技術・研究職(文系職種)」(5.6%)、「管理職」(2.3%)などとなっている(図表 4-3-6)。

¹⁴ 現職(SQ5)の「IT系の専門・技術・研究職」の区分は、注9の5区分と同じ。

¹⁵ 現職(SQ5)の「IT系以外の専門・技術・研究職」は、ここでは、「理系研究者」「開発技術者」「製造技術者」「技術者」の4区分(以下、「IT系以外の専門・技術・研究職(4区分)」という)。「理系研究者」は自然科学系研究職(「理学研究者」「工学研究者」「農学・林学・水産学研究者」)としてまとめた。開発技術者は、自然科学系(エンジニア・技術者)として選択肢18～25までをまとめている。製造技術者は、自然科学系(エンジニア・技術者)として選択肢26～33までをまとめている。「技術者等」は「建築技術者」「土木技術者」「測量技術者」「農技術者」「畜産技術者」「林業技術者」「水産技術者」「アクチュアリー」「金融・保険商品開発者」をまとめた。

¹⁶ 現職(SQ5)の「文系職種」の区分は、「その他の職種(保安・輸送、建設等)」は、「教員職」及び、「保安職」「輸送・機械運転職」「建設・採掘関連の職」「運搬・清掃・包装の職」「その他の職種」でまとめ、「その他の専門・技術・研究職(文系職種)」は、「証券アナリスト」「ファンドマネジャー」「その他の金融・保険系専門職」及び「その他の専門・技術・研究職(「人文科学系(文学・外国語・心理等)」「社会科学系(法律・経営・経済)」「教育系」「芸術系」「著述・記者・編集者」)をまとめている。それ以外は、設問の選択肢のままとしている(以下、「文系職種(8区分)」という)。

図表 4-3-6 転職前の職種(専門・技術・研究職)からみた現職(SA、単位＝％)

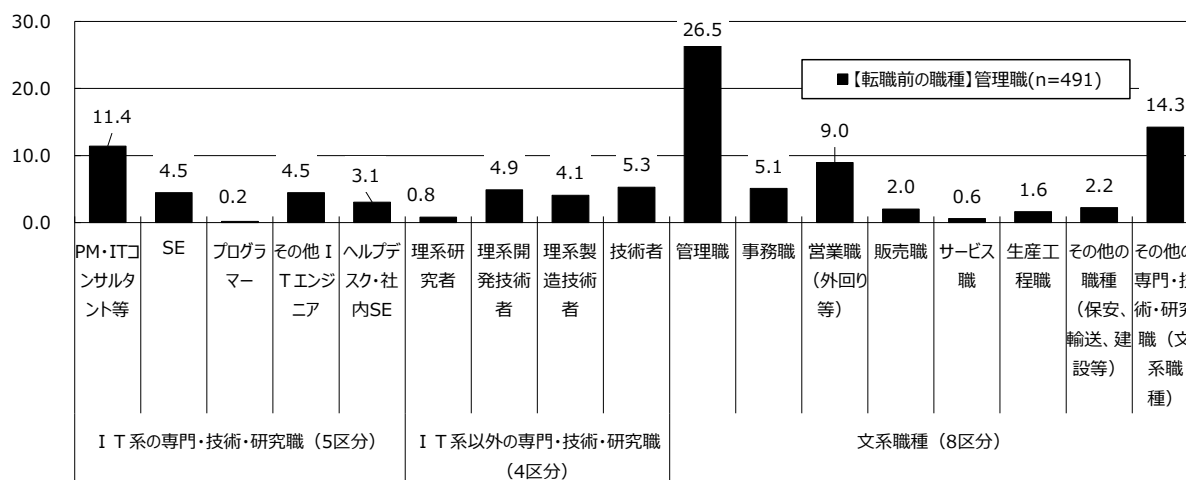


※現在の職種に就いた経緯として、「転職をきっかけに、現在の職種に就いた」者を対象に集計。

②転職前の職種(管理職)からみた現職

以下では、転職前に文系職種だった者の現職についてみる。まず、【転職前】「管理職」だった者の現職では、26.5％が「管理職」となっており、次いで、「その他の専門・技術・研究職(文系職種)」(14.3％)、「PM・IT コンサルタント等」(11.4％)、「営業職(外回り等)」(9.0％)などとなっている(図表 4-3-7)。管理職のなかには、専門・技術・研究職として、「PM・IT コンサルタント等」に職種転換した者もみられる。

図表 4-3-7 転職前の職種(管理職)からみた現職(SA、単位＝％)

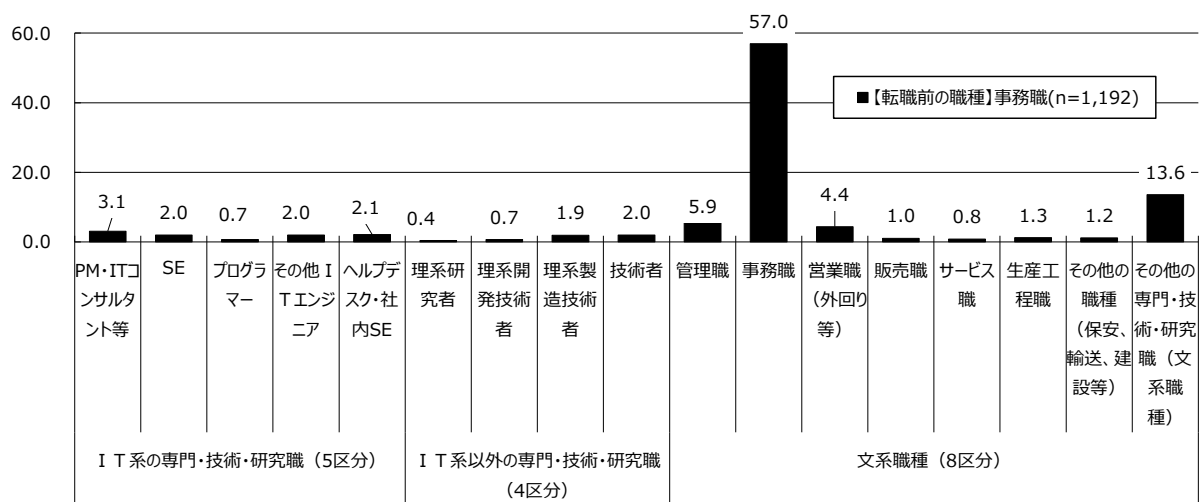


※現在の職種に就いた経緯として、「転職をきっかけに、現在の職種に就いた」者を対象に集計。

③転職前の職種(事務職)からみた現職

【転職前】「事務職」では、現職で「事務職」のままだった者が 57.0%と 6 割弱を占める。それ以外の職種では、「その他の専門・技術・研究職(文系職種)」(13.6%)、「管理職」(5.9%)、「営業職(外回り等)」(4.4%)などとなっている。事務職は、理系の専門・技術・研究職に就く者は多くはないが、IT 系では「PM・IT コンサルタント等」(3.1%)、「ヘルプデスク・社内 SE」(2.1%)、「SE」(2.0%)、「その他 IT エンジニア」(2.0%)などに就いている者もいる(図表 4-3-8)。

図表 4-3-8 転職前の職種(事務職)からみた現職(SA、単位=%)



※現在の職種に就いた経緯として、「転職をきっかけに、現在の職種に就いた」者を対象に集計。

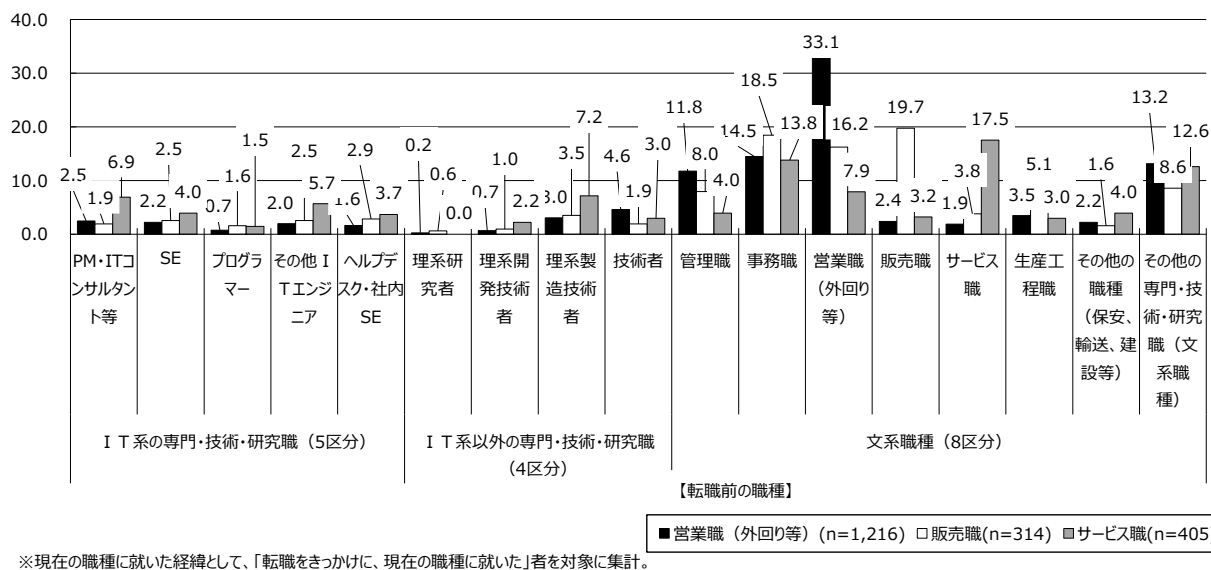
④転職前の職種(営業職、販売職、サービス職)からみた現職

以下では、転職前の職種として、「営業職(外回り等)」「販売職」「サービス職」についてみる。まず、【転職前】「営業職(外回り等)」では、【現職】「営業職(外回り等)」が 33.1%と 3 割を占め、「事務職」(14.5%)や「その他の専門・技術・研究職(文系職種)」(13.2%)、「管理職」(11.8%)に転換している者もいる。

【転職前】「販売職」では、【現職】「販売職」(19.7%)、「事務職」(18.5%)、「営業職(外回り等)」(16.2%)でそれぞれ 1～2 割弱ある。

【転職前】「サービス職」では、【現職】「サービス職」(17.5%)、「事務職」(13.8%)、「その他の専門・技術・研究職(文系職種)」(12.6%)でそれぞれ 1 割台。一方、理系の専門・技術・研究職でも、「理系製造技術者」(7.2%)、「PM・IT コンサルタント等」(6.9%)、「その他 IT エンジニア」(5.7%)がみられる(図表 4-3-9)。

図表 4-3-9 転職前の職種(営業職、販売職、サービス職)からみた現職(SA、単位=%)

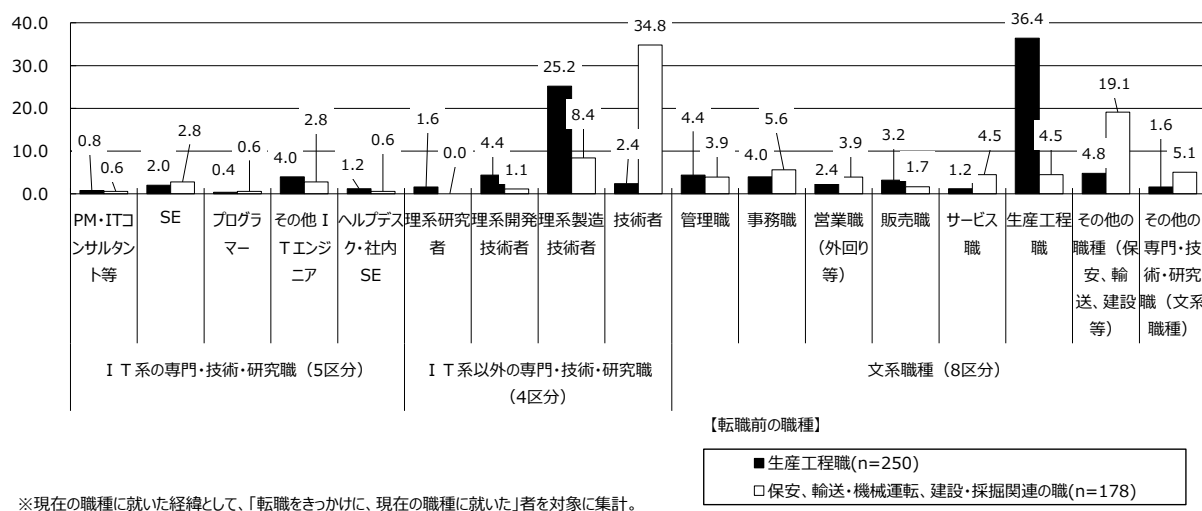


⑤転職前の職種(生産工程職、保安、輸送・機械運転、建設・採掘関連の職)からみた現職

以下では、転職前の職種として、「生産工程職」「保安、輸送・機械運転、建設・採掘関連の職」についてみる。【転職前】「生産工程職」では、【現職】「生産工程職」が36.4%と4割弱を占める一方、理系の専門・技術・研究職でも、「製造技術者」(25.2%)がみられる。

【転職前】「保安、輸送・機械運転、建設・採掘関連の職」では、【現職】「技術者」(34.8%)、「その他の職種(保安、輸送、建設等)」(19.1%)の割合が高い(図表 4-3-10)。

図表 4-3-10 転職前の職種(生産工程職、保安、輸送・機械運転、建設・採掘関連の職)からみた現職(SA、単位=%)



(5) 転職時の年齢

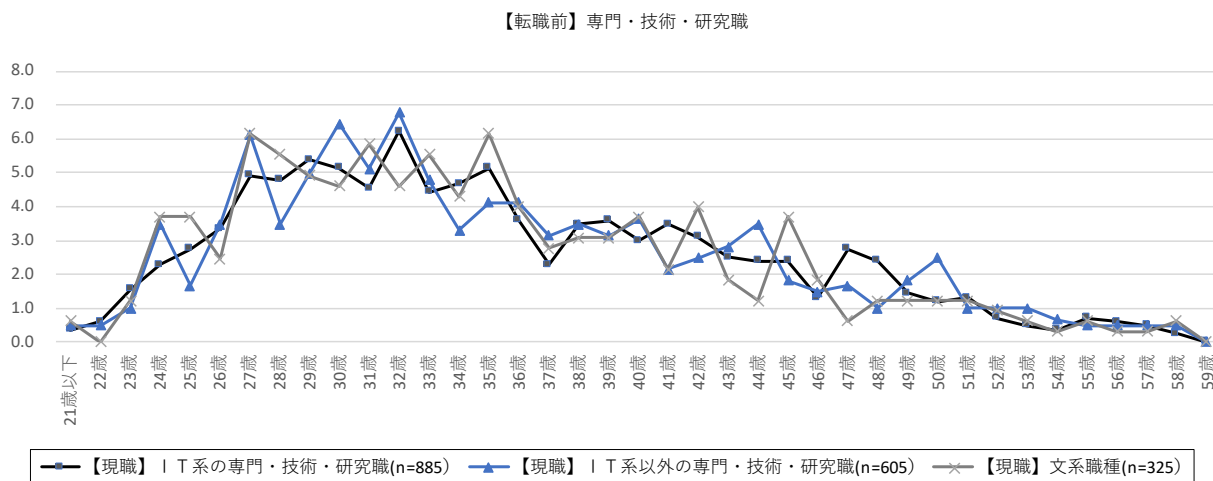
以下は、転職者の現在の職種(現職)における転職者の転職時の年齢¹⁷を確認する。まず、【転職前】「専門・技術・研究職」について、現職をまとめたものが図表 4-3-11 である。それによれば、【転職前】「専門・技術・研究職」において、転職時年齢で最も割合が高いのは、「IT 系の専門・技術・研究職」(29 歳 5.4%)、「IT 系以外の専門・技術・研究職」(27 歳 6.1%)、「文系職種」(27 歳 6.2%) である。おおまかな傾向を記すと、【現職】「IT 系の専門・技術・研究職」「IT 系以外の専門・技術・研究職」「文系職種」のいずれにおいても、おおむね 27 歳～35 歳あたりでピークを迎え、それ以降はいくつかの小さな山はあるものの、なだらかに低下傾向をたどる。

同様に、【転職前】「文系職種」について、現職をまとめたものが図表 4-3-12 である。【現職】「文系職種」(【転職前】「文系職種」→【現職】「文系職種」)は、文系職種の範囲内で転職したことになるが、【現職】「IT 系の専門・技術・研究職」「IT 系以外の専門・技術・研究職」であれば、文系職種以外の転職をしたことになる。

それによれば、【転職前】「文系職種」において、転職時年齢で割合が高いのは、「IT 系の専門・技術・研究職」(30 歳 7.3%、27 歳 7.1%)、「IT 系以外の専門・技術・研究職」(32 歳 5.8%、27 歳 5.4%)、「文系職種」(26 歳 5.2%、30 歳 5.1%) である。おおまかな傾向を記すと、まず、【現職】「文系職種」においては、おおむね 24 歳～35 歳にかけてピークを迎え、それ以降はなだらかに低下傾向にある。【現職】「IT 系以外の専門・技術・研究職」では、おおむね 24 歳～34 歳あたりでピークを迎え、それ以降はいくつかの小さな山はあるものの、なだらかに低下傾向にある。【現職】「IT 系の専門・技術・研究職」では、おおむね 24 歳～31 歳あたりでピークを迎え(特に 25 歳～27 歳あたりと 30 歳)、それ以降はいくつかの小さな山はあるものの、なだらかに低下傾向にある。

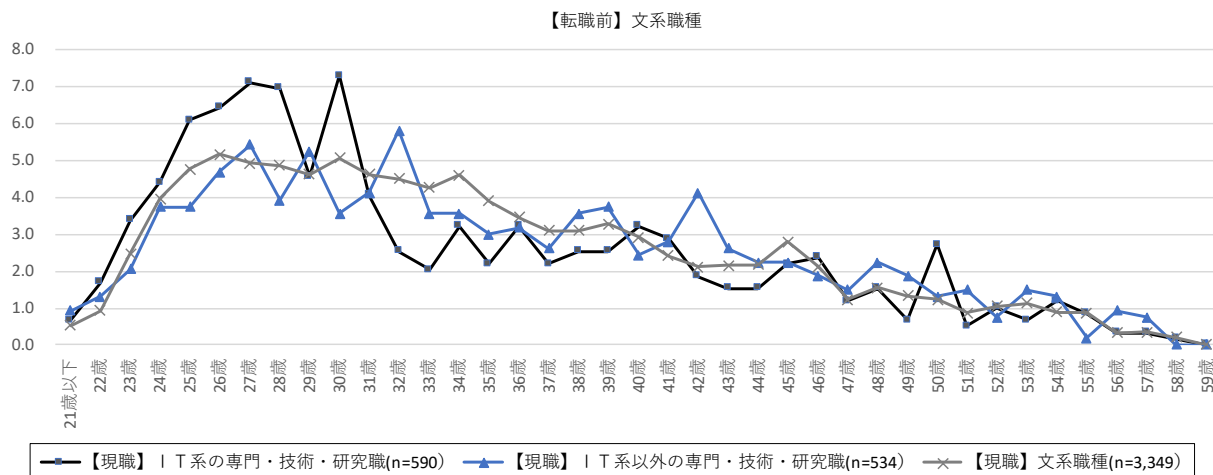
¹⁷ 調査では、大学・大学院を卒業した年、初職に就いた年、現在の会社に就職した年、現在の職種に就いた年、誕生年について尋ねている。本節では、転職者に限定し、現在の会社に就職した年から転職時年齢を算出している(以下、「転職時年齢」という)。

図表 4-3-11 現職に転職で就いた年齢(【転職前】専門・技術・研究職)(単位=%)



※現在の職種に就いた経緯として、「転職をきっかけに、現在の職種に就いた」者のうち、転職前が専門・技術・専門職の者を対象に集計。

図表 4-3-12 現職に転職で就いた年齢(【転職前】文系職種)(単位=%)



※現在の職種に就いた経緯として、「転職をきっかけに、現在の職種に就いた」者のうち、転職前が文系職種（専門・技術・専門職以外）の者を対象に集計。

転職時年齢を転職前の職種・現職別にみたもの図表 4-3-13 である。それによれば、「30 歳未満・計」の割合は、【転職前】「専門・技術・研究職」では、いずれの現職においても、25%強となっている。一方、【転職前】「文系職種」では、【現職】「IT 系以外の専門・技術・研究職」「文系職種」はいずれも 3 割程度であるところ、【現職】「IT 系の専門・技術・研究職」では 41.4%と高くなっている。総じて言えば、【現職】「IT 系の専門・技術・研究職」において、転職年齢 30 歳未満の割合は、転職前の職種で「専門・技術・研究職」に比べ「文系職種」の方が高い。「文系職種」から「IT 系の専門・技術・研究職」への転換者であるほど、20 代後半層の早期から転職がなされている傾向が示唆される。

図表 4-3-13 現職に転職で就いた年齢(単位=%)【転職前の職種・現職】

		n	25歳未満	25～30歳未満	30～35歳未満	35～40歳未満	40～45歳未満	45～50歳未満	50歳以上	30歳未満・計
【転職前】 専門・技術・研究職	現職 IT系の専門・技術・研究職	835	4.8	21.2	25.0	18.1	14.5	10.3	6.1	26.0
	現職 IT系以外の専門・技術・研究職	605	5.5	19.7	26.4	18.0	14.5	7.8	8.1	25.1
	現職 文系職種	325	5.5	22.8	24.9	19.1	12.9	8.6	6.2	28.3
【転職前】 文系職種	現職 IT系の専門・技術・研究職	590	10.2	31.2	19.2	12.7	11.0	8.0	7.8	41.4
	現職 IT系以外の専門・技術・研究職	534	8.1	23.0	20.6	16.1	14.2	9.7	8.2	31.1
	現職 文系職種	3,349	7.9	24.4	23.1	16.9	11.8	9.0	6.9	32.3

※現在の職種に就いた経緯として、「転職をきっかけに、現在の職種に就いた」者を対象に集計。「30歳未満・計」は、「25歳未満」「25～30歳未満」の合計。

これを性別にみたものが図表 4-3-14 である。それによると、いずれの現職においても、「30 歳未満・計」の割合は、男性よりも女性の方が高い。特に、【転職前】「文系職種」かつ、【現職】「IT 系の専門・技術・研究職」の場合、「30 歳未満・計」の割合は、男性が 34.9%、女性が 65.9%であり、女性の割合の高さが際立っている。

図表 4-3-14 現職に転職で就いた年齢(単位=%)【転職前の職種・現職・性別】

		性	n	25歳未満	25～30歳未満	30～35歳未満	35～40歳未満	40～45歳未満	45～50歳未満	50歳以上	30歳未満・計
【転職前】 専門・技術・研究職	現職 IT系の専門・技術・研究職	男性	731	4.4	19.8	24.9	18.1	14.9	11.2	6.7	24.2
		女性	104	7.7	30.8	26.0	18.3	11.5	3.8	1.9	38.5
	現職 IT系以外の専門・技術・研究職	男性	565	4.6	19.8	26.2	18.2	14.9	8.0	8.3	24.4
		女性	40	17.5	17.5	30.0	15.0	10.0	5.0	5.0	35.0
	現職 文系職種	男性	254	5.9	21.3	25.2	20.5	11.4	8.7	7.1	27.2
		女性	71	4.2	28.2	23.9	14.1	18.3	8.5	2.8	32.4
【転職前】 文系職種	現職 IT系の専門・技術・研究職	男性	467	9.2	25.7	19.7	14.3	12.8	9.0	9.2	34.9
		女性	123	13.8	52.0	17.1	6.5	4.1	4.1	2.4	65.9
	現職 IT系以外の専門・技術・研究職	男性	496	7.9	22.0	20.2	16.7	14.7	9.9	8.7	29.8
		女性	38	10.5	36.8	26.3	7.9	7.9	7.9	2.6	47.4
	現職 文系職種	男性	2,311	6.1	21.2	23.2	17.7	12.4	10.5	9.0	27.2
		女性	1,038	12.0	31.5	22.8	15.0	10.5	5.9	2.2	43.5

※現在の職種に就いた経緯として、「転職をきっかけに、現在の職種に就いた」者を対象に集計。「30歳未満・計」は、「25歳未満」「25～30歳未満」の合計。

これを【現職】「IT 系の専門・技術・研究職」に限定し、転職前の文系職種別にみたものが図表 4-3-15 である(n=30 以上、「その他の職種」除く)。それによれば、「30 歳未満・計」の割合は、「営業職(外回り等)」「(55.5%)」、「販売職」(52.8%)、「サービス職」(48.9%)の順で高くなっている。

図表 4-3-15 現職(IT 系の専門・技術・研究職)に転職で就いた年齢(単位=%)【転職前の職種】

	現職 IT系の専門・技術・研究職	n	25歳未満	25～30歳未満	30～35歳未満	35～40歳未満	40～45歳未満	45～50歳未満	50歳以上	30歳未満・計
【転職前】 文系職種	管理職	116	5.2	7.8	11.2	21.6	16.4	17.2	20.7	12.9
	事務職	118	5.1	38.1	24.6	11.9	11.0	6.8	2.5	43.2
	営業職(外回りなど)	110	20.0	35.5	19.1	9.1	9.1	3.6	3.6	55.5
	販売職	36	11.1	41.7	30.6	2.8	11.1	0.0	2.8	52.8
	サービス職	88	14.8	34.1	23.9	11.4	9.1	2.3	4.5	48.9
	生産工程職	21	4.8	42.9	4.8	9.5	19.0	14.3	4.8	47.6
	保安・輸送・機械運転、建設・採掘関連の職	13	7.7	38.5	15.4	0.0	15.4	7.7	15.4	46.2
	その他の職種	88	8.0	36.4	17.0	14.8	5.7	10.2	8.0	44.3

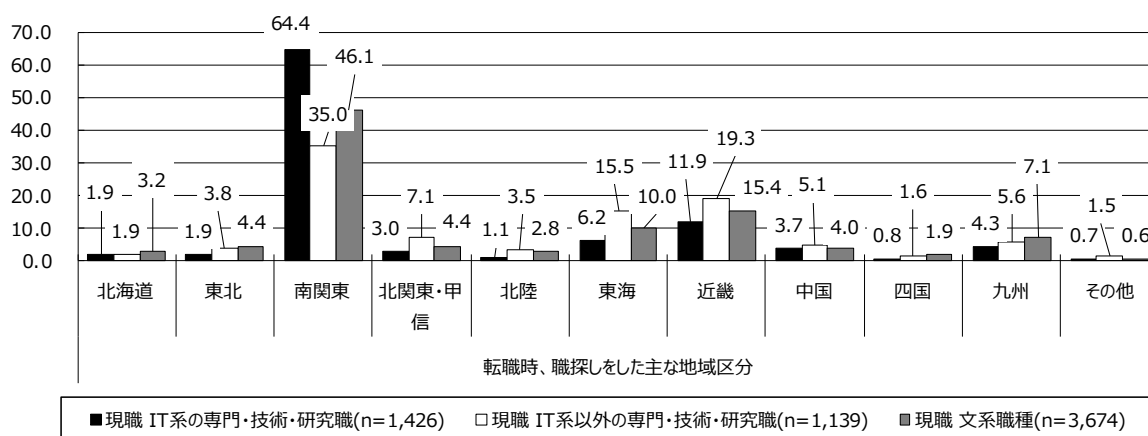
※現在の職種に就いた経緯として、「転職をきっかけに、現在の職種に就いた」者を対象のうち、【転職前】「文系職種」、かつ、【現職】「IT 系の専門・技術・研究職」に限定し集計。「30歳未満・計」は、「25歳未満」「25～30歳未満」の合計。

(6) 転職時の職探しをした地域

調査では、「あなたは現在のお勤め先に就く際の就職活動中、主にどの都道府県の職を探しましたか。転職し、現在の職種に就いた方にお聞きします」と尋ねている。転職時の職探しの地域でまとめたものが図表 4-3-16 である。それによれば、いずれの職種においても、「南関東」が最も高く、次いで、「近畿」「東海」などとなっている。特に、【現職】「IT 系の専門・技術・研究職」の「南関東」の割合は 64.4%と突出して高くなっている。

そこで、転職年別¹⁸にみると、【現職】「IT 系の専門・技術・研究職」「文系職種」の「南関東」の割合は、それぞれ最近になるほど高くなる傾向にあり、その一方で「近畿」がやや低下している（図表 4-3-17）。

図表 4-3-16 転職時、職探しをした主な地域区分（SA、単位＝％）【現職別】



※現在の職種に就いた経緯として、「転職をきっかけに、現在の職種に就いた」者を対象に集計。

図表 4-3-17 転職時、職探しをした主な地域区分（SA、単位＝％）【現職・転職年別】

	転職年	n	北海道	東北	南関東	北関東・甲信	北陸	東海	近畿	中国	四国	九州	その他
現職 IT系の専門・技術・研究職	1990年代以前	105	1.9	1.0	50.5	1.9	4.8	8.6	18.1	4.8	1.9	6.7	0.0
	2000年代	321	1.9	1.6	62.6	4.4	0.9	4.7	13.4	5.6	0.3	4.7	0.0
	2010年代以降	999	1.9	2.1	66.5	2.7	0.8	6.4	10.8	3.0	0.9	3.9	1.0
現職 IT系以外の専門・技術・研究職	1990年代以前	76	1.3	6.6	35.5	9.2	0.0	17.1	19.7	2.6	1.3	2.6	3.9
	2000年代	366	0.8	3.3	34.2	8.2	3.6	17.8	16.1	6.8	1.6	6.0	1.6
	2010年代以降	697	2.6	3.7	35.4	6.3	3.9	14.2	20.9	4.4	1.6	5.7	1.1
現職 文系職種	1990年代以前	292	4.8	4.1	41.8	4.1	2.4	11.3	17.5	4.5	3.1	5.5	1.0
	2000年代	1,018	2.7	3.9	42.9	5.2	3.5	11.5	16.8	4.3	1.7	6.9	0.6
	2010年代以降	2,364	3.3	4.7	47.9	4.1	2.5	9.3	14.6	3.8	1.9	7.4	0.6

※現在の職種に就いた経緯として、「転職をきっかけに、現在の職種に就いた」者を対象に集計。

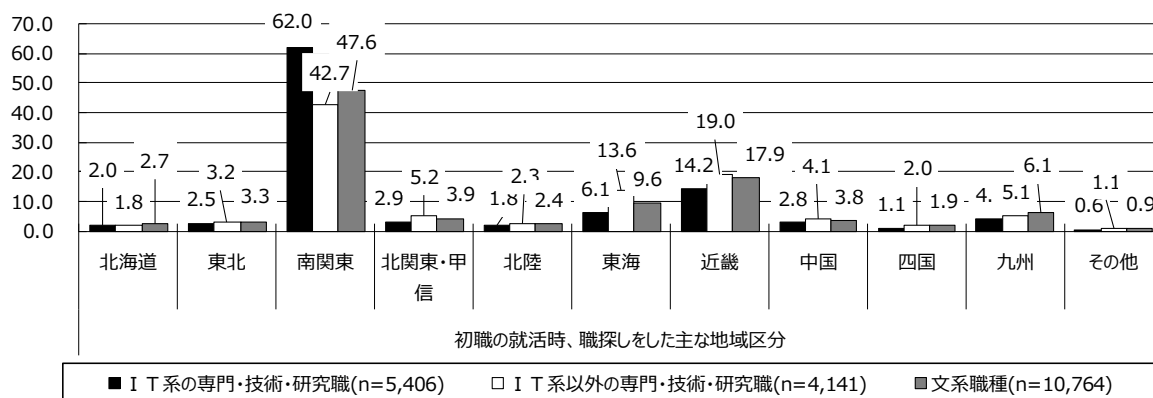
なお、調査では、「あなたは、初職に就くための就職活動中、主にどの都道府県の職を探しましたか。初職には学卒後、初めて就いた正社員の仕事をお答えください」と尋ねている。参考として、初職の就活時の職探し地域をまとめたものが図表 4-3-18 である。また、これを卒業年代別¹⁹にみても

¹⁸ ここでは、転職者に限定し、現在の会社に就職した年から転職年を算出している。

¹⁹ ここでは、初職の職探し卒業前になされることが多いことから、大学・大学院を卒業した年（卒年）でみている。

のが図表 4-3-19 である。いずれにおいても、転職時の職探し地域と同様の傾向であり、特に【現職】「IT 系の専門・技術・研究職」の「南関東」の割合が突出して高いことに違いはなく、また、卒業年代でみても、【現職】「IT 系の専門・技術・研究職」の「南関東」の割合が最近になるほど高くなる傾向にある。

図表 4-3-18 初職の就活時、職探しをした主な地域区分(SA、単位＝％)



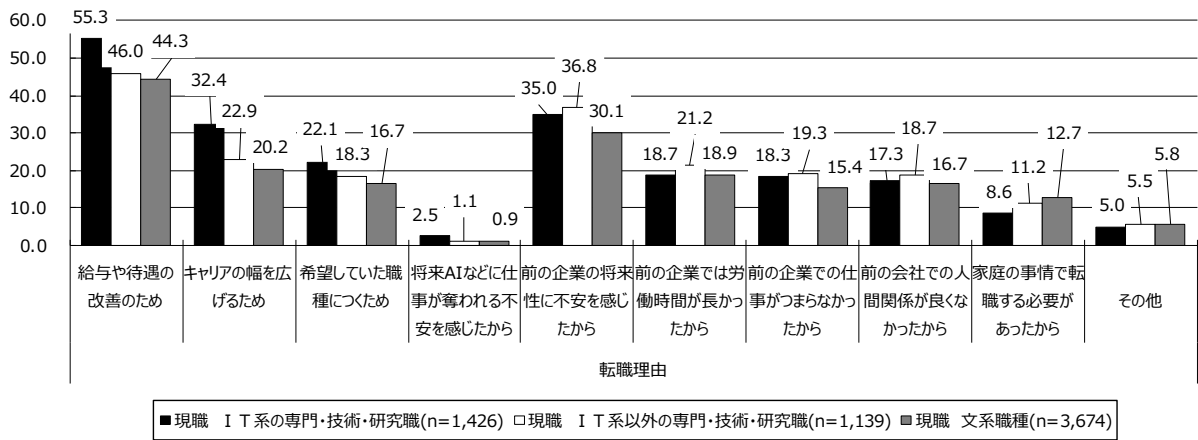
図表 4-3-19 初職の就活時、職探しをした主な地域区分(SA、単位＝％)【現職・卒業年代別】

	卒年	n	北海道	東北	南関東	北関東・甲信	北陸	東海	近畿	中国	四国	九州	その他
初職 IT系の専門・技術・研究職	1990年代以前	2,562	1.9	2.5	59.4	3.1	1.8	6.4	15.3	3.0	1.3	4.7	0.6
	2000年代	1,673	2.2	3.2	63.0	3.0	2.0	5.7	13.2	2.8	0.9	3.5	0.5
	2010年代以降	1,171	1.9	1.5	66.4	2.2	1.5	6.0	13.4	2.2	0.8	3.5	0.7
初職 IT系以外の専門・技術・研究職	1990年代以前	2,267	1.9	3.0	44.0	4.6	2.2	11.8	19.9	4.3	1.9	5.5	0.8
	2000年代	1,244	1.6	3.9	41.1	6.1	2.4	15.8	17.3	3.5	1.9	4.9	1.6
	2010年代以降	630	1.7	2.5	41.1	5.7	2.4	15.6	18.9	4.6	2.2	4.1	1.1
初職 文系職種	1990年代以前	5,363	2.8	3.0	47.7	4.0	2.5	9.7	18.4	3.8	1.6	5.6	0.9
	2000年代	3,218	2.7	3.7	47.1	3.9	2.5	8.6	17.6	4.1	2.4	6.5	1.0
	2010年代以降	2,183	2.5	3.3	48.3	3.6	1.9	10.5	17.4	3.3	1.8	6.8	0.5

4-3-3. 転職で現在の職種に就いた理由

調査では、「あなたが現在の勤め先に転職しようと思った理由は何ですか」(以下、「転職理由」という)と尋ねている。これを現職(職種)ごとに集計したものが図表 4-3-20 である。それによれば、いずれの職種においても、「給与や待遇の改善のため」が 4 割前後と最も高く、次いで、「前の企業の将来性に不安を感じたから」が 3 割、「キャリアの幅を広げるため」が 2～3 割、「希望していた職種につくため」が 2 割前後などとなっている。一方で、「将来 AI などに仕事が奪われる不安を感じたから」という理由は 1～2%と少なく、AI による職業の影響に対する懸念は転職理由としては重要でないことが示唆される。

図表 4-3-20 現在の職種に就いた理由(MA、単位＝%)【現職別】



※現在の職種に就いた経緯として、「転職をきっかけに、現在の職種に就いた」者を対象に集計。

これを転職前の職種・現職別にみたものが図表 4-3-21 である。それによれば、【転職前】「専門・技術・研究職」「文系職種」のいずれも、「給与や待遇の改善のため」「キャリアの幅を広げるため」については、【現職】「文系職種」に比べ、【現職】「IT系の専門・技術・研究職」の方が高い。「希望していた職種につくため」は、【転職前の職種】「文系職種」において、【現職】「文系職種」に比べ、【現職】「IT系の専門・技術・研究職」の方が高い。

図表 4-3-21 現在の職種に就いた理由(MA、単位＝%)【転職前の職種・現職別】

		n	給与や待遇の改善のため	キャリアの幅を広げるため	希望していた職種につくため	将来AIなどに仕事が変わる不安を感じたから	前の企業の将来性に不安を感じたから	前の企業では労働時間が長かったから	前の企業での仕事がつまなかったから	前の会社での人間関係が良かったから	家庭の事情で転職する必要があったから	その他
【転職前】専門・技術・研究職	現職 IT系の専門・技術・研究職	835	58.3	32.6	21.7	1.0	35.6	16.8	17.1	16.5	8.7	5.0
	現職 IT系以外の専門・技術・研究職	605	47.9	26.0	20.3	0.8	39.7	19.8	19.8	18.7	9.8	6.8
	現職 文系職種	325	40.3	24.9	20.0	0.3	28.3	17.5	15.1	11.1	15.7	6.8
【転職前】専門・技術・研究職以外(文系職種)	現職 IT系の専門・技術・研究職	591	50.9	32.1	22.7	4.6	34.2	21.3	20.0	18.3	8.3	5.1
	現職 IT系以外の専門・技術・研究職	534	43.8	19.5	15.9	1.5	33.5	22.8	18.7	18.7	12.7	4.1
	現職 文系職種	3,349	44.7	19.7	16.3	1.0	30.2	19.1	15.4	17.2	12.5	5.7

※現在の職種に就いた経緯として、「転職をきっかけに、現在の職種に就いた」者を対象に集計。

そこで、以下では、転職理由「給与や待遇の改善のため」「キャリアの幅を広げるため」「希望していた職種につくため」について、転職前の職種別にみることで、「文系職種」「事務職」「営業職(外回り等)」「販売職」「サービス職」が、【現職】「IT系の専門・技術・研究職」に転職した理由を概観する²⁰。

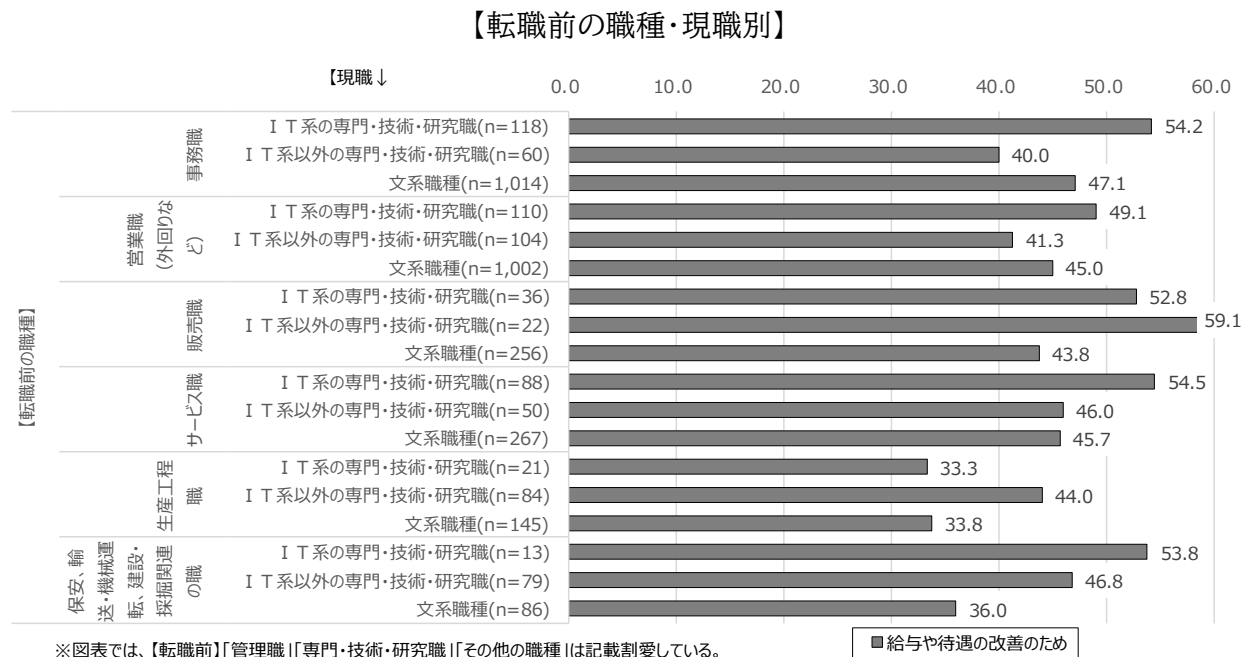
²⁰ ここでは、転職前の職種(9区分)のうち、【転職前】「管理職」「専門・技術・研究職」「その他の職種」は、図表において記載割愛している。また、図表には収録されているものの、【現職】「IT系の専門・技術・研究職」(n=30未満)の【転職前】「生産工程職」「保安・輸送・機械運転、建設・採掘関連の職」は、n数が少ないことから文章記載は割愛する。

まず、転職理由「給与や待遇の改善のため」については、【転職前】「事務職」「営業職(外回り等)」「販売職」「サービス職」いずれの職種においても、【現職】「文系職種」に比べ「IT系の専門・技術・研究職」の方がその割合は高い(図表 4-3-22)。これらの職種においては、【現職】「IT系の専門・技術・研究職」に職種転換する動機として、給与・待遇の改善があることがうかがえる。

また、転職理由「キャリアの幅を広げるため」については、【転職前】「事務職」「営業職(外回り等)」「販売職」「サービス職」いずれの職種においても、【現職】「文系職種」に比べ「IT系の専門・技術・研究職」の方がその割合は高い。【現職】「IT系の専門・技術・研究職」に就いた者のその割合は、【転職前】「サービス職」(39.8%)、「事務職」(37.3%)、「営業職(外回り等)」(30.9%)、「販売職」(27.8%)と高い(図表 4-3-23)。「IT系の専門・技術・研究職」に職種転換する理由として、キャリアの幅を広げることに對する期待があることが示唆される。

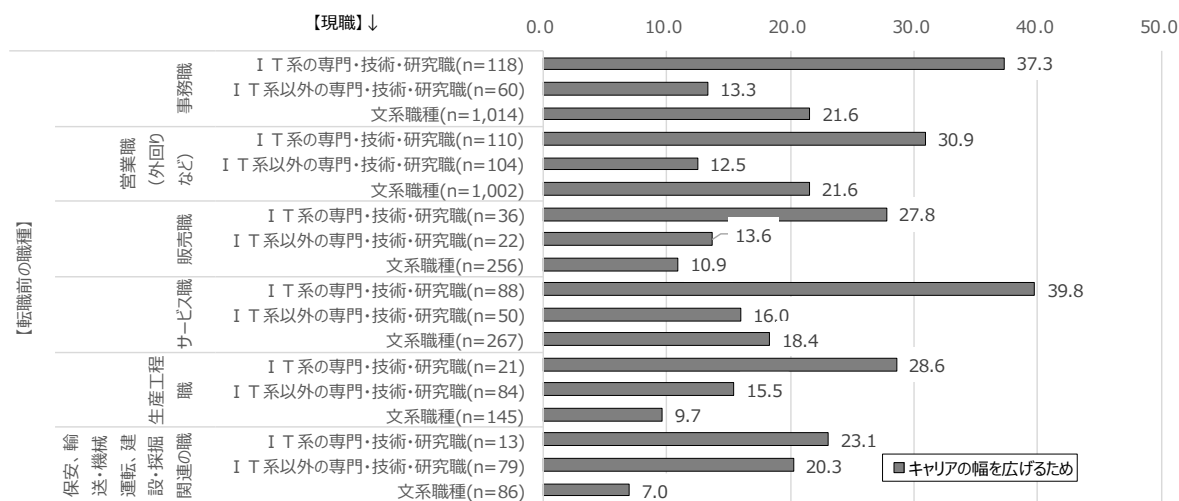
転職理由「希望していた職種につくため」も、これらの転職前の職種において、【現職】「文系職種」に比べ「IT系の専門・技術・研究職」の方がその割合は高い。特に、【転職前】「サービス職」「営業職(外回り等)」「販売職」において、その割合は、【現職】「文系職種」に比べ「IT系の専門・技術・研究職」の方が高い。一方、「事務職」では、その割合は、【現職】「文系職種」(17.2%)、【現職】「IT系の専門・技術・研究職」(20.3%)であり、その差は少ない(図表 4-3-24)。「サービス職」「営業職(外回り等)」「販売職」では、「IT系の専門・技術・研究職」に就く上で転職によって、希望職種に就いている意識が強いことが示唆される。

図表 4-3-22 転職前(文系職種)の転職理由「給与や待遇の改善のため」(MA、単位=%)



図表 4-3-23 転職前(文系職種)の転職理由「キャリアの幅を広げるため」(MA、単位=%)

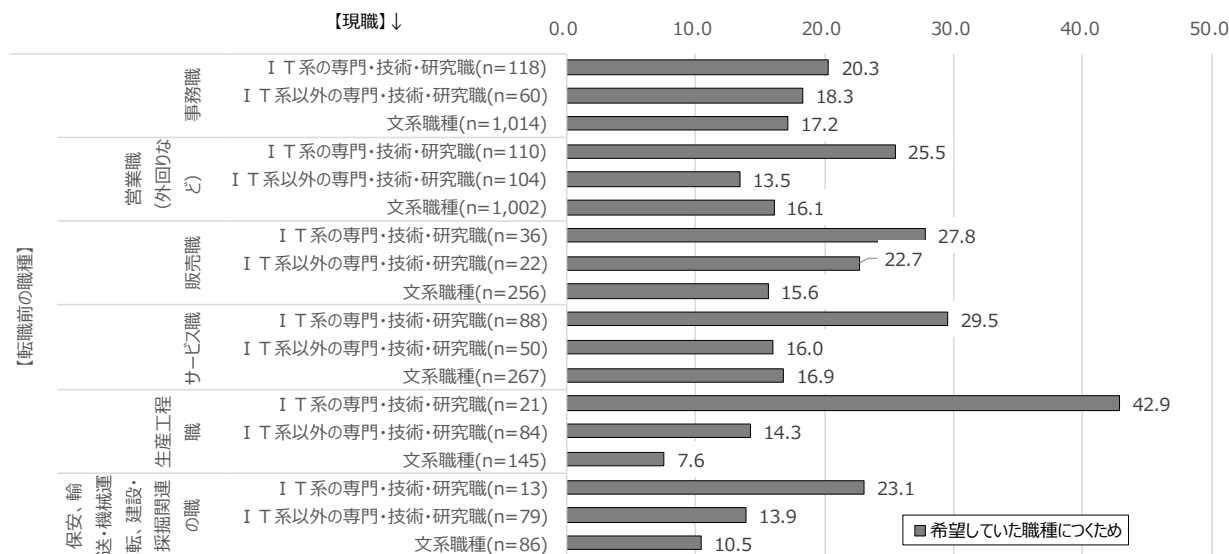
【転職前の職種・現職別】



※図表では、【転職前】「管理職」「専門・技術・研究職」「その他の職種」は記載割愛している。

図表 4-3-24 転職前(文系職種)の転職理由「希望していた職種につくため」(MA、単位=%)

【転職前の職種・現職別】



※図表では、【転職前】「管理職」「専門・技術・研究職」「その他の職種」は記載割愛している。

4-3-4. 転職するために勉強したこと

(1) 転職するために勉強したこと

本調査では、「転職するために、自分で勉強したこと」について尋ねている。これを転職前の職種・現職の職種ごとに集計したものが図表 4-3-25 である。IT系の勉強内容(「一般的なPC・OAスキル」「プログラミング」「WEBやアプリ制作」「動画編集」「デザイン」)に着目し、「勉強あり」「資格取得を目指して勉強をしたことがある」「資格取得を目指さず勉強をしたことがある」のいずれか選択)

の割合についてみると、特に【現職】「IT 系の専門・技術・研究職」において、「プログラミング」(【転職前】「専門・技術・研究職」71.4%、「文系職種」61.3%)、「一般的な PC・OA スキル」(【転職前】「専門・技術・研究職」57.8%、「文系職種」63.1%)、「WEB やアプリ制作」(【転職前】「専門・技術・研究職」50.2%、「文系職種」42.8%)で高くなっている。「動画編集」(【転職前】「専門・技術・研究職」19.8%、「文系職種」24.0%)、「デザイン」(【転職前】「専門・技術・研究職」15.6%、「文系職種」19.1%)も 2 割前後あり、他の職種に比べて高い。

なお、「資格取得を目指して勉強をしたことがある」割合をみると、特に【現職】「IT 系の専門・技術・研究職」において、「プログラミング」(【転職前】「専門・技術・研究職」34.9%、「文系職種」28.8%)、「一般的な PC・OA スキル」(【転職前】「専門・技術・研究職」29.0%、「文系職種」34.2%)などで、他の職種に比べ高くなっている。

調査では、転職時に何らかの勉強をした者を対象に、「転職する上で最も効果的だったもの」についても尋ねている。これを転職前の職種・現職の職種ごとに集計したものが図表 4-3-26 である。それによれば、【現職】「IT 系の専門・技術・研究職」に就いた者では、【転職前】「専門・技術・研究職」において、「プログラミング」(30.1%)、「一般的な PC・OA スキル」(13.3%)の割合が高く、【転職前】「文系職種」においても、「プログラミング」(23.9%)、「一般的な PC・OA スキル」(20.7%)の割合が高い。【現職】「IT 系の専門・技術・研究職」に就いた者では、「プログラミング」の学習に最も効果を感じている。

それ以外の職種(【現職】「IT 系以外の専門・技術・研究職」「文系職種」)では、「一般的な PC・OA スキル」が最も割合が高く、【転職前】「専門・技術・研究職」で 1 割強、「文系職種」で 2 割弱となっている。

転職前は文系職種であり、現職で IT 系の職種に転換した者をみるため、図表 4-3-27 では、【現職】「IT 系の専門・技術・研究職」に就いた者に限定し、【転職前】文系職種の効果的な勉強内容を集計している。それによれば、【転職前】「事務職」「管理職」では、「プログラミング」が最も割合が高く、次いで「一般的な PC・OA スキル」となっている。【転職前】「販売職」「サービス職」「営業職(外回り等)」では、「一般的な PC・OA スキル」が最も割合が高く、次いで、「プログラミング」となっている。これらの職種では、いずれも転職で効果があったものとして、「一般的な PC・OA スキル」や「プログラミング」が高く評価されていることがうかがえる。

図表 4-3-25 転職するために勉強したこと(MA、単位＝%)【転職前の職種・現職別】

		n	一般的なPC・OAスキル				プログラミング				WEBやアプリ制作			
			資格取得を目指して勉強をしたことがある	資格取得を目指さず勉強をしたことがある	勉強したことがない	勉強あり	資格取得を目指して勉強をしたことがある	資格取得を目指さず勉強をしたことがある	勉強したことがない	勉強あり	資格取得を目指して勉強をしたことがある	資格取得を目指さず勉強をしたことがある	勉強したことがない	勉強あり
【転職前】専門・技術・研究職	現職 IT系の専門・技術・研究職	835	29.0	34.3	42.2	57.8	34.9	43.4	28.6	71.4	13.7	39.9	49.8	50.2
	現職 IT系以外の専門・技術・研究職	605	9.9	31.1	59.7	40.3	8.4	25.8	66.8	33.2	3.0	13.9	83.8	16.2
	現職 文系職種	325	20.3	36.0	44.3	55.7	14.8	26.8	59.4	40.6	6.8	23.7	69.8	30.2
【転職前】文系職種	現職 IT系の専門・技術・研究職	591	34.2	32.3	36.9	63.1	28.8	35.4	38.7	61.3	12.4	31.6	57.2	42.8
	現職 IT系以外の専門・技術・研究職	534	13.9	28.7	59.7	40.3	5.8	17.4	77.3	22.7	4.3	12.5	83.7	16.3
	現職 文系職種	3,349	17.5	28.2	55.8	44.2	4.3	10.1	86.1	13.9	1.7	8.4	90.1	9.9

		n	動画編集				デザイン				マーケティング			
			資格取得を目指して勉強をしたことがある	資格取得を目指さず勉強をしたことがある	勉強したことがない	勉強あり	資格取得を目指して勉強をしたことがある	資格取得を目指さず勉強をしたことがある	勉強したことがない	勉強あり	資格取得を目指して勉強をしたことがある	資格取得を目指さず勉強をしたことがある	勉強したことがない	勉強あり
【転職前】専門・技術・研究職	現職 IT系の専門・技術・研究職	835	2.2	18.2	80.2	19.8	2.4	13.8	84.4	15.6	4.3	14.6	81.8	18.2
	現職 IT系以外の専門・技術・研究職	605	1.7	9.8	88.9	11.1	1.8	7.9	90.7	9.3	1.8	8.3	90.1	9.9
	現職 文系職種	325	2.2	14.5	84.0	16.0	2.8	12.6	85.2	14.8	3.4	17.2	80.3	19.7
【転職前】文系職種	現職 IT系の専門・技術・研究職	591	5.4	19.6	76.0	24.0	4.7	15.2	80.9	19.1	6.4	20.0	74.5	25.5
	現職 IT系以外の専門・技術・研究職	534	2.2	9.9	88.0	12.0	2.4	7.7	90.1	9.9	3.4	12.4	85.0	15.0
	現職 文系職種	3,349	0.8	7.0	92.3	7.7	0.9	5.7	93.5	6.5	3.0	12.9	84.6	15.4

		n	会計・財務				語学				その他			
			資格取得を目指して勉強をしたことがある	資格取得を目指さず勉強をしたことがある	勉強したことがない	勉強あり	資格取得を目指して勉強をしたことがある	資格取得を目指さず勉強をしたことがある	勉強したことがない	勉強あり	資格取得を目指して勉強をしたことがある	資格取得を目指さず勉強をしたことがある	勉強したことがない	勉強あり
【転職前】専門・技術・研究職	現職 IT系の専門・技術・研究職	835	16.4	13.5	71.4	28.6	31.5	27.2	47.7	52.3	18.0	19.5	66.5	33.5
	現職 IT系以外の専門・技術・研究職	605	7.4	6.1	87.3	12.7	25.0	27.8	49.4	50.6	17.9	19.8	64.0	36.0
	現職 文系職種	325	22.8	14.8	64.6	35.4	26.2	23.4	51.7	48.3	22.2	17.5	62.2	37.8
【転職前】文系職種	現職 IT系の専門・技術・研究職	591	20.8	16.6	64.8	35.2	33.8	23.2	46.9	53.1	19.1	17.4	66.3	33.7
	現職 IT系以外の専門・技術・研究職	534	11.8	9.6	80.1	19.9	19.1	19.1	63.5	36.5	21.9	13.5	65.7	34.3
	現職 文系職種	3,349	20.8	9.9	70.0	30.0	24.9	17.6	59.4	40.6	19.5	13.5	68.8	31.2

※現在の職種に就いた経緯として、「転職をきっかけに、現在の職種に就いた」者を対象に集計。「勉強あり」は「資格取得を目指して勉強をしたことがある」「資格取得を目指さず勉強をしたことがある」のいずれが選択の割合。

図表 4-3-26 転職で最も効果的だった勉強内容(SA、単位＝%)【転職前の職種・現職別】

		n	一般的なPC・OAスキル	プログラミング	WEBやアプリ制作	動画編集	デザイン	マーケティング	会計・財務	語学	その他	効果的なものはなかった
【転職前】専門・技術・研究職	現職 IT系の専門・技術・研究職	708	13.3	30.1	4.0	0.3	0.6	0.8	2.1	5.8	11.9	31.2
	現職 IT系以外の専門・技術・研究職	434	13.1	5.3	0.2	0.0	1.4	0.7	0.5	12.4	23.3	43.1
	現職 文系職種	255	12.2	5.9	2.4	0.4	1.6	3.5	8.6	7.1	19.6	38.8
【転職前】文系職種	現職 IT系の専門・技術・研究職	497	20.7	23.9	4.2	0.4	1.2	2.8	3.4	8.5	9.7	25.2
	現職 IT系以外の専門・技術・研究職	343	18.4	3.2	0.6	0.0	0.9	3.2	4.1	6.4	26.2	37.0
	現職 文系職種	2,266	19.8	0.9	0.4	0.4	0.5	1.8	13.1	9.4	16.2	37.6

※現在の職種に就いた経緯として、「転職をきっかけに、現在の職種に就いた」者、かつ「転職するために何らかの勉強をした」者を対象に集計。

図表 4-3-27 転職前(文系職種)の転職で最も効果的だった勉強内容(SA、単位＝％)

【転職前の職種・現職別】

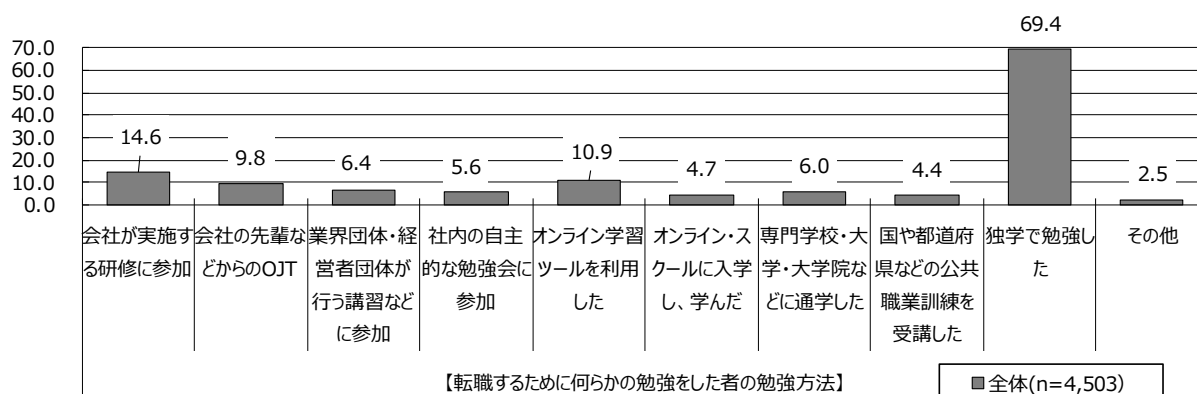
	n	一般的 なPC・ OAスキ ル	プログ ラミ ング	WEBや アプリ 制作	動画編 集	デザイ ン	マーケ ティ ング	会計・財 務	語学	その他	効果的 なもの はな かった
【転職前 職種】 文系											
管理職	92	10.9	20.7	4.3	0.0	1.1	6.5	1.1	13.0	16.3	26.1
事務職	104	26.9	30.8	1.9	0.0	1.0	2.9	4.8	8.7	5.8	17.3
営業職（外回り等）	94	20.2	17.0	3.2	0.0	0.0	2.1	7.4	8.5	8.5	33.0
販売職	32	37.5	34.4	6.3	6.3	3.1	0.0	0.0	6.3	0.0	6.3
サービス職	75	21.3	20.0	5.3	0.0	1.3	2.7	2.7	8.0	14.7	24.0
生産工程職	20	5.0	55.0	5.0	0.0	5.0	0.0	0.0	0.0	15.0	15.0
保安・輸送・機械運転、建設・採掘関連の職	10	30.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	40.0
その他の職種	70	20.0	18.6	7.1	0.0	1.4	1.4	2.9	7.1	5.7	35.7

※現在の職種に就いた経緯として、「転職をきっかけに、現在の職種に就いた」者のうち、「転職前の職種（専門・技術・研究職以外）」で、かつ、「現職 I T 系の専門・技術・研究職」の者を対象に集計。

(2)勉強方法

調査では、転職時に勉強をした者を対象に、「転職するために勉強したことについて、その勉強はどのように行いましたか」（以下、「勉強方法」という）²¹と尋ねている。それによれば、「独学で勉強した」が 69.4％で最も高い。以下、「会社が実施する研修に参加」（14.6％）、「オンライン学習ツールを利用した」（10.9％）、「会社の先輩などからの OJT」（9.8％）、「業界団体・経営者団体が行う講習などに参加」（6.4％）、「専門学校・大学・大学院などに通学した」（6.0％）、「社内の自主的な勉強会に参加」（5.6％）、「オンライン・スクールに入学し、学んだ」（4.7％）、「国や都道府県などの公共職業訓練を受講した」（4.4％）の順となっている（図表 4-3-28）。参考として、図表 4-3-29 では、転職前の職種・現職別に勉強方法をみている。

図表 4-3-28 転職するために勉強した者の勉強方法(MA、単位＝％)



※現在の職種に就いた経緯として、「転職をきっかけに、現在の職種に就いた」者、かつ「転職するために何らかの勉強をした」者を対象に集計。

²¹ 調査票の設問文では、「オンライン学習ツールとは、Udemy や Progate などの学習コンテンツを利用して、自分で勉強することです。オンライン・スクールに入学するとは、プログラミングのオンライン・スクールなどに入学し、スクールのカリキュラムに沿い、サポートを受けながら勉強する場合を指します」と注記している。

図表 4-3-29 転職するために勉強した者の勉強方法(MA、単位＝％)【転職前の職種・現職別】

		n	会社が実施する研修に参加	会社の先輩などからのOJT	業界団体・経営者団体が行う講習などに参加	社内の自主的な勉強会に参加	オンライン学習ツールを利用した	オンライン・スクールに入学し、学んだ	専門学校・大学・大学院などに通学した	国や都道府県などの公共職業訓練を受講した	独学で勉強した	その他
【転職前】専門・技術・研究職	現職 IT系の専門・技術・研究職	708	15.7	12.3	6.6	7.9	15.8	4.1	4.8	2.3	75.8	1.6
	現職 IT系以外の専門・技術・研究職	434	13.6	11.1	6.7	5.1	9.0	4.1	3.9	4.1	73.3	2.5
	現職 文系職種	255	12.5	9.0	10.2	4.7	11.4	5.9	5.1	5.1	76.1	0.8
【転職前】文系職種	現職 IT系の専門・技術・研究職	497	17.7	13.3	6.8	8.9	18.1	6.2	5.6	4.4	61.0	3.6
	現職 IT系以外の専門・技術・研究職	343	16.0	11.4	6.4	5.5	6.4	4.4	5.5	5.0	67.9	2.3
	現職 文系職種	2,266	13.7	7.9	5.7	4.5	8.8	4.6	7.1	5.0	68.0	2.7

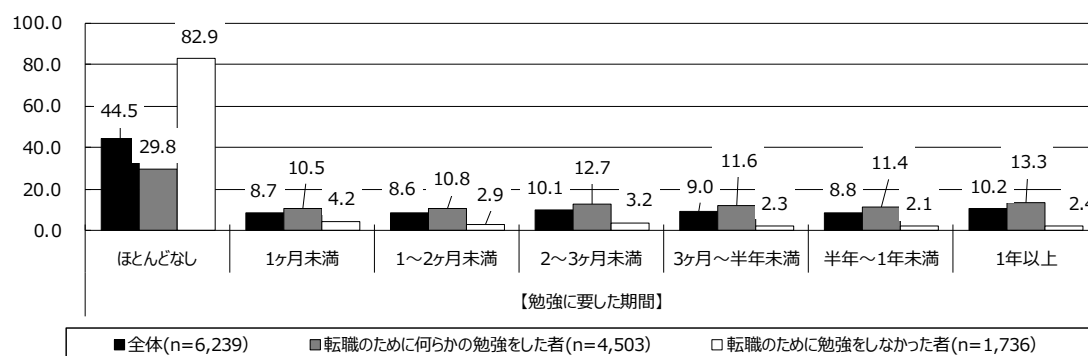
※現在の職種に就いた経緯として、「転職をきっかけに、現在の職種に就いた」者、かつ「転職するために何らかの勉強をした」者を対象に集計。

(3)勉強に要した期間

調査では、転職者に対して、「転職するために勉強に要した期間はどのくらいありましたか」と尋ねている。これを転職者全体に加え、勉強の有無別（「転職のために何らかの勉強をした者」「転職のために勉強をしなかった者」。以下同じ）にみたものが図表 4-3-30 である。まず、勉強に要した期間は、転職者全体では 44.5%が「ほとんどなし」としている。勉強の有無別にみると、「転職のために勉強をしなかった者」では「ほとんどなし」の割合は 82.9%である。「転職のために何らかの勉強をした者」では、「ほとんどなし」の割合は 29.8%であり、期間としては、「1 年以上」が 13.3%、「2～3 ヶ月未満」が 12.7%など、いずれの期間も 1 割程度となっている。

これを転職前の職種・現職別にみたものが図表 4-3-31 である（全体に加え、うち「②転職のために何らかの勉強をした者」も記載）。以下では、「②転職のために何らかの勉強をした者」に着目する。「②転職のために何らかの勉強をした者」の「3 ヶ月以上・計」（「3 ヶ月～半年未満」「半年～1 年未満」「1 年以上」の合計。以下同じ）の割合は、【転職前】「専門・技術・研究職」では、【現職】「文系職種」（40.0%）で高くなっており、「1 ヶ月未満・計」（「ほとんどなし」「1 ヶ月未満」の合計。以下同じ）の割合は、【現職】「IT 系の専門・技術・研究職」（43.5%）で高くなっている。一方、【転職前】「文系職種」では、「3 ヶ月以上・計」の割合は、【現職】「IT 系以外の専門・技術・研究職」（39.9%）で高くなっており、「1 ヶ月未満・計」の割合は、【現職】「文系職種」（41.5%）で高くなっている。

図表 4-3-30 転職するために勉強に要した期間(SA、単位＝％)【勉強の有無別】



※現在の職種に就いた経緯として、「転職をきっかけに、現在の職種に就いた」者を対象に集計。

図表 4-3-31 転職するために勉強に要した期間(SA、単位＝％)【転職前の職種・現職別】

転職するために勉強に要した期間			n	ほとんどなし	1ヶ月未満	1～3ヶ月未満	3ヶ月～半年未満	半年～1年未満	1年以上	1ヶ月未満・計	3ヶ月以上・計
①全体	【転職前】専門・技術・研究職	現職 IT系の専門・技術・研究職	835	41.2	9.1	20.8	9.0	9.5	10.4	50.3	28.9
		現職 IT系以外の専門・技術・研究職	605	45.3	7.4	17.4	9.1	10.1	10.7	52.7	29.9
		現職 文系職種	325	43.1	8.6	16.3	8.0	9.5	14.5	51.7	32.0
	【転職前】文系職種	現職 IT系の専門・技術・研究職	591	32.1	8.3	27.2	12.7	9.8	9.8	40.4	32.3
		現職 IT系以外の専門・技術・研究職	534	46.4	7.9	16.7	9.4	8.8	10.9	54.3	29.0
		現職 文系職種	3,349	47.3	9.1	17.4	8.5	8.1	9.6	56.4	26.2
うち、「②転職のために何らかの勉強をした者」	【転職前】専門・技術・研究職	現職 IT系の専門・技術・研究職	708	33.1	10.5	23.0	10.5	11.0	12.0	43.5	33.5
		現職 IT系以外の専門・技術・研究職	434	31.1	7.8	22.8	11.1	13.1	14.1	38.9	38.2
		現職 文系職種	255	31.0	9.4	19.6	9.8	12.2	18.0	40.4	40.0
	【転職前】文系職種	現職 IT系の専門・技術・研究職	497	24.1	9.1	30.2	14.7	11.3	10.7	33.2	36.6
		現職 IT系以外の専門・技術・研究職	343	25.9	11.1	23.0	14.0	10.8	15.2	37.0	39.9
		現職 文系職種	2,266	30.1	11.3	22.8	11.3	11.2	13.2	41.5	35.7

※「1ヶ月未満・計」は、「ほとんどなし」「1ヶ月未満」の合計。「3ヶ月以上・計」は、「3ヶ月～半年未満」「半年～1年未満」「1年以上」の合計。

「転職のために何らかの勉強をした者」において、これを勉強方法別にみたものが図表 4-3-32 である。「3ヶ月以上・計」の割合をみると、「専門学校・大学・大学院などに通学した」(68.6%)、「オンライン・スクールに入学し、学んだ」(60.8%)、「国や都道府県などの公共職業訓練を受講した」(58.0%)で、他に比べて高くなっている。

図表 4-3-32 転職するために勉強に要した期間(SA、単位＝％)【勉強方法別】

転職するために勉強に要した期間											
		n	ほとんどなし	1ヶ月未満	1～2ヶ月未満	2～3ヶ月未満	3ヶ月～半年未満	半年～1年未満	1年以上	3ヶ月以上・計	
勉強方法 (MA)	会社が実施する研修に参加	656	27.0	12.7	11.7	15.4	13.0	9.3	11.0	33.2	
	会社の先輩などからのOJT	443	29.6	10.2	11.5	14.9	11.5	11.1	11.3	33.9	
	業界団体・経営者団体が行う講習などに参加	288	16.0	9.4	13.9	14.9	14.6	16.3	14.9	45.8	
	社内の自主的な勉強会に参加	254	18.5	8.7	12.2	21.3	13.4	13.4	12.6	39.4	
	オンライン学習ツールを利用した	491	16.3	8.8	14.3	14.3	17.3	12.2	16.9	46.4	
	オンライン・スクールに入学し、学んだ	212	9.9	4.7	8.0	16.5	21.7	15.1	24.1	60.8	
	専門学校・大学・大学院などに通学した	271	15.1	2.6	5.2	8.5	13.3	21.4	33.9	68.6	
	国や都道府県などの公共職業訓練を受講した	200	9.5	7.0	10.0	15.5	26.5	22.5	9.0	58.0	
	独学で勉強した	3,125	31.5	10.6	11.1	12.1	10.1	10.5	14.1	34.7	

※1：現在の職種に就いた経緯として、「転職をきっかけに、現在の職種に就いた」者、かつ「転職するために何らかの勉強をした」者を対象に集計。

※2：「3ヶ月以上・計」は、「3ヶ月～半年未満」「半年～1年未満」「1年以上」の合計。

※3：勉強方法の「その他」は記載割愛。

(4)勉強に要した時間

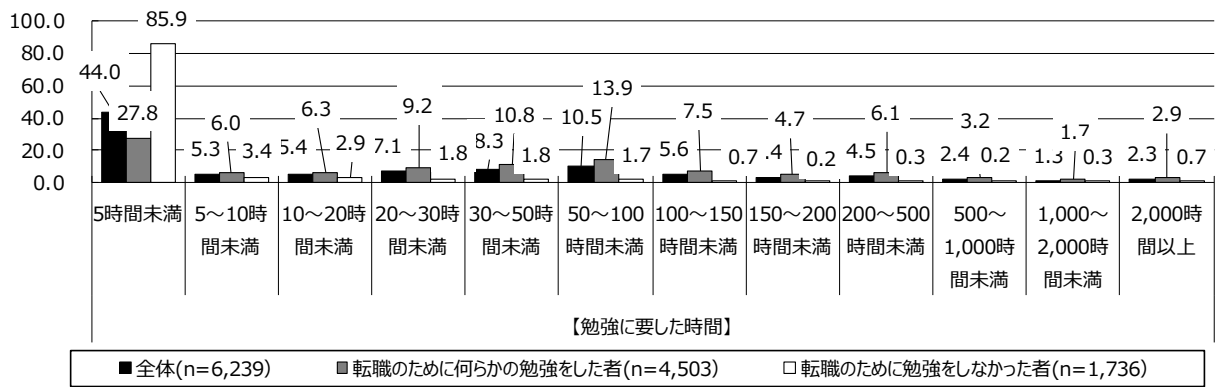
調査では、転職者に対して、「転職するために勉強に要した時間は合計で何時間でしたか」と尋ねている。これを転職者全体に加え、勉強の有無別にみたものが図表 4-3-33 である。勉強に要した時間は、転職者全体では 44.0%が「5 時間未満」としている。勉強の有無別にみると、「転職のために勉強をしなかった者」では「5 時間未満」の割合は 85.9%である。「転職のために何らかの勉強をした者」では、「5 時間未満」の割合は 27.8%となっている。

これを転職前の職種・現職別にみたものが図表 4-3-34 である(全体に加え、うち「②転職のために何らかの勉強をした者」も記載)。以下では、「②転職のために何らかの勉強をした者」に着目する。「②転職のために何らかの勉強をした者」の「100 時間以上・計」(「100～200 時間未満」「200 時間以上」の合計。以下同じ)の割合は、【転職前】「専門・技術・研究職」では、【現職】「文系職種」(34.9%)で高くなっている。一方、【転職前】「文系職種」では、「100 時間以上・計」の割合は、【現

職】「IT系の専門・技術・研究職」(28.4%)、「IT系以外の専門・技術・研究職」(28.9%)で高くなっている。

「転職のために何らかの勉強をした者」において、これを勉強方法別にみたものが図表 4-3-35 である。「100 時間以上・計」の割合をみると、「専門学校・大学・大学院などに通学した」(56.8%)、「オンライン・スクールに入学し、学んだ」(53.8%)、「国や都道府県などの公共職業訓練を受講した」(49.0%)で、他に比べて高くなっている。

図表 4-3-33 転職するために勉強に要した時間(SA、単位＝%)【勉強の有無別】



※現在の職種に就いた経緯として、「転職をきっかけに、現在の職種に就いた」者を対象に集計。

図表 4-3-34 転職するために勉強に要した時間(SA、単位＝%)【転職前の職種・現職別】

転職するために勉強に要した時間			n	10時間未満	10～30時間未満	30～100時間未満	100～200時間未満	200時間以上	100時間以上・計
①全体	【転職前】専門・技術・研究職	現職 IT系の専門・技術・研究職	835	43.2	14.6	22.4	10.8	9.0	19.8
		現職 IT系以外の専門・技術・研究職	605	48.1	11.9	21.5	9.6	8.9	18.5
		現職 文系職種	325	43.7	11.1	17.2	11.1	16.9	28.0
	【転職前】文系職種	現職 IT系の専門・技術・研究職	591	35.2	14.7	25.2	11.5	13.4	24.9
		現職 IT系以外の専門・技術・研究職	534	52.4	10.7	17.0	10.1	9.7	19.9
		現職 文系職種	3,349	53.4	12.1	16.7	7.7	10.1	17.7
うち、「②転職のために何らかの勉強をした者」	【転職前】専門・技術・研究職	現職 IT系の専門・技術・研究職	708	34.0	16.8	26.0	12.6	10.6	23.2
		現職 IT系以外の専門・技術・研究職	434	33.6	12.2	28.8	13.4	12.0	25.3
		現職 文系職種	255	31.0	12.9	21.2	14.1	20.8	34.9
	【転職前】文系職種	現職 IT系の専門・技術・研究職	497	26.2	16.1	29.4	12.9	15.5	28.4
		現職 IT系以外の専門・技術・研究職	343	31.2	14.9	25.1	14.9	14.0	28.9
		現職 文系職種	2,266	36.1	16.0	22.8	11.0	14.1	25.1

※ 1：現在の職種に就いた経緯として、「転職をきっかけに、現在の職種に就いた」者、かつ「転職するために何らかの勉強をした」者を対象に集計。
※ 2：「10時間未満」は「5時間未満」「5～10時間未満」の合計。「10～30時間未満」は「10～20時間未満」「20～30時間未満」の合計。「30～100時間未満」は「30～50時間未満」「50～100時間未満」の合計。「100～200時間未満」は「100～150時間未満」「150～200時間未満」の合計。「200時間以上」は「200～500時間未満」「500～1,000時間未満」「1,000～2,000時間未満」「2,000時間以上」の合計。
※ 3：「100時間以上・計」は、「100～200時間未満」「200時間以上」の合計。

図表 4-3-35 転職するために勉強に要した時間(SA、単位＝％)【勉強方法別】

転職するために勉強に要した時間

	n	10時間未満	10～30時間未満	30～100時間未満	100～200時間未満	200時間以上	100時間以上・計
勉強方法(MA)							
会社が実施する研修に参加	656	34.3	17.1	26.4	11.7	10.5	22.3
会社の先輩などからのOJT	443	33.0	17.8	23.0	12.6	13.5	26.2
業界団体・経営者団体が行う講習などに参加	288	19.1	16.7	28.1	14.2	21.9	36.1
社内の自主的な勉強会に参加	254	21.7	16.1	29.1	16.9	16.1	33.1
オンライン学習ツールを利用した	491	18.7	14.7	29.1	19.8	17.7	37.5
オンライン・スクールに入学し、学んだ	212	10.4	13.2	22.6	24.1	29.7	53.8
専門学校・大学・大学院などに通学した	271	15.9	7.4	19.9	18.5	38.4	56.8
国や都道府県などの公共職業訓練を受講した	200	14.0	10.0	27.0	14.5	34.5	49.0
独学で勉強した	3,125	34.8	15.9	25.1	11.6	12.5	24.2

※ 1：現在の職種に就いた経緯として、「転職をきっかけに、現在の職種に就いた」者、かつ「転職するために何らかの勉強をした」者を対象に集計。

※ 2：「10時間未満」は「5時間未満」「5～10時間未満」の合計。「10～30時間未満」は「10～20時間未満」「20～30時間未満」の合計。「30～100時間未満」は「30～50時間未満」「50～100時間未満」の合計。「100～200時間未満」は「100～150時間未満」「150～200時間未満」の合計。「200時間以上」は「200～500時間未満」「500～1,000時間未満」「1,000～2,000時間未満」「2,000時間以上」の合計。

※ 3：「100時間以上・計」は、「100～200時間未満」「200時間以上」の合計。

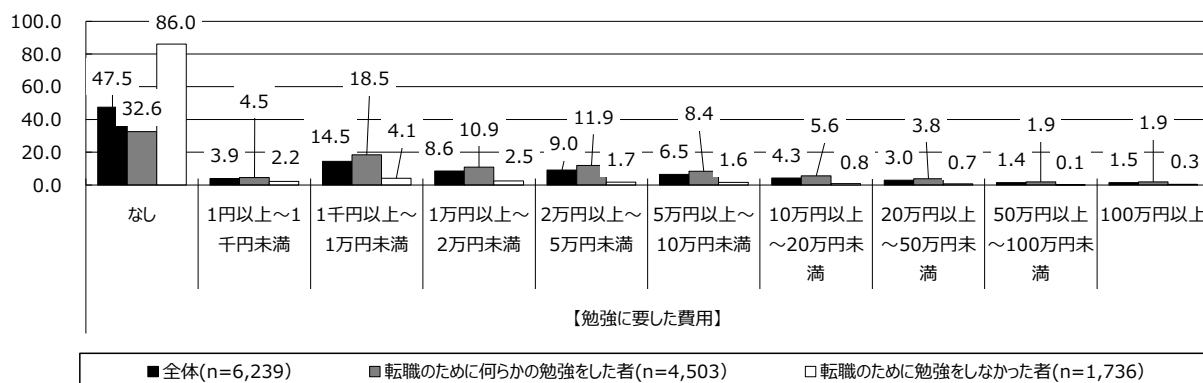
※ 4：勉強方法の「その他」は記載割愛。

(5)勉強に要した費用

調査では、転職者に対して、「転職するまでに勉強に要した費用の自己負担額はどのくらいでしたか」(以下、「勉強に要した費用」という)と尋ねている。これを転職者全体に加え、勉強の有無別にみたものが図表 4-3-36 である。勉強に要した費用は、転職者全体では 47.5%が「なし」としている。勉強の有無別にみると、「転職のために勉強をしなかった者」では「なし」の割合は 86.0%である。「転職のために何らかの勉強をした者」では、「なし」の割合は 32.6%となっている。

これを転職前の職種・現職別にみたものが図表 4-3-37 である(全体に加え、うち「②転職のために何らかの勉強をした者」も記載)。以下では、「②転職のために何らかの勉強をした者」に着目する。「②転職のために何らかの勉強をした者」の「20 万円以上・計」(「20 万～100 万円未満」「100 万円以上」の合計。以下同じ)の割合は、【転職前】「専門・技術・研究職」では、【現職】「文系職種」(13.3%)でやや高くなっている。一方、【転職前】「文系職種」では、「20 万円以上・計」の割合は、現職の職種では、ほとんど差はみられない。

図表 4-3-36 転職するまでに勉強に要した費用(SA、単位＝％)【勉強の有無別】



※現在の職種に就いた経緯として、「転職をきっかけに、現在の職種に就いた」者を対象に集計。

図表 4-3-37 転職するまでに勉強に要した費用(SA、単位＝％)【転職前の職種・現職別】

転職するまでに勉強に要した費用

			n	なし	1円以上 5万円未満	5万～20 万円未満	20万～ 100万円 未満	100万円 以上	20万円 以上・計
全体	【転職前】専門・技術・研究職	現職 I T系の専門・技術・研究職	835	44.4	40.1	8.9	4.7	1.9	6.6
		現職 I T系以外の専門・技術・研究職	605	47.9	37.0	10.2	3.3	1.5	4.8
		現職 文系職種	325	41.8	32.9	14.8	8.6	1.8	10.5
	【転職前】文系職種	現職 I T系の専門・技術・研究職	591	38.6	41.6	13.5	4.4	1.9	6.3
		現職 I T系以外の専門・技術・研究職	534	51.9	33.5	10.3	3.2	1.1	4.3
		現職 文系職種	3,349	49.6	34.4	10.5	4.2	1.3	5.5
うち、「転職のために何らかの勉強をした者」	【転職前】専門・技術・研究職	現職 I T系の専門・技術・研究職	708	36.0	46.0	10.2	5.5	2.3	7.8
		現職 I T系以外の専門・技術・研究職	434	34.3	45.2	14.1	4.4	2.1	6.5
		現職 文系職種	255	28.2	40.4	18.0	11.0	2.4	13.3
	【転職前】文系職種	現職 I T系の専門・技術・研究職	497	30.0	47.1	15.9	5.0	2.0	7.0
		現職 I T系以外の専門・技術・研究職	343	31.5	47.8	14.6	5.0	1.2	6.1
		現職 文系職種	2,266	32.5	45.8	14.2	5.8	1.8	7.5

※ 1：現在の職種に就いた経緯として、「転職をきっかけに、現在の職種に就いた」者、かつ「転職するために何らかの勉強をした」者を対象に集計。

※ 2：「1円以上5万円未満」は、「1円以上～1千円未満」「1千円以上～1万円未満」「1万円以上～2万円未満」「2万円以上～5万円未満」の合計。「5万～20万円未満」は、「5万円以上～10万円未満」「10万円以上～20万円未満」の合計。「20万～100万円未満」は、「20万円以上～50万円未満」「50万円以上～100万円未満」の合計。

※ 3：「20万円以上・計」は、「20万～100万円未満」「100万円以上」の合計。

「転職のために何らかの勉強をした者」において、これを勉強方法別にみたものが図表 4-3-38 である。「20 万円以上・計」の割合をみると、「専門学校・大学・大学院などに通学した」(41.3%)、「オンライン・スクールに入学し、学んだ」(32.5%)で、他に比べて高くなっている。

図表 4-3-38 転職するまでに勉強に要した費用(SA、単位＝％)【勉強方法別】

転職するまでに勉強に要した費用

		n	なし	1円以上 5万円未満	5万～20 万円未満	20万～ 100万円 未満	100万円 以上	20万円 以上・計
勉強方法 (MA)	会社が実施する研修に参加	656	34.0	41.3	17.5	6.1	1.1	7.2
	会社の先輩などからのOJT	443	33.6	38.4	19.2	6.5	2.3	8.8
	業界団体・経営者団体が行う講習などに参加	288	19.8	36.8	27.8	11.1	4.5	15.6
	社内の自主的な勉強会に参加	254	19.3	40.6	26.4	9.4	4.3	13.8
	オンライン学習ツールを利用した	491	15.7	45.8	24.6	11.6	2.2	13.8
	オンライン・スクールに入学し、学んだ	212	8.0	21.7	37.7	27.4	5.2	32.5
	専門学校・大学・大学院などに通学した	271	14.8	16.2	27.7	29.5	11.8	41.3
	国や都道府県などの公共職業訓練を受講した	200	26.0	43.0	23.0	7.0	1.0	8.0
	独学で勉強した	3,125	31.9	51.0	11.5	4.0	1.6	5.6

※ 1：現在の職種に就いた経緯として、「転職をきっかけに、現在の職種に就いた」者、かつ「転職するために何らかの勉強をした」者を対象に集計。

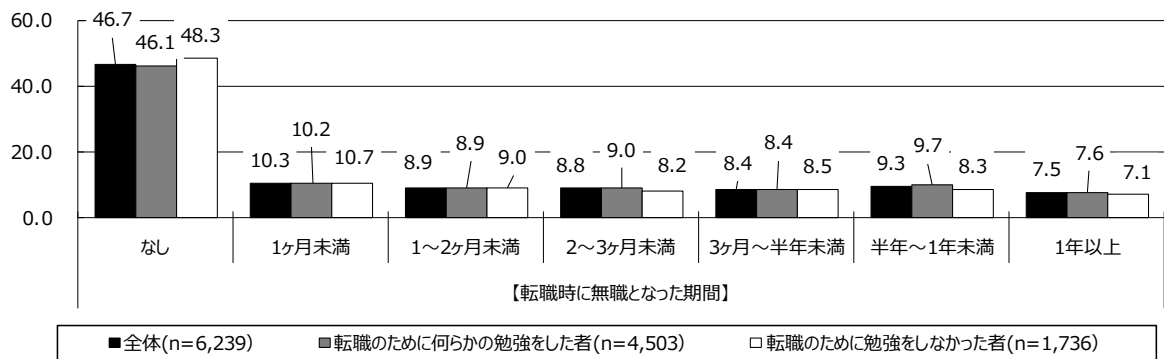
※ 2：「1円以上5万円未満」は、「1円以上～1千円未満」「1千円以上～1万円未満」「1万円以上～2万円未満」「2万円以上～5万円未満」の合計。「5万～20万円未満」は、「5万円以上～10万円未満」「10万円以上～20万円未満」の合計。「20万～100万円未満」は、「20万円以上～50万円未満」「50万円以上～100万円未満」の合計。

※ 3：「20万円以上・計」は、「20万～100万円未満」「100万円以上」の合計。

(6) 転職時の無職の期間

調査では、転職者に対して、「転職するにあたり、無職になった期間はどのくらいありましたか」と尋ねている。これを転職者全体に加え、勉強の有無別にみたものが図表 4-3-39 である。転職時の無職の期間は、転職者全体では「なし」が 46.7%。勉強の有無別でも、「なし」の割合は、「転職のために何らかの勉強をした者」(46.1%)、「転職のために勉強をしなかった者」(48.3%)といずれも 4 割台である。無職の期間の分布では、ほとんど差はみられない(参考として、転職前の職種・現職別にみたものが図表 4-3-40)。

図表 4-3-39 転職時の無職の期間(SA、単位＝％)【勉強の有無別】



※現在の職種に就いた経緯として、「転職をきっかけに、現在の職種に就いた」者を対象に集計。

図表 4-3-40 転職時の無職の期間(SA、単位＝％)【転職前の職種・現職別】

		n	なし	1ヶ月未満	1～3ヶ月未満	3ヶ月～半年未満	半年～1年未満	1年以上
【転職前】専門・技術・研究職	現職 IT系の専門・技術・研究職	835	57.8	8.5	13.9	7.4	6.3	6.0
	現職 IT系以外の専門・技術・研究職	605	57.4	10.7	15.0	6.9	5.1	4.8
	現職 文系職種	325	48.0	9.8	12.6	8.3	12.0	9.2
【転職前】文系職種	現職 IT系の専門・技術・研究職	591	43.5	8.6	24.2	7.8	10.0	5.9
	現職 IT系以外の専門・技術・研究職	534	41.0	11.2	21.2	10.5	10.1	6.0
	現職 文系職種	3,349	43.4	10.9	17.9	8.7	10.4	8.7

※現在の職種に就いた経緯として、「転職をきっかけに、現在の職種に就いた」者を対象に集計。

「転職のために何らかの勉強をした者」において、これを勉強方法別にみたものが図表 4-3-41 である。「半年以上・計」(「半年～1年未満」「1年以上」の合計)の割合をみると、「国や都道府県などの公共職業訓練を受講した」(47.0%)、「専門学校・大学・大学院などに通学した」(26.6%)で、他に比べて高くなっている。

図表 4-3-41 転職時の無職の期間(SA、単位＝％)【勉強方法別】

		n	なし	1ヶ月未満	1～3ヶ月未満	3ヶ月～半年未満	半年～1年未満	1年以上	半年以上・計
勉強方法 (M A)	会社が実施する研修に参加	656	46.6	12.0	21.3	7.6	7.9	4.4	12.3
	会社の先輩などからのOJT	443	43.8	11.3	26.9	7.2	6.8	4.1	10.8
	業界団体・経営者団体が行う講習などに参加	288	38.5	10.4	27.1	11.1	8.0	4.9	12.8
	社内の自主的な勉強会に参加	254	44.5	10.6	27.2	8.7	4.7	4.3	9.1
	オンライン学習ツールを利用した	491	50.7	11.0	20.2	5.9	7.1	5.1	12.2
	オンライン・スクールに入学し、学んだ	212	41.0	12.3	20.8	8.5	11.8	5.7	17.5
	専門学校・大学・大学院などに通学した	271	36.2	6.6	21.0	9.6	12.2	14.4	26.6
	国や都道府県などの公共職業訓練を受講した	200	14.5	5.0	16.5	17.0	27.5	19.5	47.0
	独学で勉強した	3,125	49.0	10.2	16.4	7.8	9.3	7.3	16.6

※ 1：現在の職種に就いた経緯として、「転職をきっかけに、現在の職種に就いた」者、かつ「転職するために何らかの勉強をした」者を対象に集計。

※ 2：表頭の「1～3ヶ月未満」は、「1～2ヶ月未満」「2～3ヶ月未満」の合計。「3ヶ月以上・計」は、「3ヶ月～半年未満」「半年～1年未満」「1年以上」の合計。

※ 3：「半年以上・計」は、「半年～1年未満」「1年以上」の合計。

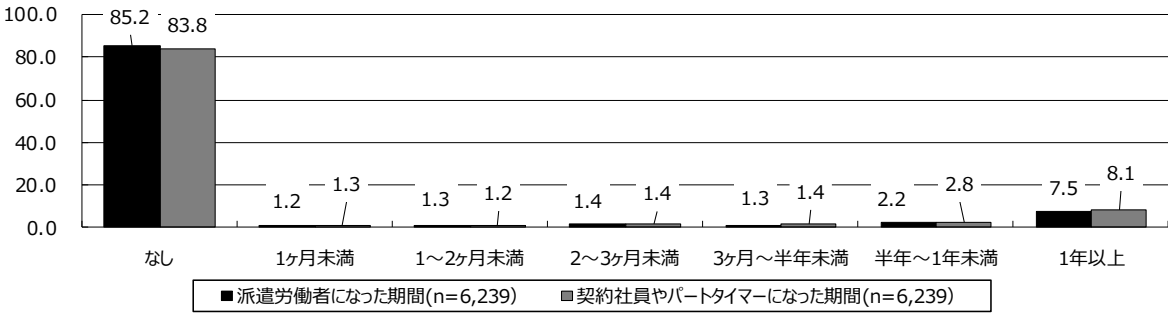
※ 4：勉強方法の「その他」は記載割愛。

(7) 転職前に派遣労働者や契約社員などになった期間

調査では、転職者を対象として、「転職する前に、希望する職種で経験を積もうと、派遣労働者や契約社員などになった期間はどのくらいありましたか」と尋ねている²²。それによれば、派遣労働者になった期間が「なし」が 85.2%、「契約社員やパートタイマーになった期間」が「なし」が 83.8%となっている(図表 4-3-42。参考として、転職前の職種・現職別にみたものが図表 4-3-43)。

「転職のために何らかの勉強をした者」において、これを勉強方法別にみたものが図表 4-3-44 である。「①派遣労働者」「②契約社員やパートタイマー」での「半年以上・計」「半年～1 年未満」「1 年以上」の合計)の割合をみると、「国や都道府県などの公共職業訓練を受講した」「専門学校・大学・大学院などに通学した」いずれも 2 割前後と、他に比べて高くなっている。

図表 4-3-42 転職前に派遣労働者や契約社員などになった期間(SA、単位 = %)



※現在の職種に就いた経緯として、「転職をきっかけに、現在の職種に就いた」者を対象に集計。

図表 4-3-43 転職前に派遣労働者や契約社員などになった期間(SA、単位 = %)

【転職前の職種・現職別】

		n	派遣労働者になった期間						契約社員やパートタイマーになった期間					
			なし	1ヶ月未満	1～3ヶ月未満	3ヶ月～半年未満	半年～1年未満	1年以上	なし	1ヶ月未満	1～3ヶ月未満	3ヶ月～半年未満	半年～1年未満	1年以上
【転職前】専門・技術・研究職	現職 IT系の専門・技術・研究職	835	87.3	1.1	2.5	1.1	1.9	6.1	87.5	0.7	2.2	1.6	2.9	5.1
	現職 IT系以外の専門・技術・研究職	605	88.3	0.5	1.5	1.5	1.8	6.4	91.2	1.2	1.2	1.5	2.0	3.0
	現職 文系職種	325	85.2	0.6	1.8	0.9	2.8	8.6	84.9	0.9	0.3	0.6	4.3	8.9
【転職前】専門・技術・研究職以外	現職 IT系の専門・技術・研究職	591	82.1	1.5	5.1	1.0	2.2	8.1	80.7	1.2	5.1	2.4	1.9	8.8
	現職 IT系以外の専門・技術・研究職	534	80.7	3.0	4.7	1.5	1.5	8.6	84.3	1.7	5.2	1.3	1.3	6.2
	現職 文系職種	3,349	85.4	1.0	2.3	1.4	2.3	7.6	81.9	1.4	2.4	1.3	3.2	9.8

※現在の職種に就いた経緯として、「転職をきっかけに、現在の職種に就いた」者を対象に集計。

²² 調査票の設問文では、「ここでの、派遣労働者、契約社員やパートタイマーになった期間とは、希望する職種に関連する場合の期間とお考えください。希望する職種に関連のない非正規の仕事の期間がある場合は、その期間をカウントしないでください」と注記している。

図表 4-3-44 転職前に派遣労働者や契約社員などになった期間(SA、単位＝%)【勉強方法別】

①派遣労働者になった期間								
	n	なし	1ヶ月未満	1～3ヶ月未満	3ヶ月～半年未満	半年～1年未満	1年以上	半年以上・計
勉強方法 (MA)	会社が実施する研修に参加	656	81.3	2.6	4.4	2.4	2.3	9.3
	会社の先輩などからのOJT	443	78.6	2.5	7.7	2.3	1.6	9.0
	業界団体・経営者団体が行う講習などに参加	288	72.9	4.5	8.0	2.4	3.1	12.2
	社内の自主的な勉強会に参加	254	75.2	3.9	9.8	3.1	3.1	7.9
	オンライン学習ツールを利用した	491	77.4	1.6	6.1	2.9	3.3	12.0
	オンライン・スクールに入学し、学んだ	212	68.9	4.2	9.0	2.8	4.2	15.1
	専門学校・大学・大学院などに通学した	271	72.0	1.5	5.2	2.2	5.5	19.2
	国や都道府県などの公共職業訓練を受講した	200	72.0	2.0	5.0	1.0	6.5	20.0
	独学で勉強した	3,125	85.7	0.9	2.0	1.3	2.3	10.2
②契約社員やパートタイマーになった期間								
	n	なし	1ヶ月未満	1～3ヶ月未満	3ヶ月～半年未満	半年～1年未満	1年以上	半年以上・計
勉強方法 (MA)	会社が実施する研修に参加	656	80.2	2.9	4.3	2.1	2.1	10.5
	会社の先輩などからのOJT	443	80.8	2.0	5.2	2.0	3.4	9.9
	業界団体・経営者団体が行う講習などに参加	288	73.3	3.8	6.3	4.2	5.2	12.5
	社内の自主的な勉強会に参加	254	71.7	3.5	9.8	3.9	3.5	11.0
	オンライン学習ツールを利用した	491	78.2	2.2	5.5	2.9	4.7	11.2
	オンライン・スクールに入学し、学んだ	212	70.8	3.8	9.4	2.8	3.8	13.2
	専門学校・大学・大学院などに通学した	271	70.1	1.5	6.3	3.0	4.4	19.2
	国や都道府県などの公共職業訓練を受講した	200	70.0	1.5	5.0	2.5	5.0	21.0
	独学で勉強した	3,125	84.3	1.2	2.0	1.4	2.9	11.1

※ 1：現在の職種に就いた経緯として、「転職をきっかけに、現在の職種に就いた」者、かつ「転職するために何らかの勉強をした」者を対象に集計。

※ 2：表頭の「1～3ヶ月未満」は、「1～2ヶ月未満」「2～3ヶ月未満」の合計。「半年以上・計」は、「半年～1年未満」「1年以上」の合計。

※ 3：勉強方法の「その他」は記載割愛。

「①派遣労働者になった期間」「②契約社員やパートタイマーになった期間」について、それぞれ無職期間別にみると、いずれも、おおむね無職期間が長くなるほど、「半年以上・計」の割合は高くなる傾向にある(図表 4-3-45①、図表 4-3-45②)。

参考として、「③派遣労働者・契約社員等の経験の有無」(「①派遣労働者の期間」と「②契約社員やパートタイムの期間」の有無で作成)をみると、無職期間が長くなるほど、「派遣・契約社員等の経験あり」(「派遣・契約社員等の両方経験あり」「派遣の経験あり」「契約社員等の経験あり」の合計)の割合が高くなる傾向にある(図表 4-3-45③)。

図表 4-3-45 転職前に派遣労働者や契約社員などになった期間及び、派遣労働者・契約社員等の経験の有無(SA、単位＝%)【無職期間別】

		n	①派遣労働者になった期間							②契約社員やパートタイマーになった期間						
			なし	1ヶ月未満	1～3ヶ月未満	3ヶ月～半年未満	半年～1年未満	1年以上	半年以上・計	なし	1ヶ月未満	1～3ヶ月未満	3ヶ月～半年未満	半年～1年未満	1年以上	半年以上・計
無職期間	なし	2,914	92.9	0.3	0.8	0.5	1.0	4.5	5.5	92.2	0.5	0.7	0.4	1.6	4.5	6.1
	1ヶ月未満	644	87.3	2.6	1.6	2.0	1.6	5.0	6.5	82.5	3.0	2.3	1.6	2.3	8.4	10.7
	1～3ヶ月未満	1,105	77.9	2.0	7.4	1.7	2.1	8.9	11.0	77.1	2.4	7.3	2.7	2.2	8.3	10.5
	3ヶ月～半年未満	526	79.7	1.1	4.0	2.5	3.2	9.5	12.7	79.3	1.0	4.0	3.6	3.2	8.9	12.2
	半年～1年未満	583	76.2	1.9	3.8	1.7	6.5	9.9	16.5	73.4	1.7	3.3	1.2	8.4	12.0	20.4
	1年以上	467	69.2	1.3	1.9	2.8	3.6	21.2	24.8	67.2	1.1	1.7	1.9	4.7	23.3	28.1

		n	③派遣労働者・契約社員等の経験の有無（※3）				派遣・契約社員等の経験あり（※4）
			派遣・契約社員等の両方経験あり	派遣の経験あり	契約社員等の経験あり	派遣・契約社員等いずれの経験もない	
無職期間	なし	2,914	3.2	3.9	4.6	88.3	11.7
	1ヶ月未満	644	8.5	4.2	9.0	78.3	21.7
	1～3ヶ月未満	1,105	14.1	8.0	8.8	69.1	30.9
	3ヶ月～半年未満	526	12.5	7.8	8.2	71.5	28.5
	半年～1年未満	583	14.2	9.6	12.3	63.8	36.2
	1年以上	467	20.8	10.1	12.0	57.2	42.8

※1：①②は、現在の職種に就いた経緯として、「転職をきっかけに、現在の職種に就いた」者を対象に集計。

※2：表頭の「半年以上・計」は、「半年～1年未満」「1年以上」の合計。

※3：「③派遣労働者・契約社員等の経験の有無」は、①と②それぞれの期間の「なし」とそれ以外（期間あり）から作成。

※4：「派遣・契約社員等の経験あり」は、「派遣・契約社員等の両方経験あり」「派遣の経験あり」「契約社員等の経験あり」の合計。

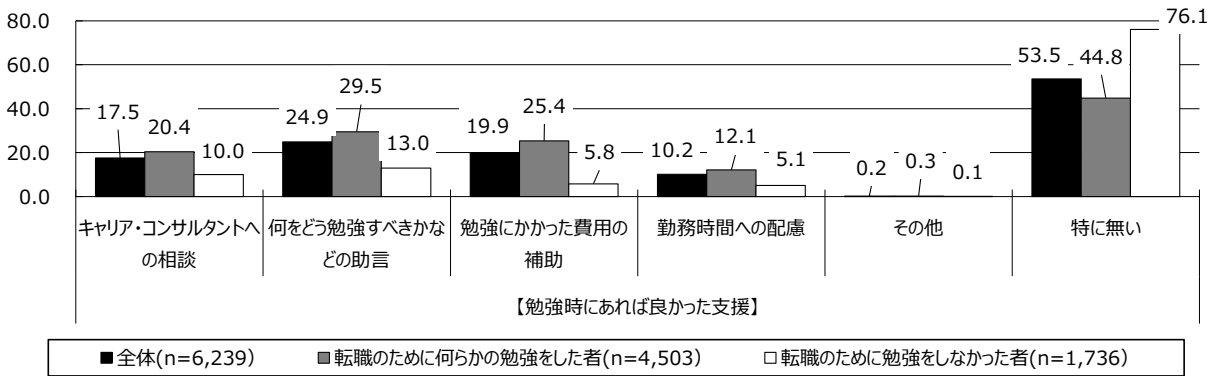
4-3-5. 勉強時にあれば良かった支援

調査では、転職者に対して、「転職に必要な勉強をするにあたり、特にあれば良かったと思う支援はありますか」と尋ねている。これを転職者全体に加え、勉強の有無別にみたものが図表 4-3-46 である。勉強の有無別にみると、「転職のために何らかの勉強をした者」では、「特に無い」の割合は 44.8%であり、具体的な求める支援では、「何をどう勉強すべきかなどの助言」が 29.5%と最も高く、次いで、「勉強にかかった費用の補助」(25.4%)、「キャリア・コンサルタントへの相談」(20.4%)、「勤務時間への配慮」(12.1%)などとなっている。一方、「転職のために勉強をしなかった者」では「特に無い」の割合は 76.1%である。具体的な求める支援では、「何をどう勉強すべきかなどの助言」が 13.0%と最も高く、次いで、「キャリア・コンサルタントへの相談」(10.0%)、「勉強にかかった費用の補助」(5.8%)、「勤務時間への配慮」(5.1%)などとなっている。

転職のために何らかの勉強をした者において、具体的な求める支援を性別にみたものが図表 4-3-47 である。それによれば、いずれの項目においても、男性に比べ女性の方が高く、特に「勉強にかかった費用の補助」(男性 23.9%、女性 30.2%)の割合が高くなっている。

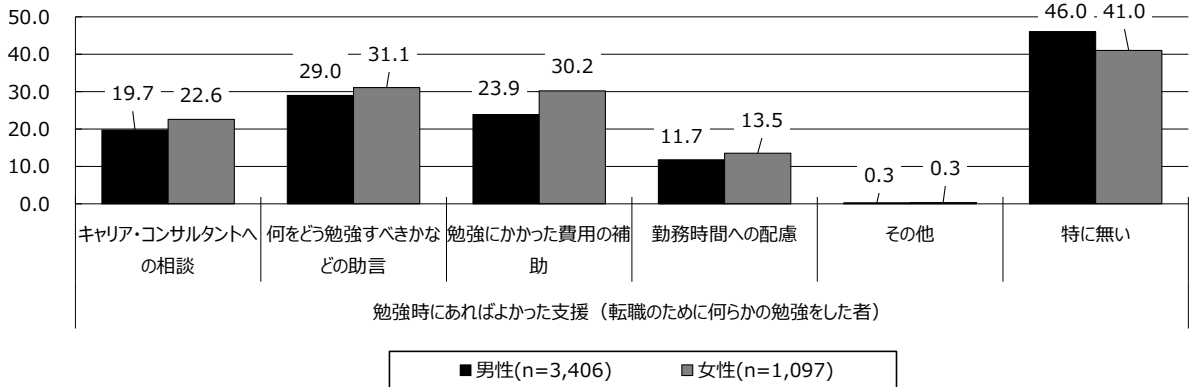
また、転職のために何らかの勉強をした者において、具体的な求める支援を転職前の職種・現職別にみたものが図表 4-3-48 である。それによれば、【転職前】「専門・技術・研究職」においては、いずれの現職の職種においても求める支援の割合に差はみられない。【転職前】「文系職種」においても、おおむね求める職種で大きな差はみられないが、【現職】「IT系の専門・技術・研究職」では、「キャリア・コンサルタントへの相談」「何をどう勉強すべきかなどの助言」について、他に比べてやや割合が高くなっている。

図表 4-3-46 勉強時にあれば良かった支援(SA、単位＝％)【勉強の有無別】



※現在の職種に就いた経緯として、「転職をきっかけに、現在の職種に就いた」者を対象に集計。

図表 4-3-47 転職のために何らかの勉強をした者の勉強時にあれば良かった支援 (SA、単位＝％)【性別】



※現在の職種に就いた経緯として、「転職をきっかけに、現在の職種に就いた」者、かつ「転職するために何らかの勉強をした」者を対象に集計。

図表 4-3-48 転職のために勉強をした者の勉強時にあれば良かった支援(SA、単位＝％)【転職前の職種・現職別】

		n	キャリア・コンサルタントへの相談	何をどう勉強すべきかなどの助言	勉強にかかった費用の補助	勤務時間への配慮	その他	特に無い
【転職前】専門・技術・研究職	現職 IT系の専門・技術・研究職	708	22.7	27.8	25.1	12.6	0.6	46.3
	現職 IT系以外の専門・技術・研究職	434	21.0	30.0	21.0	12.0	0.0	45.9
	現職 文系職種	255	20.8	31.4	25.9	14.1	0.4	42.4
【転職前】文系職種	現職 IT系の専門・技術・研究職	497	24.7	32.4	28.0	13.7	0.2	38.6
	現職 IT系以外の専門・技術・研究職	343	19.8	29.7	25.1	15.2	0.0	44.6
	現職 文系職種	2,266	18.7	29.0	25.8	11.0	0.3	45.8

※現在の職種に就いた経緯として、「転職をきっかけに、現在の職種に就いた」者、かつ「転職するために何らかの勉強をした」者を対象に集計。

参考として、図表 4-3-49 では、転職のために何らかの勉強をした者において、具体的な求める支援を勉強内容、勉強方法、勉強期間、勉強時間、勉強費用別にみている。

まず、勉強内容別にみると、全体より 5 ポイント以上高い勉強内容として、「何をどう勉強すべき

かなどの助言」では、「動画編集」「マーケティング」「デザイン」となっている。「キャリア・コンサルタントへの相談」では、「デザイン」「動画編集」となっている。「勉強にかかった費用」は、「デザイン」「動画編集」「マーケティング」「会計・財務」「WEB やアプリ制作」となっている。

勉強方法別にみると、「勉強にかかった費用の補助」は、「オンライン・スクールに入学し、学んだ」「専門学校・大学・大学院などに通学した」などが他に比べて高い。

なお、「勉強にかかった費用の補助」について、勉強期間別にみると、期間が長くなるほどその割合は高くなる。勉強時間別にみても、勉強時間が長くなるほどその割合は高い。勉強費用別にみると、勉強費用が上がるほど、「勉強にかかった費用の補助」の割合は高くなる。

図表 4-3-49 転職のために勉強をした者の勉強時にあれば良かった支援(SA、単位＝%)

【勉強内容別、勉強方法別、勉強期間別、勉強時間別、勉強費用別】

		n	キャリア・コン サルタントへ の相談	何をどう勉 強すべきか などの助言	勉強にか かった費用 の補助	勤務時間へ の配慮	その他	特に無い
全体（転職するために何らかの勉強をした者）		4,503	20.4	29.5	25.4	12.1	0.3	44.8
転職のために勉 強したこと（勉 強内容） （MA）	一般的なPC・OAスキル	2,976	22.6	33.4	27.7	13.8	0.3	40.3
	プログラミング	1,877	23.2	31.8	27.4	14.1	0.4	41.5
	WEBやアプリ制作	1,286	24.7	33.4	30.6	15.7	0.4	39.0
	動画編集	749	27.4	35.4	33.9	19.5	0.7	34.8
	デザイン	618	28.8	34.5	37.1	19.6	0.5	32.7
	マーケティング	1,024	24.9	35.2	32.0	17.5	0.6	36.1
	会計・財務	1,749	23.0	33.7	31.2	15.7	0.4	37.7
	語学	2,770	22.9	32.5	27.7	13.4	0.3	40.6
勉強方法 （MA）	会社が実施する研修に参加	656	29.6	40.4	33.4	20.0	0.2	31.1
	会社の先輩などからのOJT	443	30.9	42.9	34.3	21.2	0.2	29.1
	業界団体・経営者団体が行う講習などに参加	288	33.7	46.5	43.8	26.4	1.0	24.0
	社内の自主的な勉強会に参加	254	37.4	48.8	47.6	28.0	0.8	20.1
	オンライン学習ツールを利用した	491	34.2	45.4	43.2	21.0	0.2	23.0
	オンライン・スクールに入学し、学んだ	212	36.3	45.8	56.6	22.2	0.5	18.4
	専門学校・大学・大学院などに通学した	271	22.9	33.2	49.1	15.1	1.1	31.4
	国や都道府県などの公共職業訓練を受講した 独学で勉強した	200 3,125	31.0 18.8	38.0 28.1	36.5 22.9	13.5 12.3	0.5 0.3	35.5 49.1
勉強期間	ほとんどなし	1,340	15.7	18.8	12.7	7.8	0.2	62.6
	1ヶ月未満	472	18.9	34.7	19.9	12.9	0.6	41.9
	1～3ヶ月未満	1,058	25.0	34.5	27.4	12.7	0.2	37.0
	3ヶ月～半年未満	524	24.8	35.3	34.5	14.3	0.2	33.6
	半年～1年未満	512	23.0	34.0	36.3	15.0	0.0	36.3
	1年以上	597	18.1	31.5	37.4	16.1	0.5	38.2
勉強時間	10時間未満	1,521	17.4	21.3	12.7	8.3	0.2	59.4
	10～30時間未満	698	23.8	30.9	19.9	10.9	0.3	43.1
	30～100時間未満	1,112	21.3	34.8	30.8	14.0	0.1	37.1
	100～200時間未満	548	24.3	33.8	38.1	16.8	0.2	34.9
	200時間以上	624	19.2	34.6	41.8	15.4	0.8	33.8
勉強費用	なし	1,470	15.7	18.9	8.5	7.3	0.2	63.7
	1円以上5万円未満	2,060	21.2	32.6	26.5	13.1	0.0	40.6
	5万～20万円未満	629	28.1	40.5	45.6	16.7	0.2	25.3
	20万～100万円未満	259	23.2	38.6	55.6	20.5	1.5	22.0
	100万円以上	85	18.8	28.2	49.4	15.3	3.5	34.1

※現在の職種に就いた経緯として、「転職をきっかけに、現在の職種に就いた」者、かつ「転職するために何らかの勉強をした」者を対象に集計。表側の「転職のために勉強したこと（勉強内容）（MA）」「勉強方法（MA）」の「その他」は記載割合。表側の勉強方法では、全体より5ポイント以上高い項目に網。

4-4. 文系専攻・文系職種（現職）の者における過去に理系職種転換を希望した経験

4-4-1. 理系の専門・技術・研究職での就労希望の有無

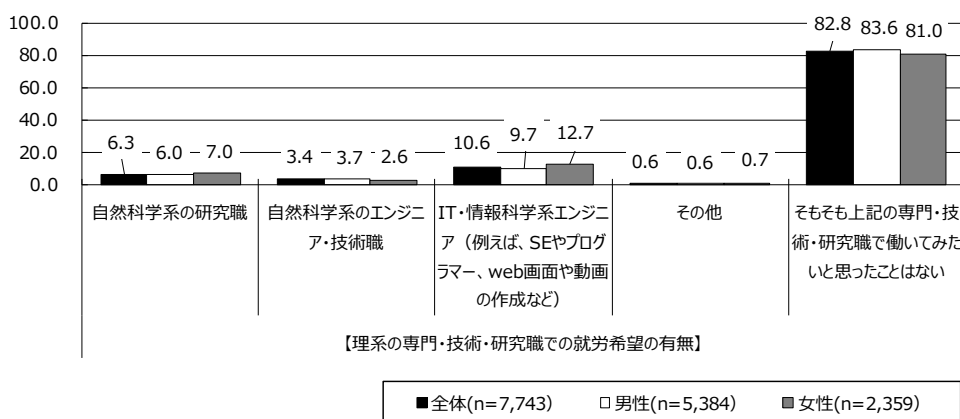
調査では、文系の学部を卒業し、現在、文系職種に従事している者（以下、「文系学部卒・現在文

系職種に就く者」²³という)に対して、「あなたはこれまでに、理系の専門・技術・研究職で働いてみたいと思ったことはありますか」と尋ねている(以下、「理系の専門・技術・研究職での就労希望の有無」という)。「自分の現在の仕事はもともと理系の専門・技術・研究職である」を除き集計したものが図表 4-4-1 である。

全体でみると、「そもそも上記の専門・技術・研究職で働いてみたいと思ったことはない」が 82.8%を占める。働いてみたいと思った職種(以下、「理系就労希望職種」という)は、「IT・情報科学系エンジニア(例えば、SE やプログラマー、web 画面や動画の作成など)」が 10.6%、「自然科学系の研究職」が 6.3%、「自然科学系のエンジニア・技術職」が 3.4%となっている。「理系の専門・技術・研究職への就労希望者」(「自然科学系の研究職」「自然科学系のエンジニア・技術職」「IT・情報科学系エンジニア」「その他」いずれか選択)は 17.2%である。

性別にみると、男女で分布にほとんど差はみられないが、男性に比べ女性のほうが「IT・情報科学系エンジニア」の割合がやや高い。

図表 4-4-1 理系の専門・技術・研究職での就労希望の有無(MA、単位=%)【性別】



※文系学部卒・現在文系職種に就く者で、「自分の現在の仕事はもともと理系の専門・技術・研究職である」を選択した者を除き集計。

初職²⁴別にみると、【初職】「IT系の専門・技術・研究職」で、就労希望職種として、「IT・情報科学

²³ 調査票では、「文系学部卒・現在文系職種に就く者」として、SQ3(大学・大学院専攻)の選択肢 1～7、及び 15～17 のいずれか選択【文系専攻】し、かつ SQ5(現職)の選択肢 43～47、49～51 のいずれか選択【文系の専門・技術・研究職】し、または、SQ5_1(専門・技術・研究職以外)の選択肢 1～6、8、10～13 のいずれか選択【文系職種】の条件をもって、当該設問の対象としている(該当件数は 8,386 件)。現職が文系職種に限定されているが、初職で文系職種の限定をかけていないことに留意。なお、調査票の定義として、以上の条件に当てはまる者を「文系学部卒・現在文系職種に就く者」としているが、あくまで調査票上の定義であり、回答者のなかには、現職の職種を文系職種と捉えていない者がいることが想定されることから、設問の選択肢として、「自分の現在の仕事はもともと理系の専門・技術・研究職である」(該当件数は 643 件)も設けている。当該選択をした者は、現在、文系職種に就いていないことから、以下の集計では除いている(したがって、当該設問の対象件数は 7,743 件)。

²⁴ 先述(注 23)のとおり、本設問の対象限定では、初職を条件に入れていない。そのため、現在、文系職種であっても、文系専攻で、かつ、初職で理系職種に就いている者はいる。ただし、【初職】「IT系の専門・技術・研究職」(該当件数 179 件)、【初職】「IT系以外の専門・技術・研究職」(該当件数 74 件)であり、該当件数は多いわけではなく、本設問の対象のほとんどは「文系職種」(該当件数 7,490 件)である。なお、調査票の構造上、本設問において、現職は文系職種であるが、就労希望を抱いた時期の職種について聞いているわけではないことから、以下の集計では、初職のクロス集計を行

系エンジニア」が 47.5%と高くなっている。【初職】「IT 系以外の専門・技術・研究職」では、「IT・情報科学系エンジニア」(24.3%)、「自然科学系の研究職」(14.9%)が高い。【初職】「文系職種」では、「IT・情報科学系エンジニア」の割合は 9.6%である。

初職(文系職種)²⁵別にみると、「IT・情報科学系エンジニア」の割合が高いのは、【初職】「サービス職」(12.7%)、「その他の専門・技術・研究職(文系職種)」(10.8%)、「事務職」(9.8%)、「営業職(外回り等)」(9.7%)などである(図表 4-4-2)。

図表 4-4-2 理系の専門・技術・研究職での就労希望の有無(MA、単位＝%)
【初職別・初職(文系職種)別】

	n	職 自 然 科 学 系 の 研 究	シ 自 然 ア 科 ・ 学 技 系 術 の 職 エ ン	エ I ン T ジ ・ 二 情 ア 報 科 学 系	そ の 他	思 専 で 門 働 ・ た い 技 こ 術 と み ・ は た 上 な い 研 い 究 の と 職 専
全体	7,743	6.3	3.4	10.6	0.6	82.8
初職						
初職 IT系の専門・技術・研究職	179	7.3	5.0	47.5	1.1	45.8
初職 IT系以外の専門・技術・研究職	74	9.5	14.9	24.3	0.0	63.5
初職 文系職種	7,490	6.3	3.2	9.6	0.6	83.9
初職						
初職 管理職	390	6.2	3.6	5.6	0.0	88.7
初職 事務職	2,425	5.3	3.0	9.8	0.5	84.6
初職 営業職(外回り等)	2,221	5.7	2.6	9.7	0.6	85.0
(文系職種)						
初職 販売職	600	6.7	3.5	7.8	0.5	84.8
初職 サービス職	346	8.7	2.6	12.7	0.6	80.3
初職 生産工程職	95	2.1	1.1	5.3	0.0	91.6
初職 その他の文系職種	102	4.9	2.0	7.8	1.0	86.3
初職 その他の専門・技術・研究職(文系職種)	1,311	8.8	4.8	10.8	1.1	79.0

※文系学部卒・現在文系職種に就く者で、「自分の現在の仕事はもとも理系の専門・技術・研究職である」を選択した者を除き集計。

調査では、「文系学部卒・現在文系職種に就く者」のうち、希望就労職種「IT・情報科学系エンジニア」を選択した者に対して、働いてみたい IT 系の職種(複数回答)についても尋ねている(以下、『IT・情報科学系エンジニア』就労希望者の就労希望 IT 系職種という)。それによれば、「システムエンジニア」が 39.6%と最も高く、次いで、「プログラマー」(33.9%)、「Web 系エンジニア」(31.7%)、「IT コンサルタント」(28.1%)、「社内 SE」(24.2%)、「データサイエンティスト」(18.1%)、「プロジェクトマネジャー」(17.6%)などとなっている(図表 4-4-3)。

性別にみると、女性に比べ男性の方が「IT コンサルタント」「プロジェクトマネジャー」「データサイエンティスト」「セールスエンジニア」の割合が高い。一方、男性に比べ女性の方が「Web 系エンジニア」「プログラマー」「ヘルプデスク」の割合が高い(図表 4-4-4)。

初職別(n=30 以上)にみると、各項目で、全体より 5 ポイント以上高い職種は、【初職】「IT 系の専門・技術・研究職」で「システムエンジニア」がある。【初職】「IT 系の専門・技術・研究職」と「文系

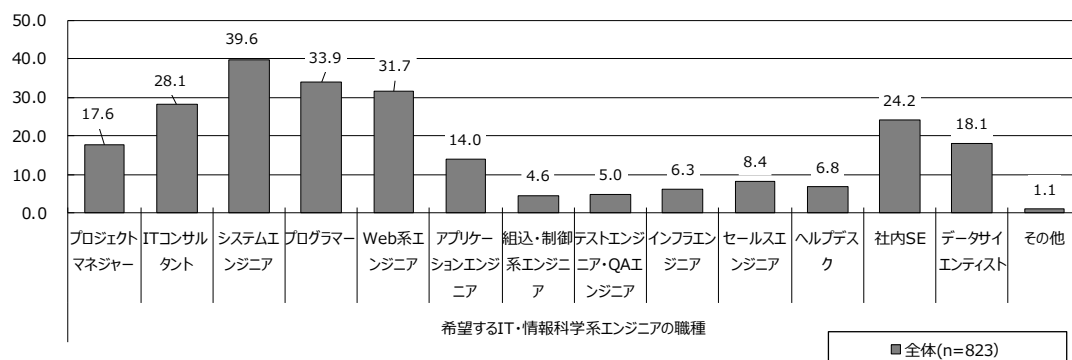
っている。

²⁵ 初職(文系職種)は、注 16 で現職(SQ5)を 8 区分にした同じ基準で、初職(SQ7)も 8 区分としている(以下同じ)。注 24 で示したとおり、初職では「IT 系の専門・技術・研究職」「IT 系以外の専門・技術・研究職」に就いた者もいる。初職(文系職種)によるクロス集計では、【現職】「文系職種」である者の【初職】「文系職種」(8 区分)で集計していることになる。

職種」を比較すると、【初職】「IT系の専門・技術・研究職」に比べて【初職】「文系職種」の方が「Web系エンジニア」「データサイエンティスト」「プログラマー」の割合がやや高い。一方、【初職】「文系職種」に比べて【初職】「IT系の専門・技術・研究職」の方が「システムエンジニア」の割合がやや高い。

初職(文系職種)別(n=30以上)にみると、各項目で、全体より5ポイント以上高い職種としては、【初職】「販売職」で「システムエンジニア」「Web系エンジニア」となっている。【初職】「サービス職」「事務職」では「Web系エンジニア」となっており、【初職】「営業職(外回り等)」では「ITコンサルタント」となっている(図表4-4-5)。

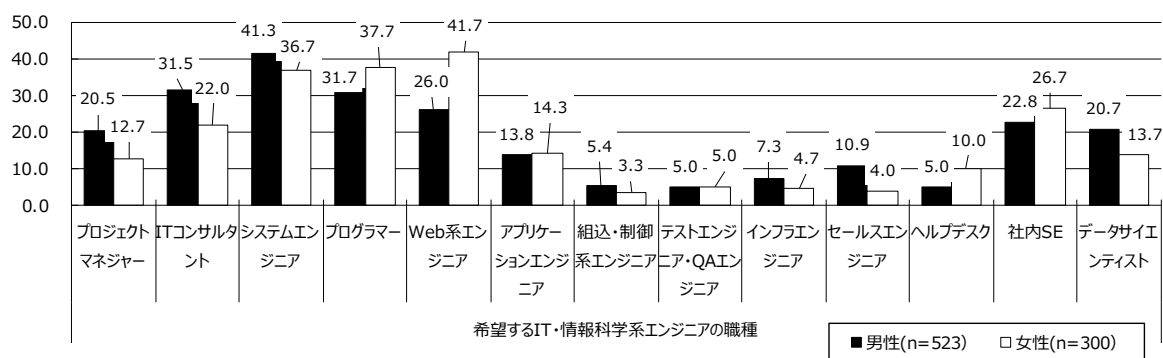
図表 4-4-3 「IT・情報科学系エンジニア」就労希望者の就労希望IT系職種(MA、単位=%)



※文系学部卒・現在文系職種（「自分の現在の仕事はもともと理系の専門・技術・研究職である」を除く）のうち、「IT・情報科学系エンジニア」の就労希望者を対象に集計。

図表 4-4-4 「IT・情報科学系エンジニア」就労希望者の就労希望IT系職種(MA、単位=%)

【性別】



※文系学部卒・現在文系職種（「自分の現在の仕事はもともと理系の専門・技術・研究職である」を除く）のうち、「IT・情報科学系エンジニア」の就労希望者を対象に集計。

図表 4-4-5 「IT・情報科学系エンジニア」就労希望者の就労希望IT系職種(MA、単位＝%)

【初職別・初職(文系職種)別】

	n	プロジェクトマネジャー	ITコンサルタント	システムエンジニア	プログラマー	Web系エンジニア	アプリケーションエンジニア	組込・制御系エンジニア	テストエンジニア・QAエンジニア	インフラエンジニア	セールスエンジニア	ヘルプデスク	社内SE	データサイエンティスト	その他
全体	823	17.6	28.1	39.6	33.9	31.7	14.0	4.6	5.0	6.3	8.4	6.8	24.2	18.1	1.1
初職	85	17.6	25.9	47.1	27.1	14.1	10.6	0.0	2.4	1.2	12.9	4.7	20.0	9.4	2.4
初職 IT系の専門・技術・研究職	18	11.1	33.3	44.4	38.9	22.2	16.7	5.6	5.6	0.0	0.0	5.6	16.7	5.6	0.0
初職 IT系以外の専門・技術・研究職	720	17.8	28.2	38.6	34.6	34.0	14.3	5.1	5.3	7.1	8.1	7.1	24.9	19.4	1.0
初職 文系職種	22	36.4	50.0	45.5	40.9	22.7	13.6	13.6	13.6	0.0	13.6	9.1	9.1	31.8	0.0
初職 管理職	238	16.8	27.7	37.4	34.5	37.8	13.4	4.2	4.6	8.0	6.3	9.2	23.5	20.6	0.4
初職 事務職	215	20.9	34.9	41.4	34.4	28.4	14.4	4.2	5.1	7.0	13.0	4.7	24.2	18.6	1.4
初職 営業職(外回り等)	47	10.6	27.7	44.7	23.4	40.4	14.9	6.4	2.1	2.1	0.0	8.5	27.7	14.9	2.1
初職 販売職	44	11.4	13.6	34.1	34.1	47.7	18.2	6.8	6.8	9.1	9.1	6.8	31.8	20.5	0.0
初職 サービス職	5	0.0	0.0	40.0	80.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	40.0	20.0	0.0
初職 生産工程職	8	12.5	12.5	50.0	75.0	50.0	12.5	0.0	0.0	12.5	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0
初職 その他の文系職種	141	17.0	22.0	34.0	34.0	31.2	14.2	6.4	6.4	7.8	5.7	7.1	25.5	19.1	1.4
初職 その他の専門・技術・研究職(文系職種)															

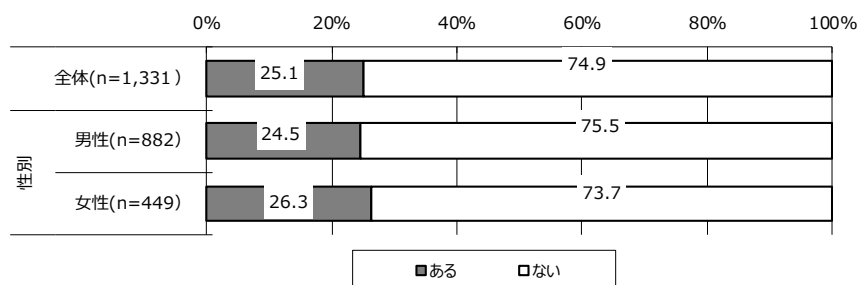
※文系学部卒・現在文系職種（「自分の現在の仕事はもともと理系の専門・技術・研究職である」を除く）のうち、「IT・情報科学系エンジニア」の就労希望者を対象に集計。表側の初職別（n=30以上）、及び、初職（文系職種）別（n=30以上）において、各項目で、全体より5ポイント以上高い数値に網。

4-4-2. 理系の専門・技術・研究職の仕事を探した経験

(1)理系の専門・技術・研究職の仕事を探した経験

調査では、文系学部卒・現在文系職種に就く者で、かつ、理系の専門・技術・研究職への就労希望者に対して、「あなたは、理系の専門・技術・研究職で働いてみたいと思い、実際に専門・技術・研究職の仕事を探したことがありますか」と尋ねている。それによれば、仕事を探したことが「ある」割合は25.1%である。これを性別にみると、男女でその割合に差はみられない(図表 4-4-6)。

図表 4-4-6 理系専門・技術・研究職の仕事を探した経験(SA、単位＝%)【性別】



※文系学部卒・現在文系職種（「自分の現在の仕事はもともと理系の専門・技術・研究職である」を除く）のうち、理系の専門・技術・研究職への就労希望者を対象に集計。

初職別(n=30以上)にみると、仕事を探したことが「ある」割合は、【初職】「IT系の専門・技術・研究職」で47.4%、【初職】「文系職種」で22.5%となっている。

初職(文系職種)別(n=30以上)にみると、【初職】「その他の専門・技術・研究職(文系職種)」で36.7%と他に比べて高く、次いで、「販売職」(24.2%)、「サービス職」(22.1%)、「事務職」(17.7%)、「営業職(外回り等)」(17.1%)などとなっている。

理系就労希望職種別にみると、仕事を探したことが「ある」割合は、「IT・情報科学系エンジニア」で29.8%、「自然科学系のエンジニア・技術職」で25.0%、「自然科学系の研究職」で19.8%となっている(図表 4-4-7)。

図表 4-4-7 理系の専門・技術・研究職の仕事を探した経験(SA、単位＝％)

【初職・初職(文系職種)・理系就労希望職種】

		n	あ る	な い
全体		1,331	25.1	74.9
初職	初職 IT系の専門・技術・研究職	97	47.4	52.6
	初職 IT系以外の専門・技術・研究職	27	63.0	37.0
	初職 文系職種	1,207	22.5	77.5
初職 (文系職種)	初職 管理職	44	15.9	84.1
	初職 事務職	373	17.7	82.3
	初職 営業職(外回り等)	334	17.1	82.9
	初職 販売職	91	24.2	75.8
	初職 サービス職	68	22.1	77.9
	初職 生産工程職	8	12.5	87.5
	初職 その他の文系職種	14	14.3	85.7
	初職 その他の専門・技術・研究職(文系職種)	275	36.7	63.3
理系就労希望 職種(MA)	自然科学系の研究職	490	19.8	80.2
	自然科学系のエンジニア・技術職	260	25.0	75.0
	IT・情報科学系エンジニア	823	29.8	70.2

※文系学部卒・現在文系職種(「自分の現在の仕事はもとも理系の専門・技術・研究職である」を除く)のうち、理系の専門・技術・研究職への就労希望者を対象に集計。表側の理系就労希望職種の「その他」は記載割愛。

(2)理系の専門・技術・研究職の職探しをした年齢

文系学部卒・現在文系職種に就く者で、かつ、理系の専門・技術・研究職への就労希望者であり、理系の専門・技術・研究職の仕事を探したことが「ある」という者(以下、「理系の専門・技術・研究職の職探しをした者」という)に対して、調査では、「あなたは、ご自身が何歳の時に、理系の専門・技術・研究職の職探しをされましたか。何度か就職活動した方は、最も若い時に職探しをした年齢をお答えください」(以下、「仕事を探した年齢」と尋ねている。この年齢をプロットしたものが図表 4-4-8 である。

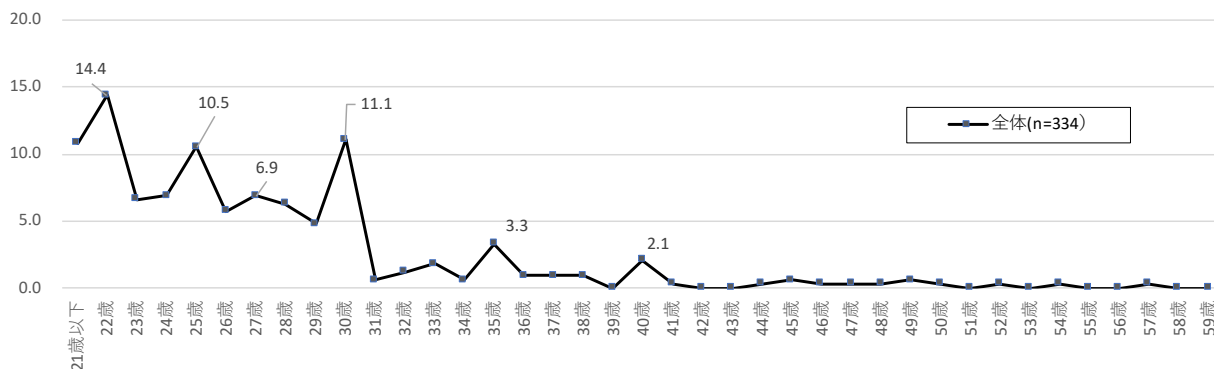
仕事を探した年齢で、最も割合が高いのは「22 歳」(14.4%)であり、次いで、「30 歳」(11.1%)、「25 歳」(10.5%)、「27 歳」(6.9%)などとなっている。おおまかな傾向を記すと、おおむね 20 代前半～30 歳まででいくつかの山があり、それ以降は、低位に推移している²⁶。

これを性別にプロットしたものが図表 4-4-9 である。それによれば、男性に比べ女性の方が 22 歳などの割合が高い。一方、女性に比べ男性の方が 30 歳の割合が高い。

そこで仕事を探した年齢区分について性別にみたものが図表 4-4-10 である。それによれば、「25 歳未満」の割合は、女性が 47.5%であるのに対し、男性は 33.8%となっている。「30 歳未満・計」(「25 歳未満」「25～30 歳未満」の合計。以下同じ)の割合は、男性が 68.5%、女性が 80.5%であり、男女いずれも 30 歳未満で仕事探しをしている層が大半であることに違いはないが、女性の方がより早期に仕事を探していることが示唆される。

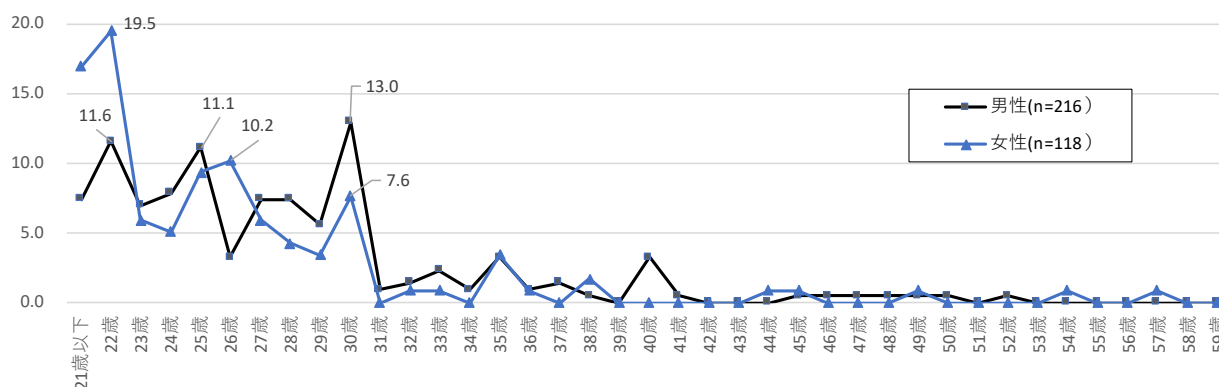
²⁶ 仕事を探した年齢の推移については、「理系の専門・技術・研究職の仕事を探した者」の該当数が 334 件と少ないことに留意。設問文では、「何度か就職活動した方は、最も若い時に職探しをした年齢をお答えください」と注記していることから、複数回の職探しをしていた場合、若い年齢が選択されている可能性にも留意。

図表 4-4-8 理系の専門・技術・研究職の職探しをした年齢(SA、単位＝％)



※文系学部卒・現在文系職種（「自分の現在の仕事はもとも理系の専門・技術・研究職である」を除く）のうち、理系の専門・技術・研究職の就労を希望する者のなかで、理系の専門・技術・研究職の職を探した経験が「ある」とする者を対象に集計。

図表 4-4-9 理系の専門・技術・研究職の職探しをした年齢(SA、単位＝％)【性別】



※文系学部卒・現在文系職種（「自分の現在の仕事はもとも理系の専門・技術・研究職である」を除く）のうち、理系の専門・技術・研究職の就労を希望する者のなかで、理系の専門・技術・研究職の職を探した経験が「ある」とする者を対象に集計。

図表 4-4-10 理系の専門・技術・研究職の職探しをした年齢(SA、単位＝％)【性別】

	n	25歳未満	25歳～30歳未満	30歳～35歳未満	35歳～40歳未満	40歳以上
全体	334	38.6	34.1	15.3	12.0	72.8
性別 男性	216	33.8	34.7	18.5	13.0	68.5
性別 女性	118	47.5	33.1	9.3	10.2	80.5

※文系学部卒・現在文系職種（「自分の現在の仕事はもとも理系の専門・技術・研究職である」を除く）のうち、理系の専門・技術・研究職の就労を希望する者のなかで、理系の専門・技術・研究職の職を探した経験が「ある」とする者を対象に集計。「30歳未満・計」は、「25歳未満」「25～30歳未満」の合計。

これを初職別(n=30以上)にみると、「25歳未満」の割合は、【初職】「IT系の専門・技術・研究職」で56.5%、【初職】「文系職種」で36.2%となっている。初職でIT系の仕事を経験している者ほど、早期に仕事を探していたことがうかがえる。

理系就労希望職種別にみると、仕事を探したことが「ある」割合は、「30 歳未満・計」でいずれも、7 割前後となっている。「25 歳未満」の割合でみると、「IT・情報科学系エンジニア」(36.7%)、「自然科学系の研究職」(36.1%)の方が、「自然科学系のエンジニア・技術職」(29.2%)よりも高い(図表 4-4-11)。

図表 4-4-11 理系の専門・技術・研究職の職探しをした年齢(SA、単位＝%)

【初職・理系就労希望職種別】

	n	満 2 5 歳 未	満 3 2 0 5 歳 未	満 3 3 5 0 歳 未	上 3 5 歳 以	満 3 ・ 0 計 歳 未
全体	334	38.6	34.1	15.3	12.0	72.8
初職						
初職 IT系の専門・技術・研究職	46	56.5	32.6	8.7	2.2	89.1
初職 IT系以外の専門・技術・研究職	17	29.4	47.1	11.8	11.8	76.5
初職 文系職種	271	36.2	33.6	16.6	13.7	69.7
理系就労希望職種						
自然科学系の研究職	97	36.1	32.0	20.6	11.3	68.0
自然科学系のエンジニア・技術職	65	29.2	43.1	15.4	12.3	72.3
IT・情報科学系エンジニア	245	36.7	34.3	15.9	13.1	71.0

※文系学部卒・現在文系職種（「自分の現在の仕事はもとも理系の専門・技術・研究職である」を除く）のうち、理系の専門・技術・研究職の就労を希望する者のなかで、理系の専門・技術・研究職の職探しを経験が「ある」とする者を対象に集計。「30歳未満・計」は、「25歳未満」「25～30歳未満」の合計。表側の理系就労希望職種の「その他」は記載割愛。

「IT・情報科学系エンジニア」就労希望者の就労希望 IT 系職種について、職探しをした者に限定し、職探し時の年齢別にみたものが図表 4-4-12 である。それによれば、おおむね年齢が低くなるほど、「システムエンジニア」「プログラマー」の割合が高くなる傾向にある。一方、年齢が高くなるほど、「データサイエンティスト」「ヘルプデスク」の割合が高くなっている。「IT コンサルタント」は、おおむね年齢が高くなるほどその割合が高くなる傾向にあり、30～35 歳でピークとなり、「35 歳以上」では低下している。「Web 系エンジニア」は、25 歳以上で 3～4 割となっており、「25～30 歳未満」で最も割合が高くなっている。

図表 4-4-12 「IT・情報科学系エンジニア」の職探しをした者の希望IT系職種(MA、単位＝%)

【職探し時の年齢別】

	n	プロジェ クトマネ ジャー	ITコンサ ルタント	システムエ ンジニア	プログラ マー	Web系エ ンジニア	アプリケー ションエン ジニア	組込・制 御系エン ジニア	テストエン ジニア・ QAエン ジニア	インフラエ ンジニア	セールス エンジニア	ヘルプデ スク	社内SE	データサイ エンティ スト	その他
全体	245	16.3	27.8	43.7	33.5	31.8	15.5	3.7	6.1	6.9	10.2	6.1	21.2	15.5	1.6
職探し 時の年 齢															
25歳未満	90	12.2	23.3	51.1	34.4	18.9	14.4	2.2	4.4	2.2	4.4	3.3	21.1	8.9	0.0
25～30歳未満	84	19.0	29.8	46.4	36.9	42.9	17.9	6.0	8.3	10.7	14.3	4.8	21.4	11.9	2.4
30～35歳未満	39	23.1	38.5	33.3	28.2	38.5	15.4	2.6	5.1	10.3	12.8	10.3	25.6	25.6	2.6
35歳以上	32	12.5	21.9	28.1	28.1	31.3	12.5	3.1	6.3	6.3	12.5	12.5	15.6	31.3	3.1

※文系学部卒・現在文系職種（「自分の現在の仕事はもとも理系の専門・技術・研究職である」を除く）のうち、「IT・情報科学系エンジニア」の就労希望者のなかで、理系の専門・技術・研究職の職探しをした者を対象に集計。

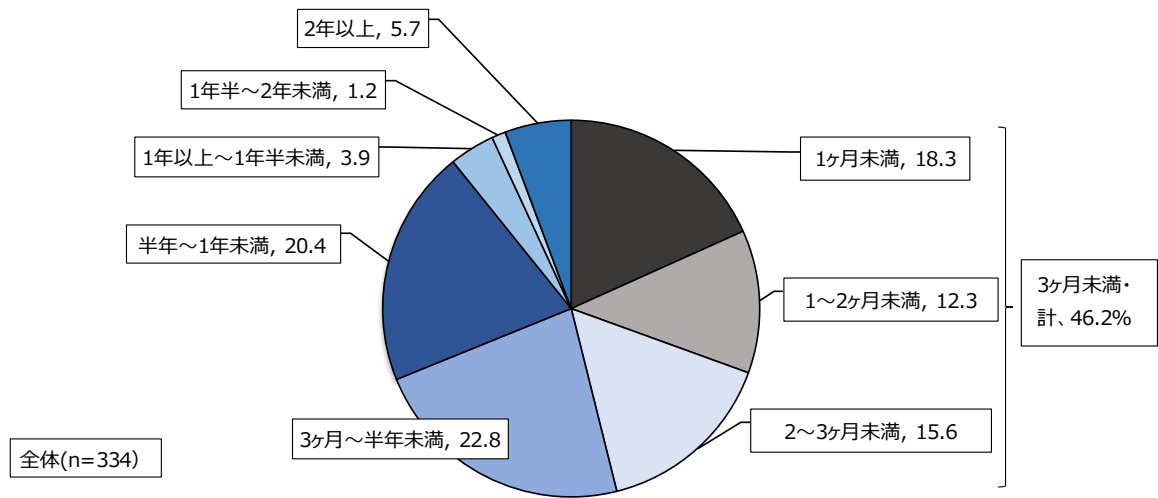
(3)理系の専門・技術・研究職の職探しをした者の求職期間

調査では、理系の専門・技術・研究職の職探しをした者を対象に、「どのくらいの期間、理系の専門・技術・研究職の職探しを続けましたか。何度か就職活動をした方は、最も若い時の職探しについてお答えください」と尋ねている。それによれば、「3 ヶ月～半年未満」が 22.8%と最も高く、次い

で、「半年～1 年未満」が 20.4%、「1 ヶ月未満」が 18.3%、「2～3 ヶ月未満」が 15.6%、「1～2 ヶ月未満」12.3%などとなっている。「3 ヶ月未満・計」(「1 ヶ月未満」「1～2 ヶ月未満」「2～3 ヶ月未満」の合計)の割合は、46.2%である(図表 4-4-13)。

これを理系就労希望職種別にみると、「3 ヶ月未満・計」の割合は、「自然科学系の研究職」(46.4%)、「IT・情報科学系エンジニア」(46.1%)の方が、「自然科学系のエンジニア・技術職」(33.8%)よりも高い(図表 4-4-14)。

図表 4-4-13 理系の専門・技術・研究職の職探しをした者の求職期間(SA、単位＝%)



※文系学部卒・現在文系職種 (「自分の現在の仕事はもともと理系の専門・技術・研究職である」を除く) のうち、理系の専門・技術・研究職の就労を希望する者の中で、理系の専門・技術・研究職の職を探した経験が「ある」とする者を対象に集計。

図表 4-4-14 理系の専門・技術・研究職の職探しをした者の求職期間(SA、単位＝%)

【理系就労希望職種】

	n	1ヶ月未満	1ヶ月未満～2ヶ月未満	2ヶ月未満～3ヶ月未満	3ヶ月未満～半年未満	半年未満～1年未満	1年未満～1年半未満	1年半未満～2年未満	2年以上	3ヶ月未満・計	半年以上・計
全体	334	18.3	12.3	15.6	22.8	20.4	3.9	1.2	5.7	46.2	31.2
理系就労希望職種											
自然科学系の研究職	97	25.8	11.3	9.3	18.6	23.7	0.0	3.1	8.2	46.4	35.1
自然科学系のエンジニア・技術職	65	13.8	10.8	9.2	23.1	30.8	1.5	3.1	7.7	33.8	43.1
IT・情報科学系エンジニア	245	15.9	12.7	17.6	22.4	20.8	4.5	0.8	5.3	46.1	31.4

※文系学部卒・現在文系職種 (「自分の現在の仕事はもともと理系の専門・技術・研究職である」を除く) のうち、理系の専門・技術・研究職の就労を希望する者の中で、理系の専門・技術・研究職の職を探した経験が「ある」とする者を対象に集計。「3ヶ月未満・計」は、「1ヶ月未満」「1～2ヶ月未満」「2～3ヶ月未満」の合計。「半年以上・計」は、「半年～1年未満」「1年以上～1年半未満」「1年半～2年未満」「2年以上」の合計。

4-4-3. 理系の専門・技術・研究職の就職経験

(1)理系の専門・技術・研究職の就職経験

調査では、理系の専門・技術・研究職の職探しをした者を対象に、「あなたは職探しをした結果、

実際に理系の専門・技術・研究職に就職されましたか。何度か就職活動をした方は、最も若い時の職探しについてお答えください」と尋ねている。

それによれば、「就職した」割合は 24.9%である。これを性別にみると、男性(24.1%)、女性(26.3%)で、女性の方がやや高いものの、性別で大きな差はみられない。

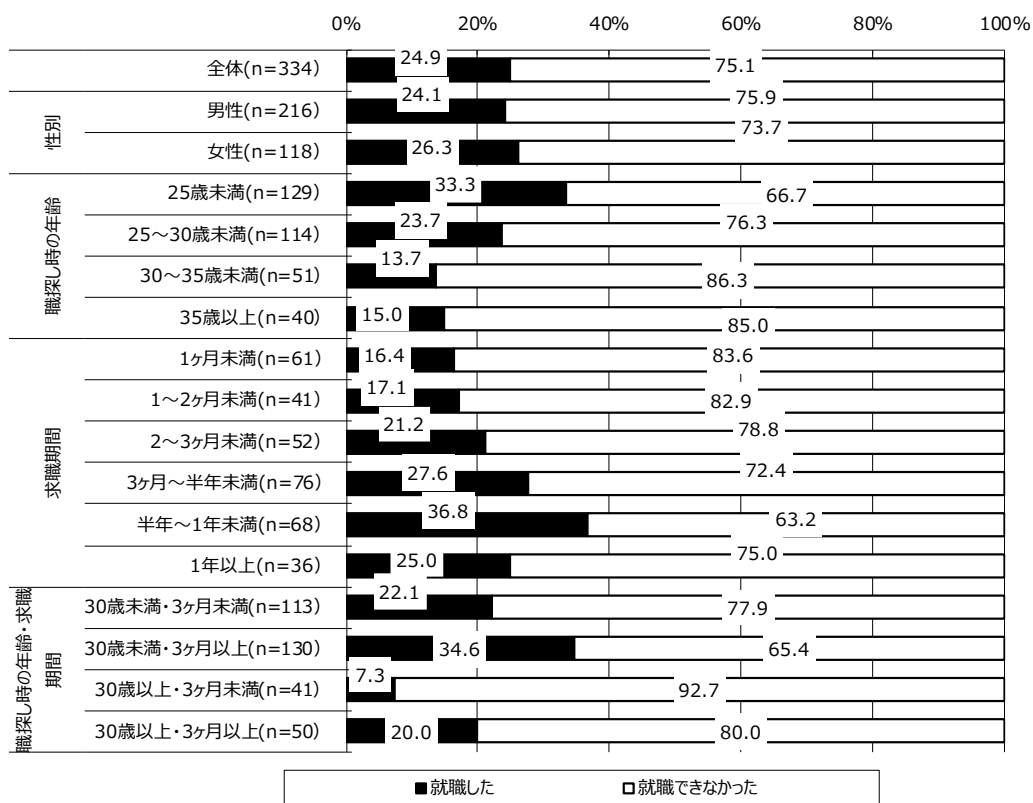
職探し時の年齢別にみると、年齢が低くなるほど「就職した」割合が高くなる傾向にある。

求職期間別にみると、「就職した」割合は、おおむね求職期間が長くなるほど高くなる傾向にあり、「半年～1年未満」(36.8%)でピークとなり、「1年以上」で 25.0%に低下している。

そこで、職探し時の年齢・求職期間別にみると、「30歳未満・3ヶ月以上」で 34.6%と最も高く、「30歳未満・3ヶ月未満」(22.1%)、「30歳以上・3ヶ月以上」(20.0%)がともにほぼ 2割であり、「30歳以上・3ヶ月未満」が 7.3%の順となっている(図表 4-4-15)。

図表 4-4-15 理系の専門・技術・研究職の就職経験(SA、単位=%)

【性別、職探し時の年齢別、求職期間別、職探し時の年齢・求職期間】



※文系学部卒・現在文系職種（「自分の現在の仕事はもともと理系の専門・技術・研究職である」を除く）のうち、理系の専門・技術・研究職の就労を希望する者のなかで、理系の専門・技術・研究職の職を探した経験が「ある」とする者を対象に集計。

これを初職別(n=30以上)にみると、「就職した」割合は、【初職】「IT系の専門・技術・研究職」で 71.7%と高く、【初職】「文系職種」では 15.1%となっている。初職でIT系の仕事を経験している者ほど、就職した割合が高かったことがうかがえる。

理系就労希望職種別にみると、「就職した」割合は、いずれも 2 割程度となっている(図表 4-4-16)。

図表 4-4-16 理系の専門・技術・研究職の就職経験(SA、単位＝％)

【初職、理系就労希望職種別】

		n	た 就 職 し	か き 就 つ な 職 た で
全体		334	24.9	75.1
初職	初職 IT系の専門・技術・研究職	46	71.7	28.3
	初職 IT系以外の専門・技術・研究職	17	52.9	47.1
	初職 文系職種	271	15.1	84.9
理系就労希望 職種(MA)	自然科学系の研究職	97	20.6	79.4
	自然科学系のエンジニア・技術職	65	26.2	73.8
	IT・情報科学系エンジニア	245	23.7	76.3

※文系学部卒・現在文系職種（「自分の現在の仕事はもとも理系の専門・技術・研究職である」を除く）のうち、理系の専門・技術・研究職の就労を希望する者のなかで、理系の専門・技術・研究職の職を探した経験があるとする者を対象に集計。

そこで、【初職】文系職種に限定して就職経験をみたものが図表 4-4-17 である(①初職が文系職種で理系の専門・技術・研究職の仕事を探した者、②初職が文系職種で IT・情報科学系エンジニアの仕事を探した者)。

まず、①初職が文系職種で理系の専門・技術・研究職の仕事を探した者について性別にみると、「就職した」割合は、男性(14.1%)、女性(16.8%)で、女性の方がやや高い。

職探し時の年齢別にみると、「30 歳以上」(12.2%)よりも「30 歳未満」(16.4%)の方がやや高い。

求職期間別にみると、「3 ヶ月未満」(10.7%)よりも「3 ヶ月以上」(19.3%)の方が高い。

そこで、職探し時の年齢・求職期間別にみると、「30 歳未満・3 ヶ月以上」で 20.2%と最も高く、「30 歳以上・3 ヶ月未満」(17.4%)、「30 歳未満・3 ヶ月以上」が 12.6%、「30 歳以上・3 ヶ月未満」が 5.6%の順となっている(図表 4-4-17①)。

さらに IT・情報科学系エンジニア(②初職が文系職種で IT・情報科学系エンジニアの仕事を探した者)に限定をかけると、全体で「就職した」割合は 12.1%となっている。これを性別にみると、「就職した」割合は、男性(11.6%)、女性(13.0%)で、ほぼ同じ割合である。

職探し時の年齢別にみると、「30 歳未満」(11.9%)、「30 歳以上」(12.5%)でほとんど差はみられない。

求職期間別にみると、「3 ヶ月未満」(6.5%)よりも「3 ヶ月以上」(17.3%)の方が高い。

そこで、職探し時の年齢・求職期間別にみると、「30 歳以上・3 ヶ月以上」(18.2%)、「30 歳未満・3 ヶ月以上」(16.9%)がいずれも 1 割台で高く、「30 歳未満・3 ヶ月未満」(6.6%)、「30 歳以上・3 ヶ月未満」(6.5%)が 6%台である(図表 4-4-17②)。

図表 4-4-17 理系の専門・技術・研究職の就職経験(SA、単位＝%)

【初職(文系職種限定)、性別、職探し時の年齢、求職期間、職探し時の年齢・求職期間】

①初職が文系職種で理系の専門・技術・研究職の仕事を探した者					②初職が文系職種でIT・情報科学系エンジニアの仕事を探した者				
		n	就職した	な就職できなかった			n	就職した	な就職できなかった
全体		271	15.1	84.9	全体		190	12.1	87.9
性別	男性	170	14.1	85.9	性別	男性	121	11.6	88.4
	女性	101	16.8	83.2		女性	69	13.0	87.0
職探し時の年齢	30歳未満	189	16.4	83.6	職探し時の年齢	30歳未満	126	11.9	88.1
	30歳以上	82	12.2	87.8		30歳以上	64	12.5	87.5
求職期間	3ヶ月未満	131	10.7	89.3	求職期間	3ヶ月未満	92	6.5	93.5
	3ヶ月以上	140	19.3	80.7		3ヶ月以上	98	17.3	82.7
職探し時の年齢・求職期間	30歳未満・3ヶ月未満	95	12.6	87.4	職探し時の年齢・求職期間	30歳未満・3ヶ月未満	61	6.6	93.4
	30歳未満・3ヶ月以上	94	20.2	79.8		30歳未満・3ヶ月以上	65	16.9	83.1
	30歳以上・3ヶ月未満	36	5.6	94.4		30歳以上・3ヶ月未満	31	6.5	93.5
	30歳以上・3ヶ月以上	46	17.4	82.6		30歳以上・3ヶ月以上	33	18.2	81.8

※文系学部卒・現在文系職種（「自分の現在の仕事はもともと理系の専門・技術・研究職である」を除く）のうち、理系の専門・技術・研究職の就労を希望する者のなかで、理系の専門・技術・研究職の職を探した経験が「ある」とする者で、①は初職が文系職種の者に限定し集計。②は、初職が文系職種でIT・情報科学系エンジニアの仕事を探した者に限定して集計。

(2)理系の専門・技術・研究職に就職できなかった理由

調査では、文系学部卒・現在文系職種、かつ、理系専門職等への就労希望者で、理系の専門・技術・研究職の職探しをした者のなかで、「就職できなかった」者に対して、「理系の専門・技術・研究職で職を得ることが難しかった理由として、あてはまるものを選んでください」と尋ねている。

それによれば、「未経験では仕事が見つからなかった」が 46.2%と最も割合が高く、半数弱を占めている。次いで、「就職活動しても採用されなかった」(31.1%)、「勉強する時間が取れない」(21.9%)、「何から勉強すれば良いかわからない」(15.1%)、「どの仕事に応募したら良いかわからない」(14.3%)、「勉強内容が難しく諦めた」(13.9%)、「その時の自分の年齢が高く、採用されなかった」(11.6%)、「勉強にかかる費用が捻出できない」(7.2%)などとなっている(図表 4-4-18)。

これを性別にみると、女性に比べ男性の方が「未経験では仕事が見つからなかった」「就職活動しても採用されなかった」「その時の自分の年齢が高く、採用されなかった」などの割合がやや高い。一方、男性に比べ女性の方が「何から勉強すれば良いかわからない」「どの仕事に応募したら良いかわからない」「勉強内容が難しく諦めた」の割合がやや高い(図表 4-4-19)。

理系就労希望職種別にみると、いずれの職種においても、「未経験では仕事が見つからなかった」の割合が最も高い。特に、「自然科学系のエンジニア・技術職」でその割合が他の職種に比べて高くなっている。「自然科学系のエンジニア・技術職」は、「勉強にかかる費用が捻出できない」の割合も他の職種に比べて高くなっている。また、「その時の自分の年齢が高く、採用されなかった」の割合は、「IT・情報科学系エンジニア」に比べて、「自然科学系のエンジニア・技術職」「自然科学系の研究職」の方が高い(図表 4-4-20)。

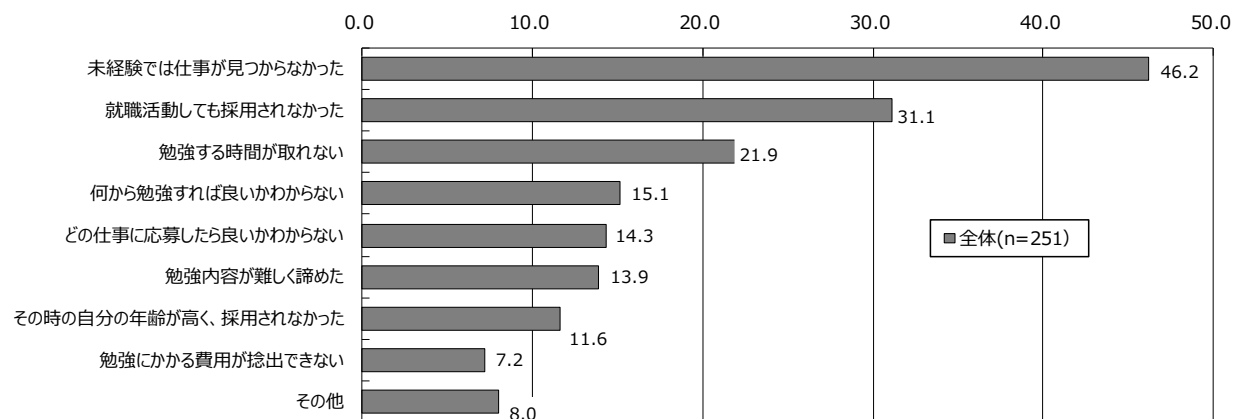
職探し時の年齢、求職期間別にみたものが図表 4-4-21 である。まず、職探し時の年齢別にみると、「30歳未満」に比べて「30歳以上」の方が「その時の自分の年齢が高く、採用されなかった」「勉強する時間が取れない」「未経験では仕事が見つからなかった」「どの仕事に応募したら良いかわか

らない」「勉強にかかる費用が捻出できない」などの割合が高い(図表 4-4-21①)。

求職期間別にみると、「3 ヶ月未満」に比べ「3 ヶ月以上」の方が「就職活動しても採用されなかった」「その時の自分の年齢が高く、採用されなかった」などの割合が高い(図表 4-4-21②)。

図表 4-4-18 理系の専門・技術・研究職に就職できなかった理由(MA、単位＝%)

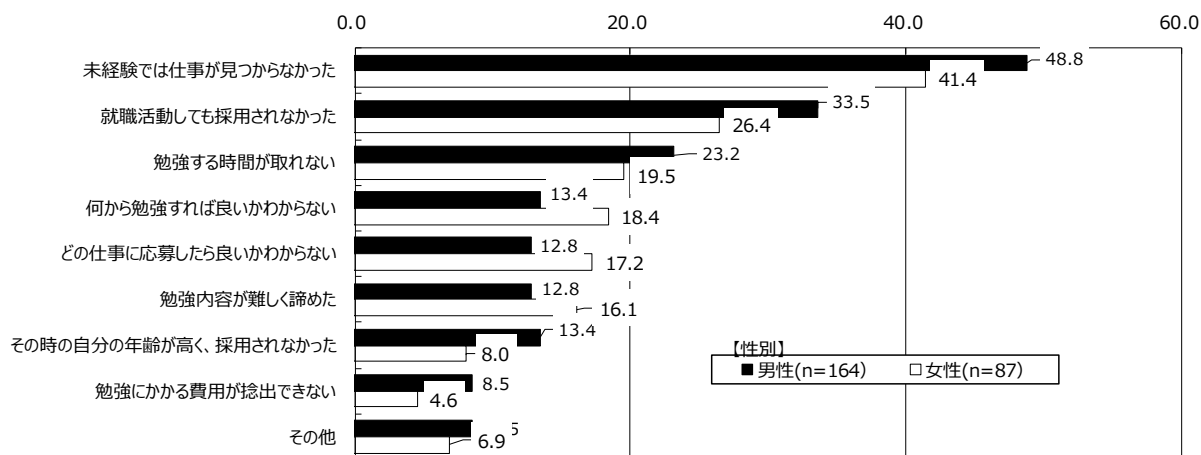
【初職、理系就労希望職種別】



※文系学部卒・現在文系職種（「自分の現在の仕事はもとも理系の専門・技術・研究職である」を除く）のうち、理系の専門・技術・研究職の就労を希望する者を採した経験があるとする者（理系の専門・技術・研究職への就労希望者）で、「就職できなかった」者を対象に集計。

図表 4-4-19 理系の専門・技術・研究職に就職できなかった理由(MA、単位＝%)

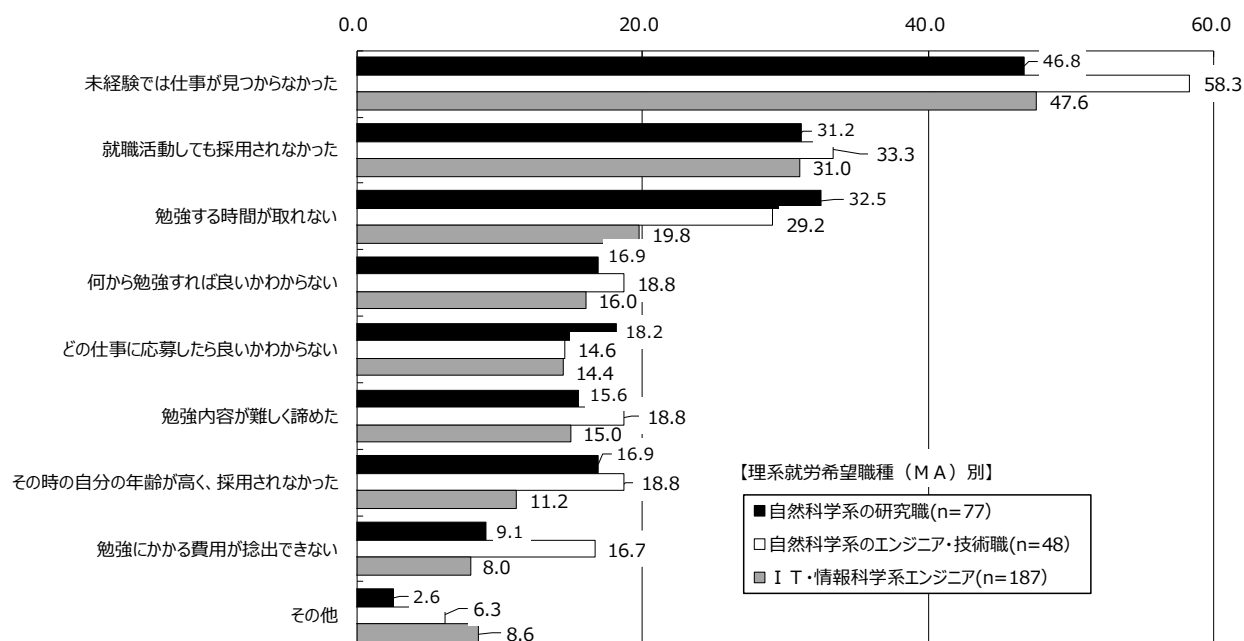
【性別】



※文系学部卒・現在文系職種（「自分の現在の仕事はもとも理系の専門・技術・研究職である」を除く）のうち、理系の専門・技術・研究職の就労を希望する者のなかで、理系の専門・技術・研究職の職を採した経験があるとする者で、「就職できなかった」者を対象に集計。

図表 4-4-20 理系の専門・技術・研究職に就職できなかった理由(MA、単位＝%)

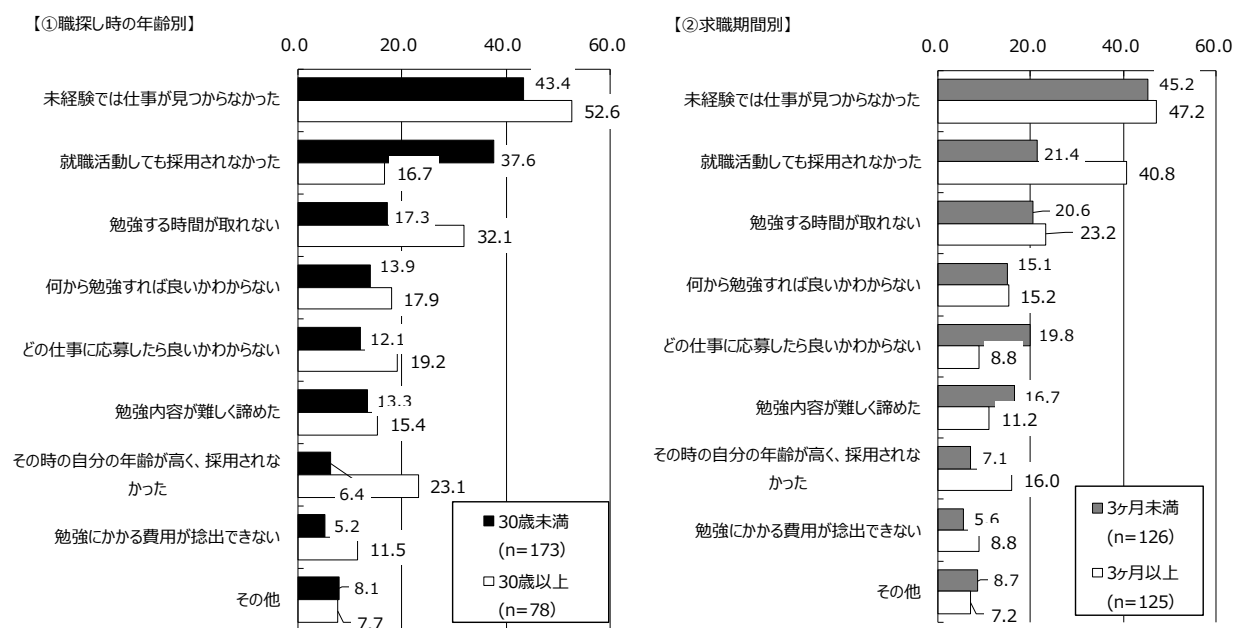
【理系就労希望職種別】



※文系学部卒・現在文系職種（「自分の現在の仕事はもとも理系の専門・技術・研究職である」を除く）のうち、理系の専門・技術・研究職の就労を希望する者のなかで、理系の専門・技術・研究職の職を探した経験が「ある」とする者で、「就職できなかった」者を対象に集計。

図表 4-4-21 理系の専門・技術・研究職に就職できなかった理由(MA、単位＝%)

【①職探し時の年齢、②求職期間別】



※文系学部卒・現在文系職種（「自分の現在の仕事はもとも理系の専門・技術・研究職である」を除く）のうち、理系の専門・技術・研究職の就労を希望する者のなかで、理系の専門・技術・研究職の職を探した経験が「ある」とする者で、「就職できなかった」者を対象に集計。

※文系学部卒・現在文系職種（「自分の現在の仕事はもとも理系の専門・技術・研究職である」を除く）のうち、理系の専門・技術・研究職の就労を希望する者のなかで、理系の専門・技術・研究職の職を探した経験が「ある」とする者で、「就職できなかった」者を対象に集計。

4-5. 現職での職業能力・スキルを高めるための活動

4-5-1. 自己啓発の取り組み

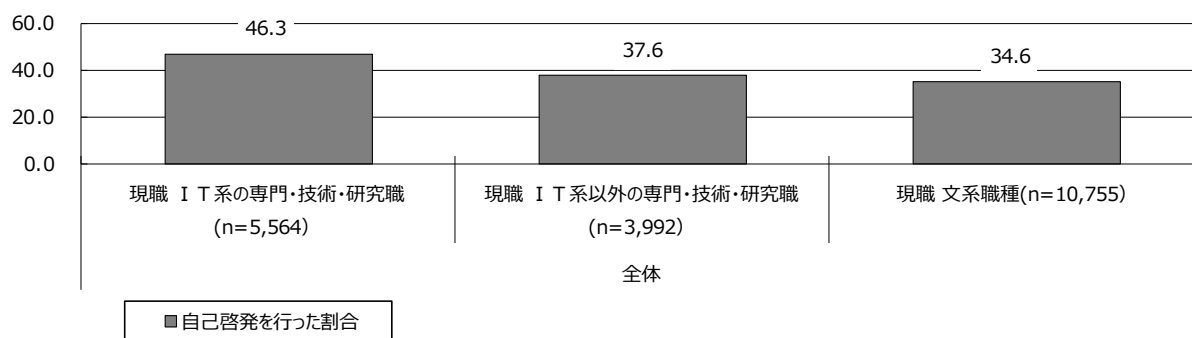
(1) 過去 1 年間の自己啓発の有無

本調査では、「あなたは、過去 1 年間に職業能力・スキルを高めるために何かしら自己啓発を行いましたか。自己啓発とは、職業生活を継続するために職業に関する能力を向上させるための自発的な活動です」と尋ねている(以下、「自己啓発」という)。これを現職の職種ごとに集計したものが図表 4-5-1 である。それによれば、自己啓発を行った割合は、「現職 IT 系の専門・技術・研究職」が 46.3%、「現職 IT 系以外の専門・技術・研究職」が 37.6%、「現職 文系職種」が 34.6%となっている。

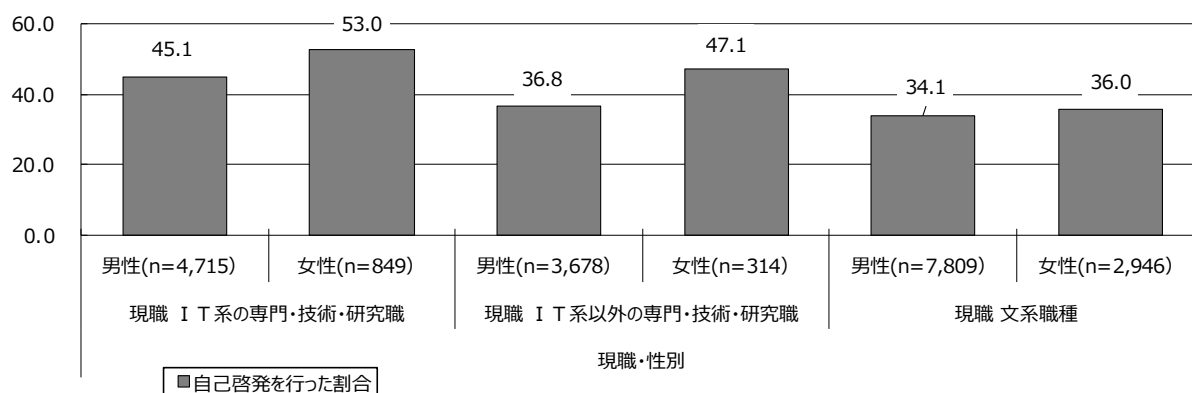
これを性別にみると、自己啓発を行った割合は、いずれの職種においても、男性よりも女性の方が割合は高い(図表 4-5-2)。

年齢別にみると、いずれの職種においても、年齢が若くなるほど、自己啓発を行った割合が高くなる傾向にある(図表 4-5-3)。

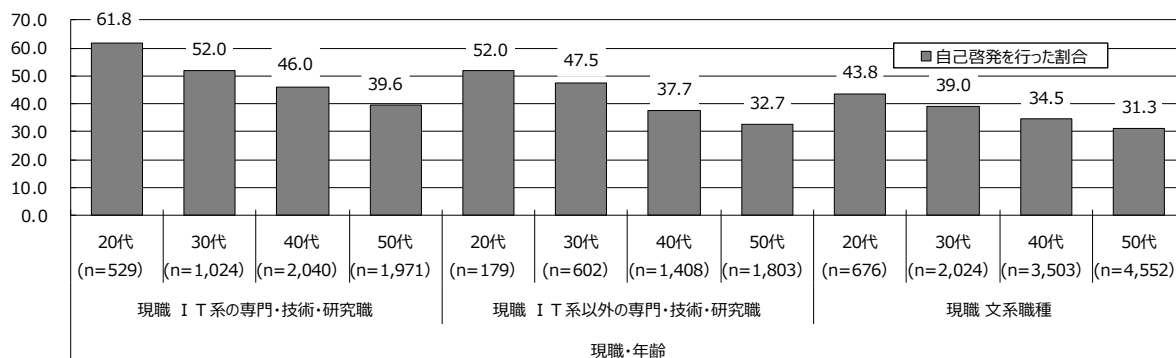
図表 4-5-1 過去 1 年間の自己啓発を行った割合(SA、単位 = %)



図表 4-5-2 過去 1 年間の自己啓発を行った割合(SA、単位 = %)【性別】

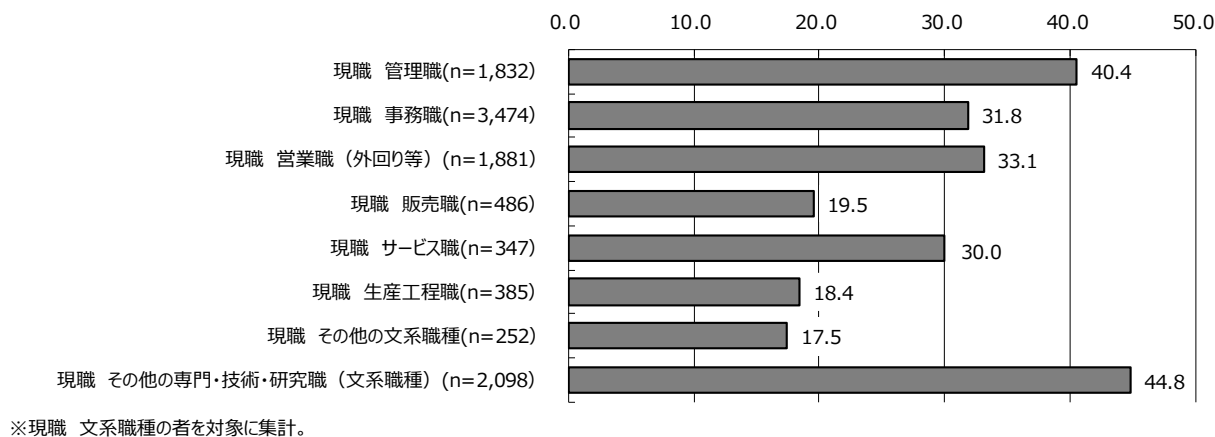


図表 4-5-3 過去 1 年間の自己啓発を行った割合(SA、単位＝％)【年齢別】



現職 文系職種に限定し、現職（文系職種）別²⁷にみると、「現職 その他の専門・技術・研究職（文系職種）」（44.8％）、「現職 管理職」（40.4％）が 4 割台と高く、次いで、「現職 営業職（外回り等）」（33.1％）、「現職 事務職」（31.8％）、「現職 サービス職」（30.0％）などが 3 割台、「現職 販売職」（19.5％）、「現職 生産工程職」（18.4％）、「現職 その他の文系職種」（17.5％）が 2 割弱となっている（図表 4-5-3）。

図表 4-5-4 過去 1 年間の自己啓発を行った割合(SA、単位＝％)【現職（文系職種）別】



※現職 文系職種の者を対象に集計。

(2) 自己啓発を行った者の理由

調査では、自己啓発を行った者に対して、「その自己啓発は、転職や独立することを目的に行いましたか」と尋ねている。これを現職の職種別にみると、いずれの職種も、「転職するため」が 2 割前後、「独立するため」が 6～8％程度となっている。

現職（文系職種）別にみると、いずれの職種も、「転職するため」が 1～2 割程度であり、「独立するため」は 1 割未満となっている（図表 4-5-5）。

²⁷ 現職（文系職種）は、注 16 で示した 8 区分でカテゴリ化されている（以下同じ）。

図表 4-5-5 自己啓発を行った者の理由(転職や独立目的の有無)(MA、単位＝％)

【現職別、現職(文系職種)別】

		n	転職 する ため	独 立 する ため	啓定転 発せ職 をず・ 行に独 つ・立 た自を 己想
現職	現職 IT系の専門・技術・研究職	2,577	21.3	8.2	75.0
	現職 IT系以外の専門・技術・研究職	1,500	17.3	7.5	78.4
	現職 文系職種	3,721	17.3	6.3	79.5
現職 (文系職種)	現職 管理職	741	12.4	6.1	84.2
	現職 事務職	1,105	17.6	5.0	80.6
	現職 営業職(外回り等)	622	16.6	6.1	80.1
	現職 販売職	95	18.9	3.2	80.0
	現職 サービス職	104	22.1	5.8	76.0
	現職 生産工程職	71	21.1	8.5	73.2
	現職 その他の文系職種	44	11.4	4.5	86.4
	現職 その他の専門・技術・研究職(文系職種)	939	20.7	8.3	74.4

※過去1年間に自己啓発を行った者を対象に集計。

これを現職に分けて性別、年齢別にみたものが図表 4-5-6 である。まず、現職・性別にみると、いずれの職種も、男性に比べ女性の方が「転職するため」の割合が高い。

現職・年齢別にみると、いずれの職種においても、年齢が低くなるほど、「転職するため」の割合が高くなる傾向にある。

図表 4-5-6 自己啓発を行った者の理由(転職や独立目的の有無)(MA、単位＝％)

【現職・性別、現職・年齢別】

			n	転職 する ため	独 立 する ため	啓定転 発せ職 をず・ 行に独 つ・立 た自を 己想
性別	現職 IT系の専門・技術・研究職	男性	2,127	19.8	7.9	77.1
		女性	450	28.4	9.8	65.6
	現職 IT系以外の専門・技術・研究職	男性	1,352	16.6	7.8	78.9
		女性	148	24.3	5.4	73.6
	現職 文系職種	男性	2,659	15.6	6.8	80.9
		女性	1,062	21.6	5.0	76.0
年齢	現職 IT系の専門・技術・研究職	20代	327	37.0	11.9	56.9
		30代	532	30.1	10.7	65.6
		40代	938	19.4	7.1	77.5
		50代	780	11.2	6.2	86.2
	現職 IT系以外の専門・技術・研究職	20代	93	28.0	12.9	68.8
		30代	286	29.0	12.9	65.4
		40代	531	14.5	6.4	81.0
		50代	590	12.5	5.1	83.9
	現職 文系職種	20代	296	34.5	7.8	62.2
		30代	790	24.4	5.7	73.7
		40代	1,210	16.3	6.7	80.5
		50代	1,425	10.7	5.9	85.4

※過去1年間に自己啓発を行った者を対象に集計。

(3) 自己啓発の内容

調査では、「自己啓発の内容」についても尋ねている。これを現職の職種ごとに集計したものが図表 4-5-7 である。IT系の勉強内容(「一般的なPC・OAスキル」「プログラミング」「WEBやアプリ制

作」「動画編集」「デザイン」)に着目し、「勉強している」「資格取得を目指して勉強をしている」「資格取得を目指さず勉強をしている」のいずれか選択)の割合についてみると、特に、「一般的な PC・OA スキル」「プログラミング」「WEB やアプリ制作」「動画編集」「デザイン」では、「勉強している」割合は、「現職 文系職種」に比べて、「現職 IT 系以外の専門・技術・研究職」「現職 IT 系の専門・技術・研究職」の順に高くなっている。

なお、「資格取得を目指して勉強をしている」割合は、特に「現職 IT 系の専門・技術・研究職」において、「プログラミング」「一般的な PC・OA スキル」「WEB やアプリ制作」などで、他の職種に比べ高くなっている。

図表 4-5-7 過去1年間の自己啓発の内容(MA、単位＝%)【現職別】

	n	一般的なPC・OAスキル				プログラミング				WEBやアプリ制作			
		資格取得を目指して勉強をしている	資格取得を目指さず勉強をしている	勉強していない	勉強している	資格取得を目指して勉強をしている	資格取得を目指さず勉強をしている	勉強していない	勉強している	資格取得を目指して勉強をしている	資格取得を目指さず勉強をしている	勉強していない	勉強している
現職 IT 系の専門・技術・研究職	2,577	17.9	35.0	49.4	50.6	18.5	36.0	48.1	51.9	11.4	26.8	63.1	36.9
現職 IT 系以外の専門・技術・研究職	1,500	11.2	35.1	55.3	44.7	7.3	23.3	70.5	29.5	5.1	12.4	83.1	16.9
現職 文系職種	3,721	10.1	35.2	55.4	44.6	3.5	11.2	85.5	14.5	2.3	9.6	88.2	11.8

	n	動画編集				デザイン				マーケティング			
		資格取得を目指して勉強をしている	資格取得を目指さず勉強をしている	勉強していない	勉強している	資格取得を目指して勉強をしている	資格取得を目指さず勉強をしている	勉強していない	勉強している	資格取得を目指して勉強をしている	資格取得を目指さず勉強をしている	勉強していない	勉強している
現職 IT 系の専門・技術・研究職	2,577	5.7	12.4	82.5	17.5	5.3	11.0	84.3	15.7	7.2	16.3	77.4	22.6
現職 IT 系以外の専門・技術・研究職	1,500	4.1	11.1	85.3	14.7	4.1	9.3	87.1	12.9	5.1	17.8	78.1	21.9
現職 文系職種	3,721	1.6	8.0	90.6	9.4	1.8	6.5	91.8	8.2	3.8	20.3	76.5	23.5

	n	会計・財務				語学				その他			
		資格取得を目指して勉強をしている	資格取得を目指さず勉強をしている	勉強していない	勉強している	資格取得を目指して勉強をしている	資格取得を目指さず勉強をしている	勉強していない	勉強している	資格取得を目指して勉強をしている	資格取得を目指さず勉強をしている	勉強していない	勉強している
現職 IT 系の専門・技術・研究職	2,577	12.6	15.7	73.3	26.7	25.9	25.6	51.6	48.4	24.3	28.8	49.2	50.8
現職 IT 系以外の専門・技術・研究職	1,500	11.3	12.7	77.3	22.7	21.1	32.6	48.5	51.5	21.5	32.4	48.1	51.9
現職 文系職種	3,721	15.8	19.0	65.8	34.2	17.3	23.8	60.5	39.5	21.0	27.8	52.6	47.4

※過去1年間に自己啓発を行った者を対象に集計。「勉強している」は、「資格取得を目指して勉強をしている」「資格取得を目指さず勉強をしている」のいずれかを選択した割合。

参考として、自己啓発理由として「転職・独立目的の有無別」(「転職するため」「独立するため」「転職・独立を想定せずに、自己啓発を行った」により作成。以下同じ)にみると、いずれの項目も、「(転職・独立)いずれも想定していない」に比べて、「転職目的」または「独立目的」の方が高く、「転職・独立目的」で最も高くなっている(図表 4-5-8)。

また、各項目の「勉強をしている」割合について、現職・年齢別にみたものが図表 4-5-9 である。それによれば、「現職 IT 系の専門・技術・研究職」「現職 IT 系以外の専門・技術・研究職」いずれも、おおむね年齢が若くなるほど、「一般的な PC・OA スキル」「プログラミング」「WEB やアプリ制作」「動画編集」「デザイン」「会計・財務」「語学」の割合が高くなる傾向にある。

「現職 文系職種」も傾向はほとんど同じであり、おおむね年齢が若くなるほど、「プログラミング」「WEB やアプリ制作」「動画編集」「デザイン」「会計・財務」「語学」の割合が高くなる傾向にあるが、

「一般的な PC・OA スキル」は、いずれの年齢層でも 4 割台である(図表 4-5-9)。

図表 4-5-8 過去1年間の自己啓発の内容(MA、単位＝％)【転職・独立目的の有無別】

	n	一般的なPC・OAスキル				プログラミング				WEBやアプリ制作			
		資格取得を目指して勉強している	資格取得を目指す勉強をしている	勉強していない	勉強している	資格取得を目指して勉強している	資格取得を目指す勉強をしている	勉強していない	勉強している	資格取得を目指して勉強している	資格取得を目指す勉強をしている	勉強していない	勉強している
転職・独立目的	280	37.5	41.8	31.1	68.9	36.1	33.9	39.3	60.7	28.2	30.0	48.6	51.4
独立目的	277	23.1	38.3	40.1	59.9	18.8	31.4	50.9	49.1	16.2	33.6	50.2	49.8
転職目的	1,174	24.4	34.9	42.2	57.8	20.7	24.8	56.4	43.6	14.1	20.6	66.3	33.7
いずれも想定していない	6,067	9.0	34.7	57.2	42.8	5.3	20.2	75.3	24.7	2.8	13.4	84.1	15.9

	n	動画編集				デザイン				マーケティング			
		資格取得を目指して勉強している	資格取得を目指す勉強をしている	勉強していない	勉強している	資格取得を目指して勉強している	資格取得を目指す勉強をしている	勉強していない	勉強している	資格取得を目指して勉強している	資格取得を目指す勉強をしている	勉強していない	勉強している
転職・独立目的	280	21.1	30.0	54.6	45.4	22.5	22.1	61.1	38.9	27.1	38.9	42.5	57.5
独立目的	277	16.6	23.5	60.3	39.7	15.5	23.8	62.1	37.9	20.2	28.2	53.1	46.9
転職目的	1,174	8.6	15.9	76.0	24.0	8.3	14.0	78.2	21.8	11.1	20.8	69.3	30.7
いずれも想定していない	6,067	1.0	7.4	91.7	8.3	1.0	6.2	92.9	7.1	2.3	16.7	81.3	18.7

	n	会計・財務				語学				その他			
		資格取得を目指して勉強している	資格取得を目指す勉強をしている	勉強していない	勉強している	資格取得を目指して勉強している	資格取得を目指す勉強をしている	勉強していない	勉強している	資格取得を目指して勉強している	資格取得を目指す勉強をしている	勉強していない	勉強している
転職・独立目的	280	42.5	28.6	38.9	61.1	58.9	37.1	22.1	77.9	37.5	25.0	43.9	56.1
独立目的	277	27.8	29.2	45.5	54.5	36.1	31.0	36.1	63.9	27.4	28.2	45.1	54.9
転職目的	1,174	27.3	17.9	56.2	43.8	38.0	23.5	41.4	58.6	25.1	20.7	55.9	44.1
いずれも想定していない	6,067	9.3	15.4	75.8	24.2	15.1	25.8	60.3	39.7	20.7	30.8	50.1	49.9

※過去1年間に自己啓発を行った者を対象に集計。「勉強している」は、「資格取得を目指して勉強をしている」「資格取得を目指す勉強をしている」のいずれかを選択した割合。「転職・独立目的の別」は、「転職するため」「独立するため」「転職・独立を想定せずに、自己啓発を行った」により作成。

図表 4-5-9 過去1年間の自己啓発で「勉強している」割合(MA、単位＝％)

【現職・年齢別】

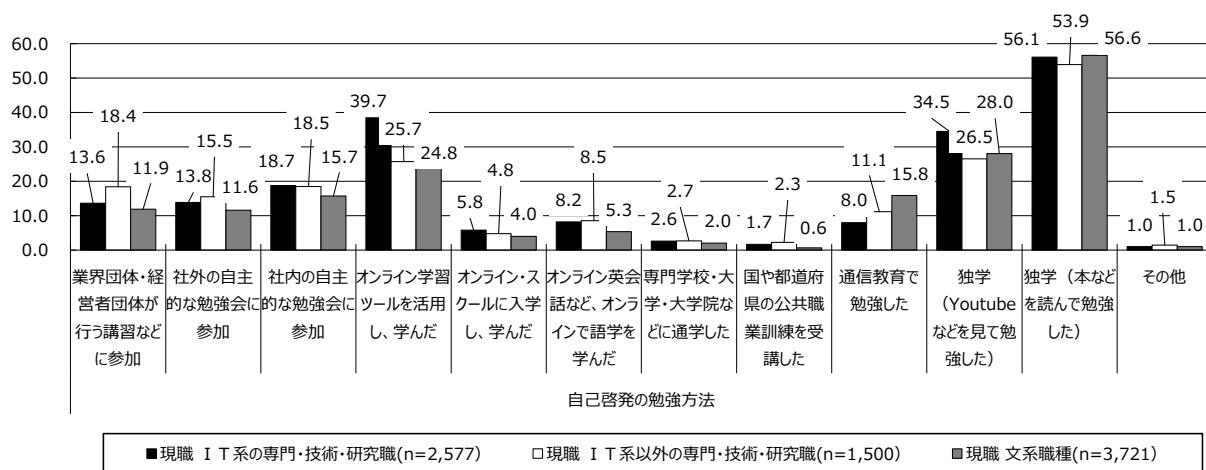
			n	一般的なPC・OAスキル	プログラミング	WEBやアプリ	動画編集	デザイン	マーケティング	会計・財務	語学	その他
年齢	現職 IT系の専門・技術・研究職	20代	327	59.0	65.4	44.6	24.2	21.7	22.3	31.2	53.5	38.5
		30代	532	52.8	64.8	43.2	23.7	23.3	25.6	33.3	54.5	49.1
		40代	938	51.0	50.7	37.8	16.2	14.4	23.6	27.5	48.2	49.3
		50代	780	45.0	38.7	28.2	11.9	9.5	19.5	19.5	42.3	59.1
	現職 IT系以外の専門・技術・研究職	20代	93	53.8	33.3	26.9	24.7	26.9	23.7	40.9	54.8	45.2
		30代	286	48.6	40.2	25.5	24.1	20.3	26.2	34.3	54.5	44.1
		40代	531	43.3	29.4	14.5	12.1	10.9	22.8	21.1	52.5	51.6
		50代	590	42.7	23.7	13.2	10.8	8.8	18.8	15.8	48.6	56.9
	現職 文系職種	20代	296	46.3	17.6	16.2	13.2	14.9	18.9	39.9	47.6	33.4
		30代	790	45.7	16.8	12.7	10.8	9.9	21.3	41.8	43.0	38.7
		40代	1,210	42.7	14.6	11.8	9.7	8.2	25.5	33.0	39.8	48.8
		50代	1,425	45.2	12.4	10.4	7.6	5.8	24.1	29.8	35.6	54.0

※過去1年間に自己啓発を行った者を対象に集計。各項目は、「勉強している」割合(「資格取得を目指して勉強をしている」「資格取得を目指す勉強をしている」のいずれかを選択)のみを記載している。

(4)勉強方法

調査では、自己啓発を行った者を対象に、「過去 1 年間に行った自己啓発について、どのように勉強していますか」(複数回答)²⁸と尋ねている(以下、「勉強方法」という)。これを現職の職種別にみると、いずれの職種においても「独学(本などを読んで勉強した)」が 6 割弱と最も高く、次いで、「現職 IT 系以外の専門・技術・研究職」「現職 文系職種」では、「独学(Youtube などを見て勉強した)」「オンライン学習ツールを活用し、学んだ」などの順であり、「現職 IT 系の専門・技術・研究職」では、「オンライン学習ツールを活用し、学んだ」「独学(Youtube などを見て勉強した)」などの順となっている(図表 4-5-10)。

図表 4-5-10 過去 1 年間に自己啓発をした者の勉強方法(MA、単位=%)【現職別】



※過去1年間に自己啓発を行った者を対象に集計。

自己啓発理由として転職・独立目的の有無別にみると、「業界団体・経営者団体の講習などに参加」「社外の自主的な勉強会に参加」「オンライン・スクールに入学し、学んだ」「オンライン英会話など、オンラインで語学を学んだ」「専門学校・大学・大学院などに通学した」「国や都道府県の公共職業訓練を受講した」「通信教育で勉強した」「独学(Youtube などを見て勉強した)」では、「(転職・独立)いずれも想定していない」に比べて、「転職目的」または「独立目的」の方が高く、「転職・独立目的」で最も高くなっている(図表 4-5-11)。

²⁸ 調査票の設問文では、「オンライン学習ツールとは、Udemy や Progate など自分で学べる学習コンテンツのことです。オンライン・スクールとは、オンラインで、カリキュラムに沿い、サポートを受けながら勉強する学校のことです」と注記している。

図表 4-5-11 過去 1 年間に自己啓発をした者の勉強方法(MA、単位＝％)

【転職・独立目的の有無別】

	n	参加が 行団体 講・習 営者 に団	社外 に参 加自 主的 な勉 強	社内 に参 加自 主的 な勉 強	オン ライ ン・学 習ツ ダ	オン ライ ン・学 ス ク ダ	学 ど、 オン ライ ン英 会話 な	専 門学 校・大 学・大 学院 など に通 学し た	職 業訓 練を 受講 した 公 共	国 や都 道府 県の 公 共	通 信 教 育 で 勉 強 し た	どを 見て 勉 強 し た (Y o u t u b e な)	独 学 (本 など を読 ん で 勉 強 し た)	そ の 他
立 の 別	転職・独立目的	280	28.6	34.3	27.9	45.4	26.4	29.6	13.2	9.6	24.3	47.1	51.1	1.8
	独立目的	277	17.7	24.5	13.7	22.4	11.6	14.4	5.1	4.0	16.2	30.3	40.4	0.4
	転職目的	1,174	15.2	17.0	15.2	29.0	9.0	9.5	5.1	2.6	12.9	33.3	52.0	0.8
	いずれも想定していない	6,067	12.5	10.8	17.3	29.7	2.6	5.0	1.2	0.5	11.5	28.4	57.6	1.2

※過去1年間に自己啓発を行った者を対象に集計。「転職・独立目的の別」は、「転職するため」「独立するため」「転職・独立を想定せずに、自己啓発を行った」により作成。

参考として、勉強している自己啓発の内容別にみたものが図表 4-5-12 である。比較的費用を要する「専門学校・大学・大学院などに通学した」「オンライン・スクールに入学し、学んだ」に着目すると、いずれも、「デザイン」「動画編集」の割合が他に比べてやや高い。

また、自己啓発の内容(資格取得目的)²⁹別にみると、「独学(本などを読んで勉強した)」「独学(Youtube などを見て勉強した)」を除き、いずれの項目においても、「資格取得を目指し勉強」の割合が最も高くなっている(図表 4-5-13)。

図表 4-5-12 過去 1 年間に自己啓発をした者の勉強方法(MA、単位＝％)

【自己啓発の内容別】

		n	参加 業界 が行 団体 講・習 営者 に	社外 に参 加自 主的 な勉 強	社内 に参 加自 主的 な勉 強	オン ライ ン・学 習ツ ダ	オン ライ ン・学 ス ク ダ	学 ど、 オン ライ ン英 会話 な	専 門学 校・大 学・大 学院 など に通 学し た	職 業訓 練を 受講 した 公 共	国 や都 道府 県の 公 共	通 信 教 育で 勉強 した	独 学 (Y o u t u b e な) どを 見て 勉強 した	独 学 (本 など を読 ん で 勉 強 し た)	そ の 他
	全体	7,798	13.7	13.1	17.2	29.9	4.8	6.9	2.4	1.3	12.3	29.9	55.9	1.1	
勉 強 し て い る 自 己 啓 発 の 内 容	一般的なPC・OAスキル	3,633	17.1	18.1	22.3	34.7	6.3	9.1	3.0	2.1	13.6	35.9	55.9	0.9	
	プログラミング	2,317	18.0	20.4	22.2	40.0	9.0	11.3	4.1	3.2	12.3	38.2	55.2	0.9	
	WEBやアプリ制作	1,643	21.1	24.6	23.9	41.0	11.7	13.8	5.2	3.9	13.0	38.6	51.2	0.7	
	動画編集	1,020	25.8	30.4	26.8	37.8	15.6	17.9	7.1	5.9	15.7	41.0	45.6	0.5	
	デザイン	901	25.9	29.9	27.1	38.5	16.0	18.9	7.7	6.5	15.3	38.6	46.6	0.6	
	マーケティング	1,786	22.7	26.4	26.1	36.9	10.9	12.6	5.1	3.6	17.1	35.4	52.6	0.7	
	会計・財務	2,302	19.4	20.6	21.0	32.0	9.6	11.6	5.0	3.3	17.5	32.3	52.1	0.6	
語学	3,490	16.7	17.7	20.5	35.0	8.0	14.7	3.8	2.5	13.3	33.3	54.0	1.1		
その他	3,853	15.8	14.4	17.2	30.5	5.0	5.9	2.6	1.3	12.4	29.0	59.5	1.4		

※過去1年間に自己啓発を行った者を対象に集計。表側の各項目は、自己啓発の内容で「勉強している」「資格取得を目指して勉強をしている」「資格取得を目指さず勉強をしている」のいずれかを選択)としているものでクロス集計している。

²⁹ 自己啓発の内容の各項目の「資格取得を目指し勉強」は、「資格取得を目指して勉強をしている」を選択、「資格取得以外で勉強」は「資格取得を目指さず勉強をしている」のみを選択(「資格取得を目指して勉強をしている」以外で「資格取得を目指さず勉強をしている」を選択)により作成した。

図表 4-5-13 過去 1 年間に自己啓発をした者の勉強方法(MA、単位＝％)

【自己啓発の内容(資格取得目的)別】

		n	参加者が行う団体講習など者に	業界の自主的な勉強	会社外の自主的な勉強	社内参加の自主的な勉強	オンライン活用し、学習ツール	オンライン学習、スクリーン	オンライン英会話など、オンラインで語学を学んだ	専門学校・大学・大学院などに通学した	職業や都道府県の公共職業訓練を受けた	通信教育で勉強した	ど(YouTubeなど)を見て勉強した	独学(本などを読んだ)	その他
自己啓発の内容	一般的なPC・OAスキル	資格取得を目指し勉強	1,002	22.5	24.2	24.3	37.5	12.4	13.4	5.8	4.7	17.2	31.5	48.6	0.6
		資格取得以外で勉強	2,631	15.0	15.7	21.5	33.7	4.0	7.5	1.9	1.2	12.2	37.6	58.7	1.0
		勉強していない	4,165	10.7	8.7	12.9	25.7	3.4	4.9	1.8	0.6	11.2	24.6	55.9	1.2
	プログラミング	資格取得を目指し勉強	716	25.4	28.8	27.0	43.4	15.8	18.7	8.1	6.4	17.9	33.7	46.1	0.1
		資格取得以外で勉強	1,601	14.7	16.6	20.0	38.4	5.9	8.0	2.4	1.7	9.8	40.3	59.3	1.2
		勉強していない	5,481	11.8	10.0	15.2	25.6	3.0	5.0	1.6	0.5	12.4	26.3	56.2	1.2
	WEBやアプリ制作	資格取得を目指し勉強	458	30.8	32.1	30.8	41.9	20.1	23.8	11.4	8.5	18.8	30.6	36.7	0.2
		資格取得以外で勉強	1,185	17.4	21.7	21.3	40.7	8.4	9.9	2.8	2.1	10.8	41.8	56.9	0.9
		勉強していない	6,155	11.7	10.0	15.5	26.9	2.9	5.1	1.6	0.6	12.2	27.5	57.1	1.2
	動画編集	資格取得を目指し勉強	268	36.2	37.3	31.7	35.4	22.4	24.6	15.3	10.8	20.9	28.4	26.9	0.0
		資格取得以外で勉強	752	22.1	27.9	25.0	38.7	13.2	15.6	4.1	4.1	13.8	45.5	52.3	0.7
		勉強していない	6,778	11.9	10.5	15.8	28.7	3.1	5.2	1.7	0.6	11.8	28.2	57.4	1.2
	デザイン	資格取得を目指し勉強	263	39.5	37.6	30.0	34.6	23.6	24.3	16.7	12.2	22.1	27.4	30.8	0.0
		資格取得以外で勉強	638	20.2	26.6	25.9	40.1	12.9	16.6	3.9	4.2	12.5	43.3	53.1	0.8
		勉強していない	6,897	12.1	10.9	16.0	28.8	3.3	5.3	1.7	0.6	11.9	28.7	57.1	1.2
	マーケティング	資格取得を目指し勉強	404	34.4	33.7	30.0	38.1	19.6	21.3	11.4	8.9	24.3	26.5	39.4	0.0
		資格取得以外で勉強	1,382	19.2	24.3	25.0	36.5	8.4	10.1	3.3	2.0	15.0	38.0	56.4	0.9
		勉強していない	6,012	11.0	9.1	14.6	27.8	2.9	5.2	1.5	0.6	10.9	28.2	56.9	1.2
	会計・財務	資格取得を目指し勉強	1,082	21.9	21.8	20.7	33.6	12.6	13.7	6.8	5.0	21.9	30.6	49.2	0.7
		資格取得以外で勉強	1,220	17.2	19.6	21.2	30.6	7.0	9.8	3.4	1.8	13.6	33.8	54.7	0.4
		勉強していない	5,496	11.3	9.9	15.7	29.0	2.7	4.9	1.3	0.5	10.2	28.9	57.5	1.3
	語学	資格取得を目指し勉強	1,628	21.3	21.9	23.0	36.2	11.7	17.4	6.0	4.5	16.8	32.1	50.9	0.7
		資格取得以外で勉強	1,862	12.7	14.0	18.4	33.9	4.8	12.4	1.8	0.6	10.3	34.4	56.8	1.3
		勉強していない	4,308	11.2	9.4	14.6	25.8	2.1	0.6	1.2	0.3	11.5	27.1	57.4	1.1

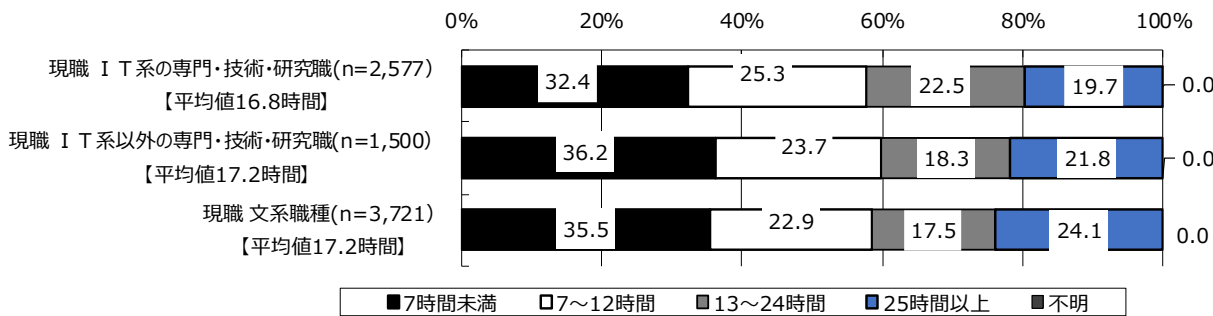
※過去1年間に自己啓発を行った者を対象に集計。自己啓発の内容の各項目の「資格取得を目指し勉強」は、「資格取得を目指して勉強をしている」を選択、「資格取得以外で勉強」は「資格取得を目指さず勉強をしている」のみを選択（「資格取得を目指して勉強をしている」以外で「資格取得を目指さず勉強をしている」を選択）したもの。自己啓発の内容の項目の「その他」は記載割愛。

(5) 自己啓発をしている時間

調査では、「自己啓発をしている時間は、1 ヶ月あたり合計でどれくらいですか。自己啓発を実施した直近の月単位でお答えください」³⁰と尋ねている（以下、「1 ヶ月あたりの自己啓発時間」という）。これを現職の職種別にみると、1 ヶ月あたりの自己啓発時間の平均値は、「現職 IT 系の専門・技術・研究職」（16.8 時間）、「現職 IT 系以外の専門・技術・研究職」（17.2 時間）、「現職 文系職種」（17.2 時間）でほとんど差はみられない。分布をみると、いずれの職種も、「7 時間未満」が 3 割台、「7～12 時間」が 2 割台、「13～24 時間」と「25 時間以上」がいずれも 2 割前後となっている。「25 時間以上」の割合は、「現職 文系職種」が 24.1%で他の職種に比べやや高い（図表 4-5-14）。

³⁰ 調査票での回答欄は数値記入で、30 分以上切り上げと注記。

図表 4-5-14 1 ヶ月あたりの自己啓発時間(単位＝%)【現職別】



自己啓発理由として転職・独立目的の別にみると、1 ヶ月あたりの自己啓発時間の平均値は、「(転職・独立)いずれも想定していない」(15.5 時間)に比べて、「独立目的」(21.2 時間)または「転職目的」(21.2 時間)の方が高く、「転職・独立目的」(29.4 時間)で最も高くなっている。分布をみると、「25 時間以上」の割合は、「(転職・独立)いずれも想定していない」(19.4%)に比べて、「転職目的」(29.0%)、「独立目的」(34.7%)の順で高く、「転職・独立目的」(41.8%)で最も高くなっている(図表 4-5-15)。

図表 4-5-15 1 ヶ月あたりの自己啓発時間(単位＝%)【転職・独立目的の別】

		n	満 7 時 間 未	時 7 間 5 1 2	2 1 4 3 時 5 間	以 2 上 5 時 間	不 明	(時 間) 平 均 値
立 転 の 職 目 ・ 的 独	転職・独立目的	280	19.6	16.4	22.1	41.8	0.0	29.4
	独立目的	277	35.4	14.1	15.9	34.7	0.0	21.2
	転職目的	1,174	29.2	22.3	19.5	29.0	0.0	21.5
	転職・独立を想定せずに、自己啓発を行った	6,067	36.3	24.9	19.4	19.4	0.0	15.5

※過去1年間に自己啓発を行った者を対象に集計。

参考として、自己啓発の内容(資格取得目的)別にみると、1 ヶ月あたりの自己啓発時間の平均値は、いずれの項目においても、「資格取得を目指し勉強」の割合が最も高い(図表 4-5-16)。

自己啓発の勉強方法別にみると、1 ヶ月あたりの自己啓発時間の平均値は、「専門学校・大学・大学院などに通学した」(38.6 時間)、「オンライン・スクールに入学し、学んだ」(28.9)などで高くなっている(図表 4-5-17)。

図表 4-5-16 1ヶ月あたりの自己啓発時間(単位＝%)

【自己啓発の内容(資格取得目的)別】

			n	7 時 間 未 満	7 時 間 1 時 2 分	1 時 間 3 時 4 分	1 時 間 5 分 以上	不 明	(平 均 値 時 間)
自己啓発の内容(MA)	一般的なPC・OAスキル	資格取得を目指し勉強	1,002	28.0	20.9	22.0	29.1	0.0	20.5
		資格取得以外で勉強	2,631	34.8	24.0	20.3	20.9	0.0	16.5
		勉強していない	4,165	36.1	24.5	18.2	21.3	0.0	16.6
	プログラミング	資格取得を目指し勉強	716	25.8	21.8	20.7	31.7	0.0	22.6
		資格取得以外で勉強	1,601	31.4	23.6	22.4	22.6	0.1	18.1
		勉強していない	5,481	36.7	24.2	18.3	20.8	0.0	16.1
	WEBやアプリ制作	資格取得を目指し勉強	458	30.8	18.8	19.7	30.8	0.0	22.9
		資格取得以外で勉強	1,185	29.9	23.2	21.7	25.1	0.1	19.5
		勉強していない	6,155	35.8	24.3	18.9	21.0	0.0	16.2
	動画編集	資格取得を目指し勉強	268	32.5	18.7	17.5	31.3	0.0	25.2
		資格取得以外で勉強	752	28.6	20.9	21.7	28.7	0.1	20.3
		勉強していない	6,778	35.4	24.4	19.2	21.1	0.0	16.4
	デザイン	資格取得を目指し勉強	263	30.4	17.1	16.3	36.1	0.0	26.2
		資格取得以外で勉強	638	30.3	22.4	20.2	27.0	0.2	20.1
		勉強していない	6,897	35.2	24.2	19.4	21.2	0.0	16.5
	マーケティング	資格取得を目指し勉強	404	25.7	16.8	19.6	37.9	0.0	26.4
		資格取得以外で勉強	1,382	29.8	23.4	22.1	24.7	0.1	18.6
		勉強していない	6,012	36.3	24.4	18.7	20.6	0.0	16.1
	会計・財務	資格取得を目指し勉強	1,082	23.8	19.4	20.0	36.9	0.0	23.8
		資格取得以外で勉強	1,220	31.1	22.3	21.2	25.3	0.1	19.2
		勉強していない	5,496	37.5	25.1	18.8	18.6	0.0	15.3
	語学	資格取得を目指し勉強	1,628	26.0	20.7	22.7	30.6	0.0	22.2
		資格取得以外で勉強	1,862	30.8	25.2	21.3	22.7	0.0	16.9
		勉強していない	4,308	39.5	24.4	17.3	18.8	0.0	15.3

※過去1年間に自己啓発を行った者を対象に集計。自己啓発の内容の各項目の「資格取得を目指し勉強」は、「資格取得を目指して勉強をしている」を選択、「資格取得以外で勉強」は「資格取得を目指さず勉強をしている」のみを選択（「資格取得を目指して勉強をしている」以外で「資格取得を目指さず勉強をしている」を選択）したもの。自己啓発の内容の項目の「その他」は記載割愛。

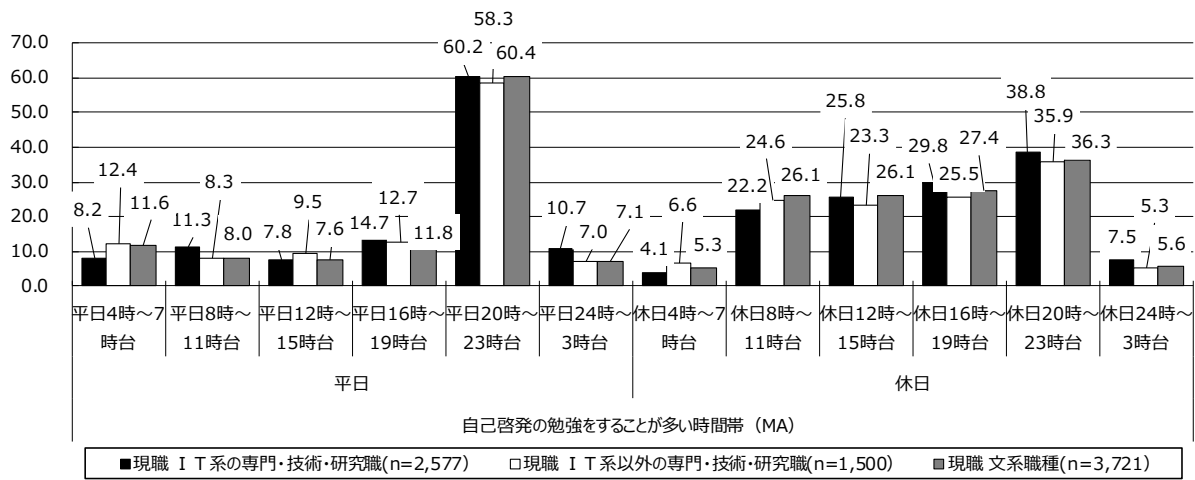
図表 4-5-17 1ヶ月あたりの自己啓発時間(単位＝%)【勉強方法別】

		n	7 時 間 未 満	7 時 間 1 時 2 分	1 時 間 3 時 4 分	1 時 間 5 分 以上	不 明	(平 均 値 時 間)
自己啓発の勉強方法(MA)	業界団体・経営者団体が行う講習などに参加	1,067	31.9	23.8	20.7	23.6	0.0	18.5
	社外の自主的な勉強会に参加	1,020	29.9	22.5	21.7	26.0	0.0	19.3
	社内の自主的な勉強会に参加	1,345	34.5	24.0	21.2	20.3	0.0	16.6
	オンライン学習ツールを活用し、学んだ	2,331	31.1	23.6	22.3	23.1	0.0	17.5
	オンライン・スクールに入學し、学んだ	371	22.6	16.4	18.1	42.9	0.0	28.9
	オンライン英会話など、オンラインで語学を学んだ	537	24.6	19.6	23.3	32.6	0.0	22.2
	専門学校・大学・大学院などに通學した	184	17.9	13.6	22.3	46.2	0.0	38.6
	国や都道府県の公共職業訓練を受講した	101	25.7	11.9	23.8	38.6	0.0	24.7
	通信教育で勉強した	962	29.5	22.0	19.6	28.8	0.0	20.1
	独学（Youtubeなどを見て勉強した）	2,329	29.7	23.1	21.4	25.9	0.0	18.5
	独学（本などを読んで勉強した）	4,358	29.8	24.6	20.9	24.7	0.0	18.1
	その他	85	40.0	21.2	14.1	24.7	0.0	17.3

※過去1年間に自己啓発を行った者を対象に集計。項目の「その他」は記載割愛。

調査では、自己啓発の勉強をすることが多い時間帯(複数回答)についても尋ねている。これを現職の職種別にみると、いずれの職種においても、平日では、「平日 20 時～23 時台」が 6 割前後と最も高い。休日では、「休日 20 時～23 時台」が 3 割台と最も高く、その他にも、「休日 16 時～19 時台」「休日 12 時～15 時台」「休日 8 時～11 時台」がそれぞれ 2 割程度ある(図表 4-5-18)。

図表 4-5-18 自己啓発の勉強をすることが多い時間帯(MA、単位＝％)【現職別】



※過去1年間に自己啓発を行った者を対象に集計。

これを1ヶ月あたりの自己啓発時間別にみると、自己啓発時間が長くなるほど、平日では、「平日20時～23時台」「平日24時～3時台」「平日4時～7時台」の割合が高くなる。休日では、自己啓発時間が長くなるほど、いずれの時間帯の割合も高くなっている(図表4-5-19)。

図表 4-5-19 自己啓発の勉強をすることが多い時間帯(MA、単位＝％)
【1ヶ月あたりの自己啓発時間別】

		n	平日							休日						
			平日4時～7時台	平日8時～11時台	平日12時～15時台	平日16時～19時台	平日20時～23時台	平日24時～3時台	休日4時～7時台	休日8時～11時台	休日12時～15時台	休日16時～19時台	休日20時～23時台	休日24時～3時台		
			台	時	1台5時	1台9時	2台3時	時	台	時	1台5時	1台9時	2台3時	時	台	時
の自 勉己 強啓 発 時 間	7時間未満	2,699	7.6	9.7	11.4	14.4	49.4	5.8	3.3	18.5	19.6	21.9	32.0	4.5		
	7～12時間	1,859	8.7	8.3	5.8	12.2	59.2	7.2	3.8	22.3	24.4	25.9	34.5	4.9		
	13～24時間	1,509	11.3	8.9	6.6	12.1	67.0	9.0	5.0	26.1	27.0	30.9	39.2	7.0		
	25時間以上	1,730	16.6	9.2	6.5	12.2	71.1	12.7	9.7	35.0	34.5	36.4	45.7	9.5		

※過去1年間に自己啓発を行った者を対象に集計。

4-5-2. 自己啓発に対する支援制度

(1) 自己啓発に対する支援制度の有無

調査では、「あなたのお勤めの会社には、自己啓発に対する支援制度がありますか」と尋ねている。「制度あり・計」「制度があり、自分も利用している」「制度はあるが、自分は利用していない」の合計。以下同じ)の割合を全体計でみると、「自己啓発費用の補助」が61.7%、「会社が契約するオンライン学習サービスの無料利用」が48.4%、「残業免除などの勤務時間への配慮」が19.6%、「教育訓練休暇制度」が16.8%となっている。

これを現在の勤め先の従業員数のカテゴリ別(以下、従業員規模別という)にみると、官公庁を

除き、従業員規模が大きくなるほど、いずれの支援制度の「制度あり・計」の割合も高くなる傾向にある。特に、1,000人以上規模では、「自己啓発費用の補助」が76.0%、「会社が契約するオンライン学習サービスの無料利用」が62.7%、「残業免除などの勤務時間への配慮」が25.4%、「教育訓練休暇制度」が22.1%となっており、1,000人以上規模の企業で働いている者において、各種の制度がある割合が高いことがうかがわれる(図表 4-5-20)。

図表 4-5-20 自己啓発に対する支援制度の有無(MA、単位＝%)【現職別】

	n	自己啓発費用の補助					会社が契約するオンライン学習サービスの無料利用				
		制度があり、自分も利用している	制度はあるが、自分は利用していない	制度はない	制度があるかわからない	制度あり・計	制度があり、自分も利用している	制度はあるが、自分は利用していない	制度はない	制度があるかわからない	制度あり・計
計	20,311	22.0	39.7	25.1	13.2	61.7	21.8	26.6	35.4	16.3	48.4
30人未満	1,620	8.2	13.2	59.2	19.4	21.4	4.4	7.1	71.5	17.0	11.5
30～100人未満	1,941	12.1	23.3	46.9	17.7	35.4	10.2	12.1	59.2	18.4	22.3
100～300人未満	2,597	17.1	31.2	35.3	16.4	48.3	14.9	19.5	48.1	17.6	34.3
300～1000人未満	3,326	22.4	39.2	24.9	13.5	61.6	20.5	26.5	36.4	16.6	47.0
1000人以上	10,707	27.0	48.9	13.5	10.5	76.0	28.7	34.0	22.1	15.2	62.7
官公庁	120	5.8	35.8	35.0	23.3	41.7	9.2	17.5	45.8	27.5	26.7

	n	残業免除などの勤務時間への配慮					教育訓練休暇制度				
		制度があり、自分も利用している	制度はあるが、自分は利用していない	制度はない	制度があるかわからない	制度あり・計	制度があり、自分も利用している	制度はあるが、自分は利用していない	制度はない	制度があるかわからない	制度あり・計
計	20,311	5.6	14.0	60.9	19.5	19.6	3.1	13.7	57.3	26.0	16.8
30人未満	1,620	2.5	4.9	75.5	17.1	7.4	1.7	4.1	76.5	17.7	5.8
30～100人未満	1,941	3.4	6.4	71.5	18.7	9.8	2.4	6.5	71.0	20.1	8.9
100～300人未満	2,597	4.6	9.4	67.5	18.5	13.9	2.8	7.7	67.4	22.2	10.4
300～1000人未満	3,326	5.0	12.5	62.8	19.6	17.5	3.5	11.2	61.6	23.7	14.7
1000人以上	10,707	6.9	18.5	54.6	20.0	25.4	3.5	18.6	48.1	29.8	22.1
官公庁	120	6.7	6.7	55.8	30.8	13.3	0.8	14.2	51.7	33.3	15.0

※「制度あり・計」は、「制度があり、自分も利用している」「制度はあるが、自分は利用していない」の合計。

これを現職の職種別にみると、「制度あり・計」の割合は、いずれの職種も、「自己啓発費用の補助」が5～6割、「会社が契約するオンライン学習サービスの無料利用」が4～5割、「残業免除などの勤務時間への配慮」が2割前後、「教育訓練休暇制度」が1割台となっている。職種間で比較すると、「自己啓発費用の補助」と「会社が契約するオンライン学習サービスの無料利用」では、他の職種に比べ、「現職 IT系の専門・技術・研究職」で最も割合が高い。

「制度があり、自分も利用している」の割合を現職の職種別にみると、「現職 IT系の専門・技術・研究職」で、「自己啓発費用の補助」(26.7%)、「会社が契約するオンライン学習サービスの無料利用」(30.2%)の割合が最も高い(図表 4-5-21)。

図表 4-5-21 自己啓発に対する支援制度の有無(MA、単位＝%)【現職別】

	n	自己啓発費用の補助					会社が契約するオンライン学習サービスの無料利用				
		制度があり、自分も利用している	制度はあるが、自分は利用していない	制度はない	制度があるかわからない	制度あり・計	制度があり、自分も利用している	制度はあるが、自分は利用していない	制度はない	制度があるかわからない	制度あり・計
現職 IT系の専門・技術・研究職	5,564	26.7	41.2	20.9	11.3	67.8	30.2	28.4	27.9	13.5	58.6
現職 IT系以外の専門・技術・研究職	3,992	20.1	42.5	24.6	12.8	62.6	18.9	28.0	36.6	16.5	46.9
現職 文系職種	10,755	20.2	37.9	27.5	14.4	58.1	18.5	25.1	38.8	17.6	43.6

	n	残業免除などの勤務時間への配慮					教育訓練休暇制度				
		制度があり、自分も利用している	制度はあるが、自分は利用していない	制度はない	制度があるかわからない	制度あり・計	制度があり、自分も利用している	制度はあるが、自分は利用していない	制度はない	制度があるかわからない	制度あり・計
現職 IT系の専門・技術・研究職	5,564	8.4	13.8	58.6	19.1	22.3	4.2	13.8	55.8	26.2	18.0
現職 IT系以外の専門・技術・研究職	3,992	5.4	16.6	59.3	18.7	22.1	3.9	14.5	56.8	24.8	18.4
現職 文系職種	10,755	4.2	13.2	62.7	19.9	17.4	2.3	13.3	58.2	26.2	15.6

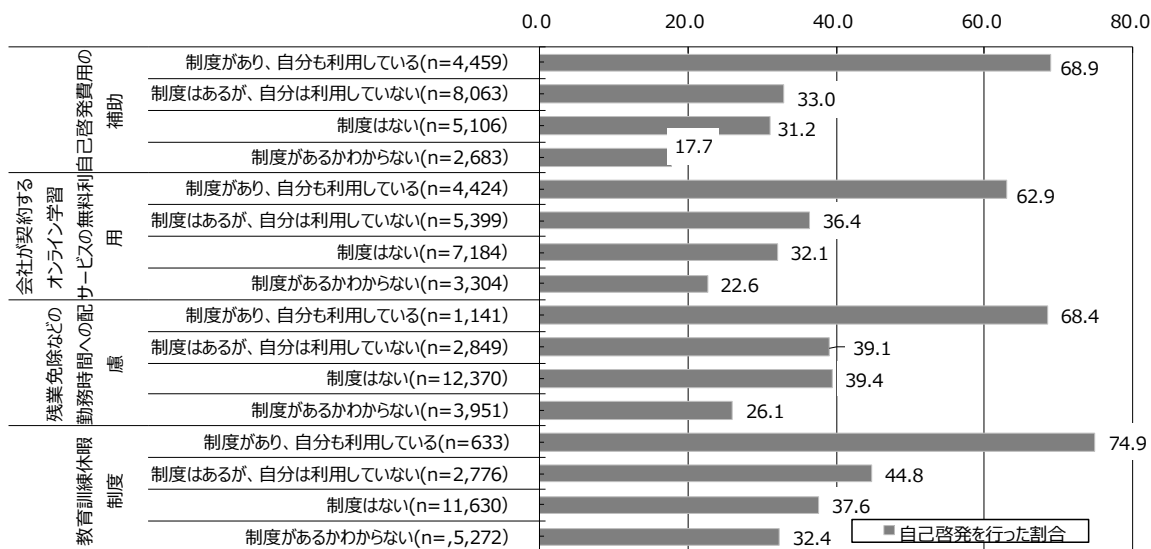
※「制度あり・計」は、「制度があり、自分も利用している」「制度はあるが、自分は利用していない」の合計。

(2) 自己啓発に対する支援制度の有無別にみた過去 1 年間の自己啓発を行った割合

過去 1 年間の自己啓発を行った割合を自己啓発に対する支援制度の有無別にみたものが図表 4-5-22 である。それによれば、いずれの支援制度においても、「制度はない」または「制度はあるが、自分は利用していない」に比べて、「制度があり、自分も利用している」において、自己啓発を行っている割合が最も高くなっている(図表 4-5-22)。

図表 4-5-22 過去 1 年間の自己啓発を行った割合(SA、単位＝%)

【自己啓発に対する支援制度の有無別】



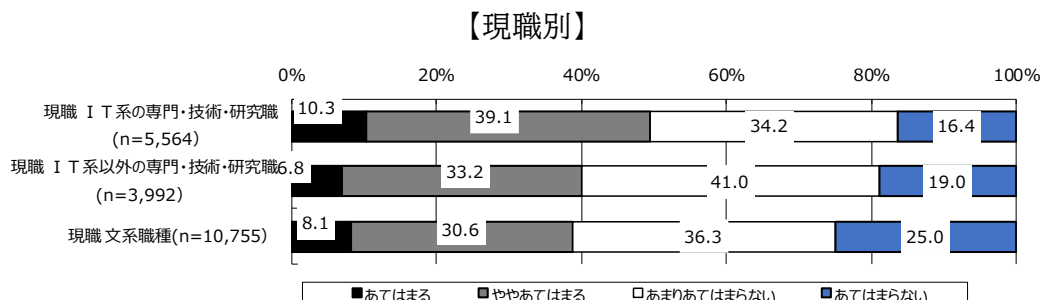
(3) 自身の仕事観「リスクリング」の意向

調査では、自身の仕事観「リスクリングしたいか」³¹についての認識を尋ねている。これを現職の

³¹ 調査票では、「ご自身の仕事観に近い方の選択肢を選んでください」として聞いており、注記として、「リスクリングとは、主にデジタルに関する新しいスキルを学んで、別の業務や職業につくことです」と記載している。あなたの現在の仕事観や自己啓発、現在の勤め先の制度についてお聞きます。

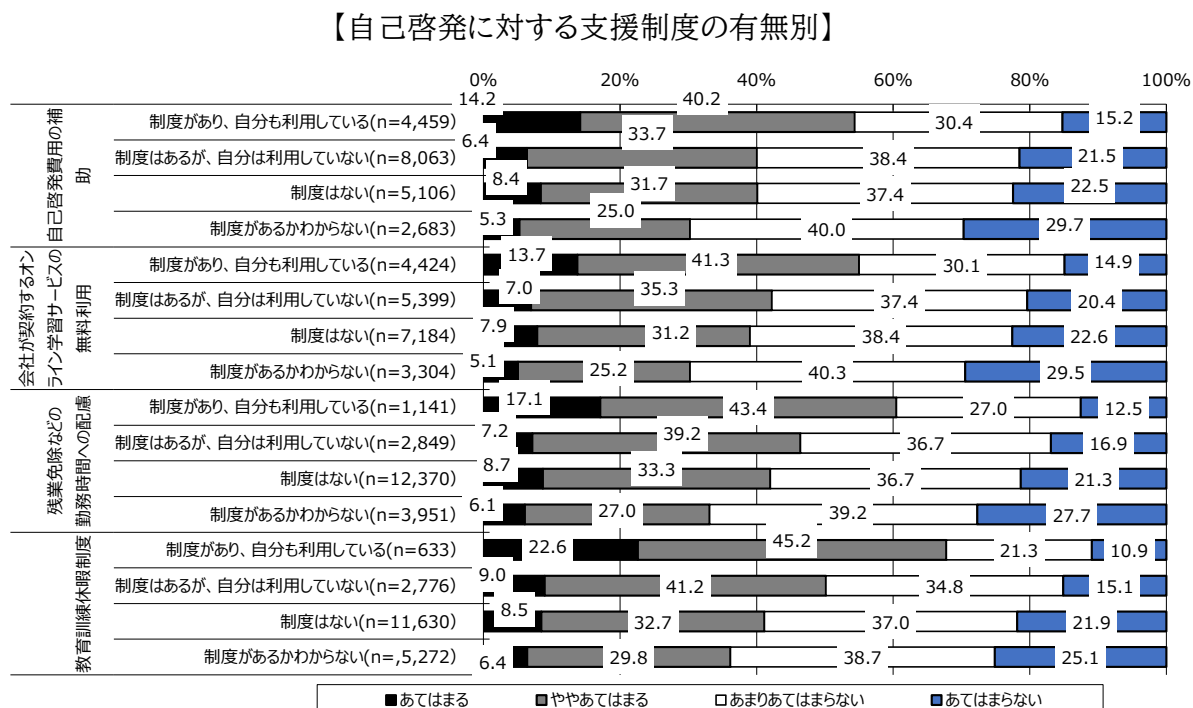
職種別にみると、「リスクリングしたい・計」(「あてはまる」「ややあてはまる」の合計)の割合は、「現職 IT 系の専門・技術・研究職」(49.4%)、「現職 IT 系以外の専門・技術・研究職」(40.1%)、「現職 文系職種」(38.7%)となっており、「IT 系の専門・技術・研究職」で最も高くなっている。一方、いずれの職種も半数以上がリスクリングに消極的(「あまりあてはまらない」「あてはまらない」の合計)であり、リスクリングの必要性を感じていない人が多い(図表 4-5-23)。

図表 4-5-23 自身の仕事観「リスクリングしたいか」に対する認識(SA、単位=%)



これを自己啓発に対する支援制度の有無別にみると、いずれの支援制度においても、「制度はない」または「制度はあるが、自分は利用していない」に比べて、「制度があり、自分も利用している」において、「リスクリングしたい・計」の割合が最も高くなっている(図表 4-5-24)。

図表 4-5-24 自身の仕事観「リスクリングしたいか」に対する認識(SA、単位=%)



4-5-3. 越境学習を目的とした人材育成策

(1)越境学習の有無、認知度

調査では、「現在お勤めの企業には、越境学習を目的とした人材育成策がありますか。越境学習とは、所属する組織から離れ、他の環境で働きながら新たな視点を得る学びのことです」と尋ねている。これを従業員規模別にみると、越境学習が「ある」とする割合は、官公庁を除き、規模が大きくなるほど高くなり、1,000人以上規模では、19.6%となっている。一方、官公庁を除き、規模が小さくなるほど、「ない」とする割合も高くなる。「初めて「越境学習」という言葉を聞いた」の割合は、官公庁を除き、いずれの規模においても2割台であり、「勤め先に「越境学習」の制度があるかわからない」の割合は、規模が大きくなるほど高くなる傾向にある。

業種別(n=30以上)にみると、越境学習が「ある」とする割合が最も高いのは、「金融業・保険業」(20.5%)となっている(図表 4-5-25)。

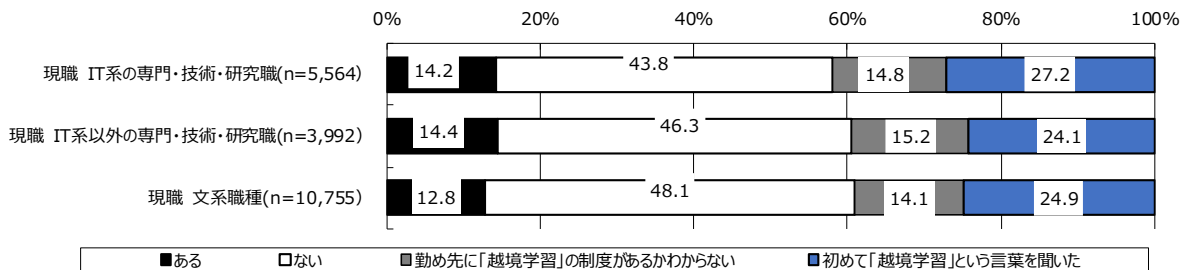
図表 4-5-25 越境学習を目的とした人材育成策の有無(SA、単位=%)

【従業員規模別、業種別】

		n	越境学習を目的とした人材育成策の有無			
			ある	ない	勤め先に「越境学習」の制度があるかわからない	初めて「越境学習」という言葉を聞いた
全体		20,311	13.5	46.6	14.5	25.4
従業員規模	30人未満	1,620	2.4	64.9	7.5	25.2
	30～100人未満	1,941	3.8	60.6	9.3	26.3
	100～300人未満	2,597	6.4	57.7	10.4	25.4
	300～1000人未満	3,326	10.6	51.1	13.7	24.6
	1000人以上	10,707	19.6	37.3	17.7	25.4
	官公庁	120	10.8	31.7	20.8	36.7
業種	農林水産業	22	31.8	36.4	13.6	18.2
	建設業	984	6.4	55.6	12.5	25.5
	製造業	5,278	13.4	46.0	16.1	24.5
	電気・ガス・熱供給・水道業	332	11.7	46.4	15.7	26.2
	情報通信業	4,659	13.9	42.6	14.8	28.7
	運輸業、郵便業	297	14.5	49.2	12.8	23.6
	卸売業、小売業	1,197	7.6	56.9	12.4	23.1
	金融・保険業	4,244	20.5	41.6	14.8	23.2
	不動産業・物品賃貸業	175	5.7	59.4	9.7	25.1
	学術研究、専門・技術サービス業	541	10.4	48.8	12.2	28.7
	宿泊業、飲食サービス業	104	9.6	62.5	11.5	16.3
	生活関連サービス業、娯楽業	115	6.1	58.3	14.8	20.9
	教育、学習支援業	649	7.2	58.2	11.2	23.3
	医療、福祉	78	7.7	53.8	11.5	26.9
	複合サービス事業	170	12.4	49.4	14.7	23.5
	その他サービス業	818	7.9	52.7	12.2	27.1
	公務	57	7.0	45.6	14.0	33.3
	その他	591	9.5	48.1	14.9	27.6

これを現職の職種別にみると、職種間で分布に大きな差はみられず、いずれの職種においても、越境学習が「ない」が4割台、「ある」とする割合は12～14%台であり、「勤め先に「越境学習」の制度があるかわからない」が1割台、「初めて「越境学習」という言葉を聞いた」が2割台となっており、職種では制度の有無や認知度において大きな差はみられない(図表 4-5-26)。

図表 4-5-26 越境学習と目的とした人材育成策の有無(SA、単位＝%)【現職別】



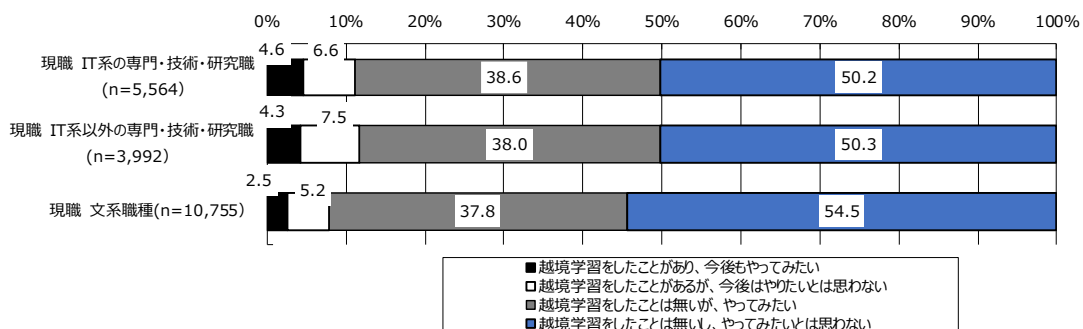
(2)越境学習に対する意向

調査では、「あなたは、越境学習(所属する組織から離れ、他の環境で働きながら新たな視点を得る学びのこと)をやってみたいと思いますか」³²と尋ねている。これを現職の職種別にみると、職種間で分布に大きな差はみられず、いずれの職種においても、「越境学習をしたことは無いし、やってみたいとは思わない」が 5 割台と最も高いものの、「越境学習をしたことは無いが、やってみたい」とする割合は 4 割弱を占めている。なお、いずれの職種においても、「越境学習をしたことがあり、今後もやってみたい」は 2～4%台であり、「越境学習をしたことがあるが、今後はやりたいとは思わない」は 5～7%台である。

「越境学習の経験者」(「越境学習をしたことがあり、今後もやってみたい」と「越境学習をしたことがあるが、今後はやりたいとは思わない」の合計。以下同じ)は、「現職 IT 系の専門・技術・研究職」「現職 IT 系以外の専門・技術・研究職」が 11%台であり、「現職 文系職種」(7.8%)よりもやや高い。

「越境学習の希望あり」(「越境学習をしたことがあり、今後もやってみたい」と「越境学習をしたことは無いが、やってみたい」の合計。以下同じ)の割合は、いずれの職種も 4 割台となっている(「現職 IT 系の専門・技術・研究職」(43.2%)、「現職 IT 系以外の専門・技術・研究職」(42.3%)、「現職 文系職種」(40.3%))(図表 4-5-27)。

図表 4-5-27 越境学習に対する意向(SA、単位＝%)【現職別】



³² 本設問は、越境学習に対する意向を尋ねており、選択肢にある越境学習の経験については、現在の会社に限らず過去の経験を聞いていることに留意(以下同じ)。

これを現在の勤め先における越境学習の有無別にみると、越境学習がある者では、「越境学習をしたことがあり、今後もやってみたい」の割合は 16.8%と他に比べて高い。「越境学習の希望あり」の割合をみると、現在の勤め先に越境学習が「ある」者で 49.7%であり、「ない」者でも 40.0%となっている。一方、「初めて「越境学習」という言葉を聞いた」では、「越境学習をしたことは無いし、やってみたいとは思わない」が 62.4%と最も高く、認知度の低さが意向希望に影響を与えていることがうかがえる。

また、現在の勤め先における自己啓発の有無別にみると、「行わなかった」者に比べ、「行った」者の方が「越境学習の希望あり」の割合が高い。

仕事観「リスクリングしたい」の別にみると、リスクリングをしたいと思っている者ほど、「越境学習の希望あり」の割合が高い(図表 4-5-28)。

図表 4-5-28 越境学習に対する意向(SA、単位＝%)【現在の勤め先における越境学習の有無別、自己啓発の有無別、仕事観「リスクリングしたい」の別】

		n	越境学習に対する意向				越境学習の希望あり
			越境学習をしたことがあり、今後もやってみたい	越境学習をしたことがあがあるが、今後はやりたいとは思わない	越境学習をしたことは無いが、やってみたい	越境学習をしたことは無いし、やってみたいとは思わない	
全体		20,311	3.4	6.0	38.1	52.5	41.5
現在の勤め先における越境学習の有無	ある	2,745	16.8	12.3	32.9	38.0	49.7
	ない	9,460	1.6	6.7	38.3	53.3	40.0
	勤め先に「越境学習」の制度があるかわからない	2,947	1.5	6.0	46.7	45.8	48.2
	初めて「越境学習」という言葉を聞いた	5,159	0.7	1.5	35.3	62.4	36.1
現在の勤め先における自己啓発の有無	行った	7,798	6.7	7.0	47.4	38.9	54.0
	行わなかった	12,513	1.4	5.4	32.3	60.9	33.7
仕事観「リスクリングしたい」	あてはまる	1,715	9.3	6.6	60.3	23.7	69.6
	ややあてはまる	6,800	4.8	8.0	50.2	37.0	55.0
	あまりあてはまらない	7,440	2.1	5.6	32.1	60.2	34.2
	あてはまらない	4,356	1.2	3.5	20.5	74.7	21.8

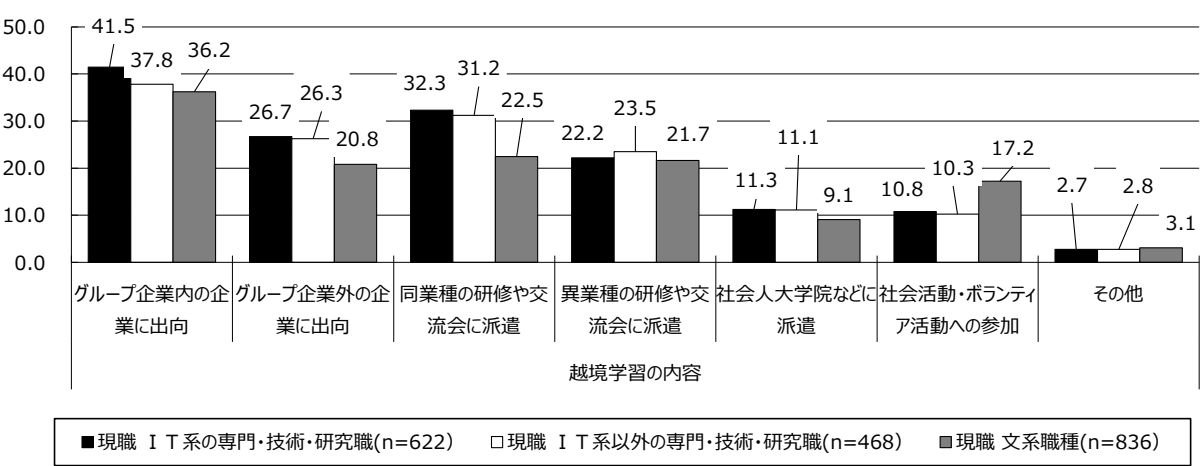
※「越境学習の希望あり」は「越境学習をしたことがあり、今後もやってみたい」と「越境学習をしたことは無いが、やってみたい」の合計。

(3)越境学習の内容

調査では、越境学習の経験者を対象に、越境学習の内容についても尋ねている。これを現職の職種別にみると、いずれの職種においても、「グループ企業内の企業に出向」が 3～4 割台と最も高く、次いで、「同業種の研修や交流会に派遣」が 2～3 割、「グループ企業外の企業に出向」と「異業種の研修や交流会に派遣」がともに 2 割台となっている。

総じていえば、グループ企業内や同業種の越境学習が 3～4 割と高いものの、グループ企業外や異業種の越境学習も 2 割程度ある。職種間を比較すると、「グループ企業内の企業に出向」や「グループ企業外の企業に出向」「同業種の研修や交流会に派遣」は、「現職 文系職種」に比べ、「現職 IT 系の専門・技術・研究職」の方が割合は高い(図表 4-5-29)。

図表 4-5-29 越境学習の内容(MA、単位＝％)【現職別】



※「越境学習をしたことがあり、今後もやってみたい」「越境学習をしたことがあるが、今後はやりたいとは思わない」（越境学習の経験者）を対象に集計。

越境学習経験者における越境学習に対する意向について、越境学習の内容別にみたものが図表 4-5-30 である。それによれば、「越境学習をしたことがあり、今後もやってみたい」の割合は、「グループ企業外の企業に出向」(48.2%)、「グループ企業内の企業に出向」(47.3%)が5割弱で他に比べてやや高くなっている。

図表 4-5-30 越境学習経験者における越境学習に対する意向(SA、単位＝％)
【越境学習の内容別】

		n	越境学習に対する意向	
			越境学習をしたことがあり、今後もやってみたい	越境学習をしたことがあるが、今後はやりたいとは思わない
越境学習の内容(MA)	グループ企業内の企業に出向	738	47.3	52.7
	グループ企業外の企業に出向	463	48.2	51.8
	同業種の研修や交流会に派遣	535	40.6	59.4
	異業種の研修や交流会に派遣	429	38.0	62.0
	社会人大学院などに派遣	198	44.9	55.1
	社会活動・ボランティア活動への参加	259	40.9	59.1

※「越境学習をしたことがあり、今後もやってみたい」「越境学習をしたことがあるが、今後はやりたいとは思わない」（越境学習の経験者）を対象に集計。

資料. 付表

1. 現在の勤め先の回答者属性

現在の勤め先(現職)の回答者属性(性、年齢、業種、従業員規模)をみたものが付表 4-1 である。

付表 4-1 現在の勤め先の回答者属性(SA、単位＝％)【現職】

	n数	現職 IT系の 専門・技術・ 研究職	現職 IT系以 外の専門・技 術・研究職	現職 文系職 種
		5,564	3,992	10,755
性別	男性	84.7	92.1	72.6
	女性	15.3	7.9	27.4
年齢	20代	9.5	4.5	6.3
	30代	18.4	15.1	18.8
	40代	36.7	35.3	32.6
	50代	35.4	45.2	42.3
現在の勤め先の業種 (SA) (※1)	農林水産業	0.1	0.2	0.1
	建設業	0.8	16.3	2.7
	製造業	12.8	63.0	19.1
	電気・ガス・熱供給・水道業	1.0	2.0	1.9
	情報通信業	61.6	1.8	10.8
	運輸業、郵便業	0.6	1.0	2.1
	卸売業、小売業	2.2	1.1	9.6
	金融・保険業	3.4	6.7	35.2
	不動産業・物品賃貸業	0.2	1.0	1.2
	学術研究、専門・技術サービス業	5.5	3.1	1.0
	宿泊業、飲食サービス業	0.1	0.1	0.8
	生活関連サービス業、娯楽業	0.4	0.1	0.8
	教育、学習支援業	0.5	0.7	5.5
	医療、福祉	0.4	0.1	0.5
	複合サービス事業	1.0	0.3	1.0
	その他サービス業	5.4	1.2	4.4
	公務	0.1	0.1	0.5
	その他	4.0	1.2	3.0
現在の勤め先の従業員 規模 (※2)	1人	0.2	0.2	0.1
	2～4人	0.6	1.2	1.5
	5～9人	1.6	2.0	2.0
	10～29人	3.9	4.7	5.3
	30～99人	9.8	9.1	9.6
	100～299人	14.4	11.4	12.5
	300～499人	8.2	6.9	6.3
	500～999人	10.7	8.7	9.0
	1,000人以上	50.3	55.3	53.0
	官公庁	0.3	0.6	0.7
【集約】現在の勤め先の 従業員規模 (6区分) (SA)	30人未満	6.3	8.1	8.8
	30～100人未満	9.8	9.1	9.6
	100～300人未満	14.4	11.4	12.5
	300～1000人未満	19.0	15.6	15.3
	1000人以上	50.3	55.3	53.0
	官公庁	0.3	0.6	0.7

※1：問39「現在の勤め先の業種は、この中のどれにあたりますか」により作成。

※2：問37「あなたの勤め先は日本企業、外資系企業のどちらですか」(選択肢「官公庁」がある)と問38「現在の勤め先の従業員は、会社全体で何人ぐらいですか。(家族従業者、パート・アルバイトも含む。派遣社員は派遣元会社を勤め先とする)」から作成。

2. 大学・大学院専攻と初職

以下の付表 4-2-1～付表 4-2-2 は、【初職】「IT系の専門・技術・研究職」「IT系以外の専門・技術・研究職」「文系職種」の職種の詳細)について、大学・大学院専攻でクロス集計している。職種が多いことから、表は、3分割されている。網掛けの部分は、職種の詳細を集約したもの。

付表 4-2-1 専攻別にみた初職(IT系の専門・技術・研究職)(SA、単位＝%)

		n	I T系の専門・技術・研究職（詳細）															その 職 門 IT系 以外の 研究専 門・技 術・研 究専	文 系 職 種
			ブ ロ ジ ン グ エ ク ト マ	ン ト コ ン サ ル タ	ニ ア ス テ ム エ ン ジ	ブ ロ グ ラ マ ー	ニ ア W e b 系 エ ン ジ	ン ア プ リ ケ ー シ ョ	組 込 ・ 制 御 系 エ	ニ ア ・ Q A エ ン ジ ニ	ニ ア ・ ス ト ラ エ ン ジ	ニ ア ・ フ ラ エ ン ジ	ニ ア ・ セ ル ス エ ン ジ	ヘル プ デ ス ク	社 内 S E	テ ィ ス タ サ イ エ ン	ジ ニ ア 情 報 科 学 系 エ ン		
<大学・大学院専攻>																			
文 系 専 攻	文学・史学・哲学・語学など	1,767	1.1	0.8	6.3	4.1	0.3	0.3	0.2	0.6	0.8	0.4	1.1	1.1	0.0	0.1	4.2	78.4	
	心理学	296	1.4	0.7	7.4	5.4	0.3	1.0	0.0	0.3	2.0	0.7	1.0	1.4	0.7	0.3	3.4	74.0	
	教育学	425	3.5	0.9	7.1	4.2	0.2	1.4	0.7	0.2	0.9	0.7	0.9	0.5	0.0	0.0	4.0	74.6	
	法律・政治	1,975	1.0	0.6	5.6	2.7	0.4	0.3	0.2	0.4	1.2	0.6	0.6	1.0	0.1	0.1	3.8	81.5	
	経済・経営・商学	5,721	1.5	0.8	8.1	4.0	0.5	0.8	0.2	0.3	1.2	0.5	0.6	1.2	0.1	0.1	5.0	75.1	
	社会学・メディア学	694	2.6	1.0	9.4	3.9	0.9	0.4	0.1	0.1	1.3	0.1	0.7	1.2	0.0	0.3	3.0	74.9	
	国際関係	248	3.2	2.0	4.0	2.8	1.6	0.8	0.0	1.6	2.0	0.4	0.8	0.0	0.0	0.8	5.2	74.6	
	家政	118	0.8	0.0	7.6	1.7	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.2	78.8	
	芸術・表現	161	1.9	1.9	3.1	1.9	1.2	0.0	0.0	0.6	1.9	0.6	0.6	0.6	0.0	0.0	6.8	78.9	
健康・スポーツ	137	2.2	3.6	0.7	0.7	0.7	0.7	0.0	0.0	2.2	0.7	0.7	1.5	0.0	0.0	10.2	75.9		
理 系 専 攻	理学	1,327	2.5	1.6	17.5	7.9	0.9	2.0	1.1	0.6	2.6	0.9	0.5	2.6	0.5	0.1	27.3	31.5	
	工学	4,794	2.3	0.8	9.1	5.0	0.2	1.1	2.4	0.5	2.7	0.8	0.4	1.2	0.1	0.2	55.5	17.8	
	情報工学	1,655	4.7	2.2	32.3	18.1	1.5	3.7	3.8	1.4	6.2	0.8	1.0	3.6	0.7	0.4	7.7	12.1	
	建築学	315	1.3	0.6	2.9	1.3	0.6	0.0	0.0	0.3	0.3	0.0	0.3	1.0	0.0	0.0	72.4	19.0	
	農・獣・畜産・水産	468	0.4	0.2	5.8	2.6	0.0	0.4	0.0	0.2	1.3	0.4	0.0	1.3	0.2	0.0	33.3	53.8	
	医・歯・薬	181	2.2	0.0	1.7	1.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	38.7	55.8	
	看護・保健・衛生	29	3.4	0.0	0.0	3.4	0.0	0.0	0.0	0.0	3.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	13.8	75.9	

※網はIT系以外の専門・技術・研究職、文系職種の合計をそれぞれ示している。

付表 4-2-2 専攻別にみた初職(IT系以外の専門・技術・研究職)(SA、単位＝%)

		n	術・IT系の専門・技術・研究職	IT系以外の専門・技術・研究職（詳細）																	理系技術者（※3）	文系職種
				理系研究者（※2）	食品開発技術者	食品製造技術者	電気・電子・電気通信開発技術者	電気・電子・電気通信製造技術者	機械開発技術者	機械製造技術者	自動車開発技術者	自動車製造技術者	輸送用機器開発技術者（自動車車以外）	輸送用機器製造技術者（自動車車以外）	技術者・金属材料・金属材料・材料開発	技術者・金属材料・金属材料・材料製造	化学品開発技術者	化学品製造技術者	その他の開発技術者	その他の製造技術者		
<大学・大学院専攻>																						
文系専攻	文学・史学・哲学・語学など	1,767	17.4	0.0	0.1	0.1	0.1	0.2	0.1	0.1	0.3	0.2	0.1	0.0	0.0	0.1	0.1	0.0	0.1	0.3	2.4	78.4
	心理学	296	22.6	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.3	1.4	74.0
	教育学	425	21.4	0.2	0.0	0.5	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.2	0.2	1.2	74.6	
	法律・政治	1,975	14.7	0.1	0.1	0.1	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	2.7	81.5
	経済・経営・商学	5,721	19.9	0.0	0.1	0.3	0.2	0.2	0.1	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.5	2.8	75.1
	社会学・メディア学	694	22.0	0.1	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	0.4	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.9	74.9
	国際関係	248	20.2	0.0	0.0	0.4	0.4	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	3.6	74.6	
	家政	118	11.0	0.8	3.4	5.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	78.8	
	芸術・表現	161	14.3	0.0	0.0	0.0	0.6	0.0	0.0	0.6	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.2	3.7	78.9	
	健康・スポーツ	137	13.9	1.5	0.0	1.5	0.7	0.0	0.0	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	0.7	4.4	75.9
理系専攻	理学	1,327	41.2	5.9	0.6	0.3	3.2	1.4	1.5	0.7	0.9	0.2	0.1	0.2	0.5	0.1	3.5	1.1	2.3	1.9	2.9	31.5
	工学	4,794	26.7	2.2	0.3	0.4	11.0	4.2	6.2	3.1	4.9	1.7	1.1	0.6	1.1	0.5	3.1	1.4	2.9	3.0	7.8	17.8
	情報工学	1,655	80.2	0.9	0.0	0.1	2.7	1.0	0.2	0.2	0.7	0.4	0.2	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.4	0.3	0.4	12.1
	建築学	315	8.6	0.3	0.0	0.0	0.6	0.0	0.3	0.3	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	1.0	0.0	69.2	19.0
	農・獣・畜産・水産	468	12.8	4.7	7.7	3.2	0.0	0.2	0.9	0.4	0.2	0.0	0.0	0.0	0.4	0.0	3.8	0.9	2.1	2.4	6.4	53.8
	医・歯・薬	181	5.5	12.2	0.0	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	15.5	2.8	5.5	2.2	0.0	55.8
	看護・保健・衛生	29	10.3	0.0	0.0	0.0	0.0	3.4	0.0	3.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.4	0.0	3.4	75.9	

※1：網は「IT系の専門・技術・研究職」「文系職種」の合計をそれぞれ示している。「IT系以外の専門・技術・研究職(詳細)」では、業種ごとに開発技術者、製造技術者の順で並べている。

※2：「理系研究者」は、「理学研究者」「工学研究者」「農学・林学・水産学研究者」の合計(以下同じ)。

※3：「理系技術者」は、「建築技術者」「土木技術者」「測量技術者」「農業技術者」「畜産技術者」「林業技術者」「水産技術者」「アクチュアリー」「金融・保険商品開発者」の合計(以下同じ)。

付表 4-2-3 専攻別にみた初職(文系職種)(SA、単位＝%)

		n	術・IT系の専門・技術職	門・IT系以外の専門・技術職	文系職種（詳細）														その他専門・技術系職種（※3）
					管理職	教員職	事務職	営業職（外回り）	販売職	サービス職	保安職	生産工程職	輸送・機械運転職	建設・探掘関連の	運輸・清掃・包装職（※2）	金融・保険系専門職種（※3）			
<大学・大学院専攻>																			
文系専攻	文学・史学・哲学・語学など	1,767	17.4	4.2	2.2	0.5	30.8	15.4	6.7	6.1	0.3	1.5	0.2	0.2	0.1	6.2	8.1		
	心理学	296	22.6	3.4	1.7	0.3	30.4	14.2	5.7	6.1	0.7	0.3	0.0	0.3	0.3	8.1	5.7		
	教育学	425	21.4	4.0	1.4	1.6	17.6	12.2	6.1	4.2	0.2	0.7	0.5	0.2	0.0	6.6	23.1		
	法律・政治	1,975	14.7	3.8	4.7	0.2	26.3	26.1	5.9	2.9	0.5	0.7	0.1	0.2	0.4	9.0	4.6		
	経済・経営・商学	5,721	19.9	5.0	5.3	0.1	21.3	25.8	5.9	3.1	0.1	1.3	0.4	0.2	0.2	9.3	2.0		
	社会学・メディア学	694	22.0	3.0	2.4	0.4	24.4	21.2	7.3	5.5	0.0	0.7	0.3	0.1	0.1	6.3	6.1		
	国際関係	248	20.2	5.2	3.2	0.0	28.2	22.6	5.6	4.4	0.0	1.2	0.0	0.4	0.0	4.8	4.0		
	家政	118	11.0	10.2	1.7	0.0	35.6	15.3	9.3	5.9	0.0	1.7	0.8	0.0	0.0	4.2	4.2		
	芸術・表現	161	14.3	6.8	0.6	0.0	18.6	9.9	11.2	5.6	0.0	0.6	0.0	0.6	0.0	1.9	29.8		
	健康・スポーツ	137	13.9	10.2	2.2	0.0	13.9	18.2	6.6	8.0	0.0	0.7	1.5	0.7	0.7	10.2	13.1		
理系専攻	理学	1,327	41.2	27.3	2.3	0.7	6.7	6.8	1.7	2.3	0.2	1.5	0.1	0.4	0.2	2.3	6.4		
	工学	4,794	26.7	55.5	1.9	0.2	4.0	3.6	0.8	1.1	0.4	2.9	0.1	0.7	0.1	0.9	0.9		
	情報工学	1,655	80.2	7.7	0.7	0.1	3.6	2.9	0.9	1.5	0.1	0.6	0.1	0.0	0.3	0.5	0.8		
	建築学	315	8.6	72.4	2.2	0.0	4.1	7.6	0.3	0.6	0.0	0.3	0.0	1.3	0.0	0.0	2.5		
	農・獣・畜産・水産	468	12.8	33.3	2.4	0.6	14.5	15.0	5.6	4.5	0.2	3.8	0.0	0.4	0.4	2.4	4.1		
	医・歯・薬	181	5.5	38.7	5.0	0.0	11.6	24.9	2.8	1.1	0.0	0.6	0.0	0.0	0.0	1.1	8.8		
	看護・保健・衛生	29	10.3	13.8	0.0	0.0	13.8	13.8	3.4	13.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.3	20.7		

※1：網は「IT系の専門・技術・研究職」「IT系以外の専門・技術・研究職」の合計をそれぞれ示している。

※2：「金融・保険系専門職(文系職種)」は、「証券アナリスト」「ファンドマネジャー」「その他の金融・保険系専門職」の合計(以下同じ)。

※3：「その他の専門・技術・研究職(文系職種)」は、「人文科学系(文学・外国語・心理等)」「社会科学系(法律・経営・経済)」「教育系」「芸術系」「著述・記者・編集者」の合計(以下同じ)。

3. 初職から現職への変遷

以下の付表 3-1～付表 3-9 は、【現職】について、【初職】でクロス集計している。

① 初職(IT系の専門・技術・研究職)からみた現職

付表 4-3-1 初職別(IT系の専門・技術・研究職)にみた現職(IT系の専門・技術・研究職)(SA、単位＝%)

		n	現職															技術・研究職	IT系以外の専門・文系職種
			IT系の専門・技術・研究職（詳細）																
			プロジェクトマネジャー	ITコンサルタント	システムエンジニア	プログラマー	Web系エンジニア	アプリケーションエンジニア	組込・制御系エンジニア	QAエンジニア	テストエンジニア	インフラエンジニア	セールスエンジニア	ヘルプデスク	社内SE	データサイエンティスト	科学系エンジニア		
<初職 IT系の専門・技術・研究職>																			
初職	プロジェクトマネジャー	407	77.9	3.2	4.4	1.2	0.2	0.2	0.2	0.5	1.0	1.2	0.0	1.2	0.2	0.0	2.0	6.4	
	ITコンサルタント	195	5.6	71.3	8.7	0.5	0.5	0.0	0.0	0.5	2.1	1.0	0.0	1.5	0.5	0.0	1.5	6.2	
	システムエンジニア	2,070	9.0	3.9	66.4	0.9	0.8	1.4	0.0	0.6	1.7	1.2	1.2	2.6	0.2	0.8	1.3	8.1	
	プログラマー	1,093	13.2	2.0	34.8	22.1	1.5	2.7	1.5	1.6	2.8	0.5	1.6	3.8	0.5	1.0	2.0	8.5	
	Web系エンジニア	104	6.7	1.9	6.7	2.9	58.7	3.8	1.0	0.0	1.0	0.0	2.9	2.9	1.9	1.0	2.9	5.8	
	アプリケーションエンジニア	211	11.8	2.8	10.9	0.9	0.9	48.8	0.9	1.4	2.4	1.9	0.9	6.6	2.4	0.0	0.9	6.2	
	組込・制御系エンジニア	216	4.2	0.9	6.5	1.4	1.4	3.2	64.4	0.0	0.9	0.5	0.9	1.9	0.5	0.5	5.6	7.4	
	テストエンジニア・QAエンジニア	100	16.0	0.0	10.0	2.0	2.0	0.0	3.0	50.0	4.0	0.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.0	5.0	
	インフラエンジニア	409	5.1	2.2	5.6	0.0	0.2	0.2	0.0	0.2	70.7	0.5	2.2	3.2	0.5	1.2	0.5	7.6	
	セールスエンジニア	125	3.2	7.2	5.6	0.8	0.8	0.8	0.0	0.0	4.8	48.0	1.6	2.4	0.8	0.8	4.8	18.4	
	ヘルプデスク	123	3.3	0.8	6.5	3.3	0.8	0.0	0.0	0.0	7.3	1.6	57.7	6.5	1.6	0.0	0.8	9.8	
	社内SE	287	7.7	1.0	5.2	1.0	1.0	1.0	0.0	0.3	2.8	0.7	1.0	62.4	0.0	0.0	2.1	13.6	
	データサイエンティスト	34	5.9	0.0	8.8	0.0	0.0	0.0	0.0	2.9	0.0	0.0	2.9	0.0	67.6	2.9	0.0	8.8	
	その他のIT・情報科学系エンジニア	32	0.0	3.1	9.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.1	0.0	0.0	6.3	0.0	43.8	12.5	21.9	

※網は「IT系以外の専門・技術・研究職」「文系職種」の合計をそれぞれ示している。□囲みの数値は、初職と現職が同じ職種の選択肢であることを意味する。

付表 4-3-2 初職別(IT系の専門・技術・研究職)にみた現職(IT系以外の専門・技術・研究職)
(SA、単位＝%)

		n	現職																			文系職種
			研究職・IT系の専門・技術・	IT系以外の専門・技術・研究職（詳細）																		
				理系研究者（※2）	食品開発技術者	食品製造技術者	電気・電子・電気通信開発技術者	電気・電子・電気通信製造技術者	機械開発技術者	機械製造技術者	自動車開発技術者	自動車製造技術者	輸送用機器開発技術者（自動車以外）	輸送用機器製造技術者（自動車以外）	金属製錬・材料開発技術者	金属製錬・材料製造技術者	化学品開発技術者	化学品製造技術者	その他の開発技術者	その他の製造技術者	理系技術者（※3）	
<初職 IT系の専門・技術・研究職>																						
初職	プロジェクトマネジャー	407	91.6	0.2	0.0	0.0	0.5	0.0	0.2	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	6.4	
	ITコンサルタント	195	92.3	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	6.2	
	システムエンジニア	2,070	90.6	0.1	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.4	8.1	
	プログラマー	1,093	89.5	0.1	0.0	0.0	0.3	0.4	0.0	0.2	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.1	0.2	0.5	8.5	
	Web系エンジニア	104	91.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.9	5.8	
	アプリケーションエンジニア	211	92.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	0.0	0.0	6.2	
	組込・制御系エンジニア	216	87.0	0.0	0.0	0.0	1.9	0.5	0.5	0.0	1.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.9	0.5	7.4	
	テストエンジニア・QAエンジニア	100	94.0	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.0	
	インフラエンジニア	409	91.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.6	
	セールスエンジニア	125	76.8	0.0	0.8	0.0	0.0	0.8	0.0	0.8	0.0	0.0	0.0	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.6	18.4
	ヘルプデスク	123	89.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	9.8	
	社内SE	287	84.3	0.3	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	0.3	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	13.6	
	データサイエンティスト	34	91.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.8	
	その他のIT・情報科学系エンジニア	32	65.6	0.0	0.0	0.0	0.0	3.1	3.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.1	0.0	3.1	21.9	

※1：網は「IT系の専門・技術・研究職」「文系職種」の合計をそれぞれ示している。

※2：「理系研究者」は、「理学研究者」「工学研究者」「農学・林学・水産学研究者」の合計。

※3：「理系技術者」は、「建築技術者」「土木技術者」「測量技術者」「農業技術者」「畜産技術者」「林業技術者」「水産技術者」「アクチュアリー」「金融・保険商品開発者」の合計。

付表 4-3-3 初職別(IT系の専門・技術・研究職)にみた現職(文系職種)(SA、単位＝%)

	n	現職																その他の専門・技術・研究職（文系職種）（※3）
		職 I T 系の専門・技術・研究職	研究職 I T 系以外の専門・技術・研究職	文系職種（詳細）														
				管理職	教員職	事務職	営業職（外回り等）	販売職	サービス職	保安職	生産工程職	輸送・機械運転職	建設・採掘関連の職	運搬・清掃・包装の職	金融・保険系専門職（文系職種）（※2）			
<初職 I T 系の専門・技術・研究職>																		
初職	プロジェクトマネジャー	407	91.6	2.0	3.2	0.0	2.0	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.2	0.0		
	ITコンサルタント	195	92.3	1.5	2.1	0.0	1.0	0.5	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	1.0		
	システムエンジニア	2,070	90.6	1.3	1.4	0.0	4.1	1.1	0.1	0.0	0.0	0.2	0.0	0.1	0.2	0.7		
	プログラマー	1,093	89.5	2.0	1.6	0.0	4.3	0.9	0.2	0.4	0.1	0.2	0.0	0.0	0.5	0.5		
	Web系エンジニア	104	91.3	2.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0	1.0	1.0	1.9		
	アプリケーションエンジニア	211	92.9	0.9	1.4	0.0	2.4	1.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	0.5		
	組込・制御系エンジニア	216	87.0	5.6	1.4	0.0	2.8	0.5	0.5	0.0	0.0	0.9	0.0	0.5	0.0	0.9		
	テストエンジニア・QAエンジニア	100	94.0	1.0	0.0	0.0	3.0	1.0	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	インフラエンジニア	409	91.9	0.5	2.7	0.0	2.9	0.7	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.5		
	セールスエンジニア	125	76.8	4.8	4.8	0.0	4.0	4.0	0.0	0.8	0.0	1.6	0.0	0.0	1.6	1.6		
	ヘルプデスク	123	89.4	0.8	0.8	0.0	6.5	0.0	0.0	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.6		
	社内SE	287	84.3	2.1	3.8	0.0	7.3	0.7	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	0.7		
データサイエンティスト	34	91.2	0.0	0.0	0.0	2.9	0.0	0.0	0.0	0.0	2.9	0.0	0.0	0.0	2.9			
その他のIT・情報科学系エンジニア	32	65.6	12.5	3.1	0.0	9.4	0.0	0.0	3.1	0.0	3.1	0.0	0.0	3.1	0.0			

※1：網は「IT系の専門・技術・研究職」「IT系以外の専門・技術・研究職」の合計をそれぞれ示している。

※2：「金融・保険系専門職(文系職種)」は、「証券アナリスト」「ファンドマネジャー」「その他の金融・保険系専門職」の合計。

※3：「その他の専門・技術・研究職(文系職種)」は、「人文科学系(文学・外国語・心理等)」「社会科学系(法律・経営・経済)」「教育系」「芸術系」「著述・記者・編集者」の合計。

② 初職(IT系以外の専門・技術・研究職)からみた現職

付表 4-3-4 初職別(IT系以外の専門・技術・研究職)にみた現職(IT系の専門・技術・研究職)
(SA、単位＝%)

	n	現職															技術・研究職以外の専門・	文系職種
		I T系の専門・技術・研究職（詳細）																
		プログラマー	システムエンジニア	システムエンジニア	Web系エンジニア	アプリケーションエンジニア	組込み制御系エンジニア	テストエンジニア・QAエンジニア	インフラエンジニア	セールスエンジニア	ヘルプデスク	社内SE	データサイエンティスト	科学系エンジニア	その他のIT・情報			
<初職 I T系以外の専門・技術・研究職>																		
初職	理系研究者	252	0.4	0.8	1.2	0.4	0.0	0.0	0.0	0.4	0.8	0.0	0.0	0.8	1.2	0.4	72.2	21.4
	食品開発技術者	71	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	81.7	18.3
	食品製造技術者	75	1.3	0.0	1.3	1.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	82.7	13.3
	電気・電子・電気通信開発技術者	634	0.6	0.5	1.6	0.5	0.2	0.6	1.1	0.5	0.5	0.5	0.3	0.2	0.3	0.2	83.4	9.1
	電気・電子・電気通信製造技術者	260	1.2	0.4	3.1	0.4	0.0	0.4	1.5	0.0	2.7	0.4	0.0	0.4	0.4	0.0	72.3	16.9
	機械開発技術者	333	0.3	0.6	1.5	0.3	0.0	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.0	0.3	0.3	0.0	88.9	6.3
	機械製造技術者	188	0.5	0.5	0.5	0.0	0.5	0.0	1.6	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.0	0.0	78.7	14.9
	自動車開発技術者	277	0.4	0.4	1.4	0.4	0.0	0.7	0.4	0.4	0.0	0.0	0.0	0.4	0.4	0.0	89.2	6.1
	自動車製造技術者	100	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0	1.0	0.0	0.0	88.0	9.0
	輸送用機器開発技術者（自動車以外）	61	0.0	0.0	1.6	0.0	0.0	0.0	0.0	1.6	1.6	1.6	0.0	0.0	0.0	0.0	83.6	9.8
	輸送用機器製造技術者（自動車以外）	35	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	91.4	5.7
	金属製錬・材料開発技術者	64	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.6	87.5	10.9
	金属製錬・材料製造技術者	29	3.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	72.4	24.1
	化学品開発技術者	248	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.2	0.0	0.4	83.5	14.1
	化学品製造技術者	98	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	81.6	14.3
その他の開発技術者	213	0.5	1.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	0.0	0.5	83.1	14.1	
その他の製造技術者	230	0.0	0.0	1.3	0.0	0.0	0.4	0.0	0.0	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.0	77.8	18.3	
理系技術者	973	0.2	0.2	0.8	0.2	0.0	0.0	0.0	0.1	0.4	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	87.3	10.5	

※網は「IT系以外の専門・技術・研究職」「文系職種」の合計をそれぞれ示している。

付表 4-3-5 初職別(IT系以外の専門・技術・研究職)にみた現職
(IT系以外の専門・技術・研究職)(SA、単位＝%)

		n	術・研究職 IT系の専門・技	現職																	理系技術者 (※3)	文系 職種
				IT系以外の専門・技術・研究職(詳細)																		
				理系研究者 (※2)	食品開発技術者	食品製造技術者	電気・電子・電気通 信開発技術者	電気・電子・電気通 信製造技術者	機械開発技術者	機械製造技術者	自動車開発技術者	自動車製造技術者	輸送用機器開発技術 (自動車以外)	輸送用機器製造技術 (自動車以外)	金属製錬・材料開 発技術者	金属製錬・材料製 造技術者	化学品開 発技術者	化学品製 造技術者	その他の開 発技術者	その他の製 造技術者		
<初職 IT系以外の専門・技術・研究職>																						
初 職	理系研究者	252	6.3	54.4	0.0	0.0	5.2	0.4	0.8	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	0.4	4.0	0.4	1.6	1.2	1.6	21.4
	食品開発技術者	71	0.0	2.8	46.5	23.9	0.0	0.0	0.0	1.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.8	2.8	1.4	0.0	18.3
	食品製造技術者	75	4.0	0.0	10.7	61.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.3	2.7	0.0	0.0	0.0	1.3	1.3	0.0	4.0	0.0	13.3
	電気・電子・電気通信開発技術者	634	7.4	0.9	0.0	0.0	57.9	18.1	0.8	1.3	1.1	0.2	0.3	0.2	0.2	0.2	0.0	0.6	1.3	0.3	9.1	
	電気・電子・電気通信製造技術者	260	10.8	0.4	0.4	0.0	18.1	45.8	1.2	0.4	0.8	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	0.4	1.9	1.9	16.9
	機械開発技術者	333	4.8	0.9	0.0	0.0	1.8	0.9	59.2	16.5	2.1	0.3	1.2	0.6	0.0	0.3	0.3	1.2	1.5	1.8	0.3	6.3
	機械製造技術者	188	6.4	1.1	0.0	1.1	0.0	2.1	14.4	48.4	0.5	1.1	1.1	0.0	0.5	1.1	0.0	0.5	0.5	5.3	1.1	14.9
	自動車開発技術者	277	4.7	0.4	0.0	0.4	0.7	0.0	2.9	0.7	64.6	15.2	1.1	0.0	0.4	0.0	0.4	0.4	1.4	0.7	0.0	6.1
	自動車製造技術者	100	3.0	3.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.0	23.0	56.0	0.0	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	1.0	9.0	
	輸送用機器開発技術者(自動車以外)	61	6.6	0.0	0.0	0.0	1.6	1.6	1.6	1.6	0.0	3.3	47.5	21.3	0.0	0.0	1.6	0.0	0.0	1.6	1.6	9.8
	輸送用機器製造技術者(自動車以外)	35	2.9	0.0	0.0	0.0	0.0	2.9	2.9	0.0	0.0	2.9	25.7	54.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.9	5.7
	金属製錬・材料開発技術者	64	1.6	4.7	0.0	0.0	1.6	4.7	0.0	0.0	1.6	1.6	0.0	1.6	45.3	15.6	3.1	3.1	1.6	3.1	0.0	10.9
	金属製錬・材料製造技術者	29	3.4	0.0	0.0	0.0	0.0	10.3	0.0	6.9	0.0	0.0	0.0	0.0	3.4	44.8	0.0	3.4	0.0	3.4	0.0	24.1
	化学品開発技術者	248	2.4	3.2	0.0	0.0	1.2	0.0	1.2	0.0	0.8	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	53.2	20.6	1.2	1.6	0.0	14.1
化学品製造技術者	98	4.1	4.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.1	0.0	0.0	1.0	0.0	1.0	21.4	50.0	0.0	1.0	0.0	14.3	
その他の開発技術者	213	2.8	4.2	0.0	0.0	0.0	0.9	1.9	0.9	0.5	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	1.9	0.5	54.0	16.9	0.9	14.1	
その他の製造技術者	230	3.9	1.3	0.0	0.0	0.9	1.7	3.0	0.9	0.9	1.3	0.4	0.4	0.4	0.9	1.3	0.4	5.7	57.4	0.9	18.3	
理系技術者	973	2.3	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6	0.3	0.2	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.2	85.3	10.5	

※1：網は「IT系の専門・技術・研究職」「文系職種」の合計をそれぞれ示している。□囲みの数値は、初職と現職が同じ職種を選択肢であることを意味する。

※2：「理系研究者」は、「理学研究者」「工学研究者」「農学・林学・水産学研究者」の合計。

※3：「理系技術者」は、「建築技術者」「土木技術者」「測量技術者」「農業技術者」「畜産技術者」「林業技術者」「水産技術者」「アクチュアリー」「金融・保険商品開発者」の合計。

付表 4-3-6 初職別(IT系以外の専門・技術・研究職)にみた現職(文系職種)(SA、単位＝％)

	n	術・IT系の専門・技術職	門・IT系以外の専門・技術職	現職													職（文系職種）※2	職（文系職種）※3	その他の専門・技術職（文系職種）※4
				文系職種（詳細）															
				管理職	教員職	事務職	等（営業職）（外回り）	販売職	サービス職	保安職	生産工程職	輸送・機械運転職	建設・探掘関連の職	運搬・清掃・包装職					
<初職 IT系以外の専門・技術・研究職>																			
理系研究者	252	6.3	72.2	7.1	0.0	5.6	2.0	0.4	0.8	0.0	0.0	0.4	0.0	0.4	0.4	4.4			
食品開発技術者	71	0.0	81.7	2.8	0.0	4.2	2.8	0.0	1.4	0.0	5.6	0.0	0.0	0.0	0.0	1.4			
食品製造技術者	75	4.0	82.7	5.3	0.0	1.3	0.0	1.3	1.3	0.0	4.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
電気・電子・電気通信開発技術者	634	7.4	83.4	3.3	0.0	3.3	0.5	0.3	0.5	0.2	0.6	0.0	0.0	0.2	0.0	0.3			
電気・電子・電気通信製造技術者	260	10.8	72.3	3.5	0.0	5.8	1.9	0.0	0.8	0.0	2.3	0.0	0.8	0.0	0.4	1.5			
機械開発技術者	333	4.8	88.9	2.4	0.0	2.4	0.0	0.0	0.0	0.3	0.6	0.3	0.0	0.0	0.0	0.3			
機械製造技術者	188	6.4	78.7	3.2	0.5	3.2	1.1	0.0	1.6	0.0	2.7	0.0	0.0	0.5	0.5	1.6			
自動車開発技術者	277	4.7	89.2	0.7	0.0	3.6	0.7	0.0	0.4	0.0	0.4	0.0	0.4	0.0	0.0	0.0			
自動車製造技術者	100	3.0	88.0	3.0	0.0	3.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0	1.0	1.0			
輸送用機器開発技術者（自動車以外）	61	6.6	83.6	0.0	0.0	1.6	0.0	0.0	0.0	0.0	3.3	0.0	0.0	0.0	1.6	3.3			
輸送用機器製造技術者（自動車以外）	35	2.9	91.4	0.0	0.0	2.9	0.0	2.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
金属製錬・材料開発技術者	64	1.6	87.5	1.6	0.0	4.7	0.0	0.0	0.0	0.0	3.1	0.0	0.0	1.6	0.0	0.0			
金属製錬・材料製造技術者	29	3.4	72.4	6.9	0.0	10.3	0.0	0.0	3.4	0.0	3.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
化学品開発技術者	248	2.4	83.5	4.0	0.0	4.8	0.8	0.4	0.8	0.0	1.6	0.0	0.0	0.0	0.4	1.2			
化学品製造技術者	98	4.1	81.6	5.1	0.0	2.0	3.1	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0	1.0	2.0			
その他の開発技術者	213	2.8	83.1	5.6	0.9	4.7	0.5	0.0	0.0	0.0	0.9	0.5	0.0	0.0	0.9	0.0			
その他の製造技術者	230	3.9	77.8	7.0	0.0	4.3	0.9	0.0	0.4	0.4	3.5	0.0	0.4	0.0	0.4	0.9			
理系技術者	973	2.3	87.3	1.5	0.1	1.7	1.3	0.0	0.4	0.0	0.2	0.3	0.4	0.2	3.4	0.8			

※1：網は「IT系の専門・技術・研究職」「IT系以外の専門・技術・研究職の合計をそれぞれ示している。

※2：「金融・保険系専門職(文系職種)」は、「証券アナリスト」「ファンドマネジャー」「その他の金融・保険系専門職」の合計。

※3：「その他の専門・技術・研究職(文系職種)」は、「人文科学系(文学・外国語・心理等)」「社会科学系(法律・経営・経済)」「教育系」「芸術系」「著述・記者・編集者」の合計。

③ 初職(文系職種)からみた現職

付表 4-3-7 初職別(文系職種)にみた現職(IT系以外の専門・技術・研究職)(SA、単位＝％)

		n	現職															門・技術・研究の専	IT系以外の専	文系職種
			現職 I T系の専門・技術・研究職（詳細）																	
			ネ ジ ヤ ー I ン テ ク ス ト マ	ブ ロ グ ラ マ ー	シ ス テ ム エ ン ジ ニア	シ ス テ ム エ ン ジ ニア	ブ ロ グ ラ マ ー	シ ス テ ム エ ン ジ ニア	シ ス テ ム エ ン ジ ニア	シ ス テ ム エ ン ジ ニア	シ ス テ ム エ ン ジ ニア	シ ス テ ム エ ン ジ ニア	シ ス テ ム エ ン ジ ニア	シ ス テ ム エ ン ジ ニア	シ ス テ ム エ ン ジ ニア	シ ス テ ム エ ン ジ ニア	シ ス テ ム エ ン ジ ニア			
<初職 文系職種>																				
初 職	管理職	637	0.3	0.2	0.2	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0	0.2	0.2	0.2	0.0	0.2	4.1	94.3			
	教員職	52	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.8	0.0	0.0	0.0	0.0	7.7	88.5			
	事務職	3,226	0.4	0.2	0.6	0.3	0.2	0.1	0.0	0.2	0.3	0.1	0.2	0.6	0.2	2.0	94.5			
	営業職（外回り等）	3,074	0.8	0.6	1.3	0.2	0.1	0.2	0.1	0.1	0.8	0.2	0.3	0.3	0.1	4.4	90.5			
	販売職	831	0.6	0.1	1.7	0.5	0.1	0.0	0.1	0.4	0.6	0.1	1.2	0.6	0.0	4.5	89.4			
	サービス職	594	1.7	1.3	1.9	0.5	0.3	0.3	0.0	0.5	1.5	0.5	2.0	0.5	0.2	6.9	81.3			
	保安職	47	0.0	0.0	2.1	2.1	0.0	0.0	0.0	2.1	2.1	0.0	0.0	0.0	0.0	12.8	78.7			
	生産工程職	318	0.0	0.0	0.9	0.0	0.3	0.0	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.6	85.5			
	輸送・機械運転職	45	2.2	2.2	2.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.2	0.0	0.0	6.7	84.4			
	建設・探掘関連の職	70	0.0	0.0	1.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	78.6			
初 職	運搬・清掃・包装の職	40	0.0	0.0	2.5	0.0	2.5	0.0	0.0	2.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.0	87.5			
	金融・保険系専門職（文系職種）	1,051	1.0	0.0	0.6	0.1	0.0	0.1	0.0	0.0	0.3	0.2	0.3	0.6	0.1	4.3	92.4			
	その他の専門・技術・研究職（文系職種）	779	0.9	0.8	1.7	0.5	0.1	0.4	0.0	0.4	0.4	0.3	0.9	0.6	0.1	3.6	89.1			

※網は「IT系以外の専門・技術・研究職」「文系職種」の合計をそれぞれ示している。

付表 4-3-8 初職別(文系職種)にみた現職(IT系以外の専門・技術・研究職)(SA、単位＝%)

		n	術・研究職 I T系の専門・技術・研究職	現職																			文系職種
				I T系以外の専門・技術・研究職（詳細）																			
				理系研究者（※2）	食品開発技術者	食品製造技術者	電気・電子・電気通信開発技術者	電気・電子・電気通信製造技術者	機械開発技術者	機械製造技術者	自動車開発技術者	自動車製造技術者	輸送用機器（自動車以外）製造技術者（自動車以外）	輸送用機器製造技術者（自動車以外）	技術者	金属製錬・材料開発	金属製錬・材料製造	化学品開発技術者	化学品製造技術者	その他の開発技術者	その他の製造技術者	理系技術者（※3）	
<初職 文系職種>																							
初職	①理職	637	1.6	0.3	0.0	0.2	0.0	0.5	0.2	0.2	0.0	0.2	0.2	0.0	0.2	0.0	0.2	0.0	0.2	0.0	2.0	94.3	
	②員職	52	3.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.9	1.9	88.5		
	③務職	3,226	3.5	0.1	0.0	0.1	0.0	0.2	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.2	0.9	94.5	
	④業職（外回り等）	3,074	5.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.2	0.2	0.2	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.7	2.2	90.5	
	⑤売職	831	6.1	0.0	0.1	0.6	0.0	0.4	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.4	0.0	0.1	0.0	0.6	1.8	89.4	
	⑥サービス職	594	11.8	0.2	0.0	0.0	0.8	0.7	0.3	0.3	0.2	0.5	0.0	0.2	0.0	0.0	0.3	0.2	0.2	1.0	2.0	81.3	
	⑦安職	47	8.5	0.0	0.0	0.0	2.1	2.1	0.0	2.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.1	4.3	78.7		
	⑧生産工程職	318	1.9	0.6	0.3	1.9	0.0	0.3	0.0	0.6	0.0	0.3	0.3	0.0	0.3	0.3	0.6	1.3	0.3	5.0	0.3	85.5	
	⑨輸送・機械運転職	45	8.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.4	84.4		
	⑩建設・採掘関連の職	70	1.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	17.1	78.6		
初職	⑪搬・清掃・包装の職	40	7.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.5	87.5		
	⑫融・保険系専門職（文系職種）	1,051	3.3	0.3	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.2	3.5	92.4	
	⑬その他の専門・技術・研究職（文系職種）	779	7.3	0.3	0.1	0.1	0.0	0.4	0.0	0.3	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	1.9	89.1		

※1：網は「IT系の専門・技術・研究職」「文系職種」の合計をそれぞれ示している。

※2:「理系研究者」は、「理学的研究者」「工学研究者」「農学・林学・水産学研究者」の合計。

※3：「理系技術者」は、「建築技術者」「土木技術者」「測量技術者」「農業技術者」「畜産技術者」「林業技術者」「水産技術者」「アクチュアリー」「金融・保険商品開発者」の合計。

付表 4-3-9 初職別(文系職種)にみた現職(文系職種)(SA、単位=%)

	n	研究職	IT系の専門・技術・	術・研究職	IT系以外の専門・技術・技	現職												金融・保険系専門職 (文系職種) (※2)	(※3)	研究職以外の専門・技術・
						文系職種 (詳細)														
						管理職	教員職	事務職	営業職 (外回り等)	販売職	サービス職	保安職	生産工程職	輸送・機械運転職	建設・採掘関連の職	運搬・清掃・包装の職				
<初職 文系職種>																				
管理職	637	1.6	4.1	80.2	0.0	3.3	2.8	0.2	0.2	0.2	0.0	0.3	0.0	0.0	6.1	1.1				
教員職	52	3.8	7.7	7.7	36.5	17.3	3.8	0.0	7.7	0.0	0.0	1.9	1.9	0.0	0.0	11.5				
事務職	3,226	3.5	2.0	12.4	0.0	70.2	4.2	0.4	0.7	0.0	0.7	0.1	0.1	0.2	3.7	1.8				
営業職 (外回り等)	3,074	5.2	4.4	15.8	0.0	15.2	47.9	1.5	1.4	0.3	1.5	0.5	0.1	0.3	4.3	1.5				
販売職	831	6.1	4.5	8.7	0.0	13.7	9.0	46.2	3.0	0.1	2.6	0.7	0.0	0.1	2.8	2.4				
サービス職	594	11.8	6.9	6.7	0.3	16.7	7.1	3.0	32.2	0.3	4.9	1.2	0.8	0.2	4.2	3.7				
保安職	47	8.5	12.8	10.6	2.1	10.6	6.4	4.3	10.6	29.8	2.1	0.0	2.1	0.0	0.0	0.0				
生産工程職	318	1.9	12.6	10.4	0.0	7.2	1.6	0.6	2.2	0.6	59.7	0.6	0.3	0.6	0.0	1.6				
輸送・機械運転職	45	8.9	6.7	6.7	0.0	2.2	4.4	4.4	2.2	0.0	8.9	48.9	2.2	4.4	0.0	0.0				
建設・採掘関連の職	70	1.4	20.0	15.7	0.0	8.6	7.1	0.0	0.0	1.4	0.0	1.4	42.9	0.0	0.0	1.4				
運搬・清掃・包装の職	40	7.5	5.0	0.0	0.0	15.0	2.5	2.5	5.0	0.0	2.5	5.0	0.0	50.0	2.5	2.5				
金融・保険系専門職 (文系職種)	1,051	3.3	4.3	2.1	0.0	5.0	2.0	0.2	0.6	0.0	0.2	0.0	0.1	0.1	81.0	1.1				
その他の専門・技術・研究職 (文系職種)	779	7.3	3.6	1.4	0.9	7.6	1.2	0.6	0.6	0.1	0.5	0.1	0.0	0.1	1.8	74.1				

※1：網は「IT系の専門・技術・研究職」「IT系以外の専門・技術・研究職」の合計をそれぞれ示している。

※2:「金融・保険系専門職（文系職種）」は「証券アナリスト」「ファンドマネジャー」「その他の金融・保険系専門職」の合計

※3:「その他の専門・技術・研究職(文系職種)」は「人文科学系(文学・外国語・心理等)」「社会科学系(法律・経営・経済)」「教育系」「芸術系」「著述・記者・編集者」の合計。